

子ども・子育て支援に関する市民アンケート  
調査結果について

令和元年 8 月  
光 市

1. 居住地区について .....	1
2. あて名の子どもとご家族の状況について .....	2
3. 子どもの育ちをめぐる環境について .....	6
4. 保護者の就労状況について .....	10
5. あて名の子どもの平日の幼稚園や保育所などの利用状況について .....	20
6. あて名の子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について .....	29
7. あて名の子どもの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所などの 利用希望について .....	35
8. あて名の子どもの病気の際の対応について（幼稚園・保育所利用者のみ） ...	38
9. あて名の子どもの一時的預かりなどの利用について .....	45
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳以上のみ） .....	52
11. 育児休業制度の利用について .....	60
12. 日常の子育てなどについて .....	73
13. 行政や地域の子育て支援について .....	87
14. 光市の「おっぴい都市宣言」について .....	90
15. 最後に（満足度、ご意見・要望） .....	91

1. 居住地区について .....	1
2. あて名の子どもとご家族の状況について .....	2
3. 子どもの育ちをめぐる環境について .....	6
4. 保護者の就労状況について .....	10
5. あて名の子どもの病気の際の対応について .....	38
6. あて名の子ども小学校の放課後の過ごし方について（小学生） .....	45
7. 育児休業制度の利用について .....	60
8. 日常の子育てなどについて .....	73
9. 行政や地域の子育て支援について .....	87
10. 光市の「おっぴい都市宣言」について .....	90
11. 最後に（満足度、ご意見・要望） .....	91

# 調査の概要

## 1 調査の目的

子育て家庭の実態と子育て支援ニーズ等を把握することによって、今後の子ども・子育て支援施策の充実に活かすとともに、「第2期光市子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため。

## 2 調査の対象

### (1) 就学前児童の保護者

平成30年10月1日現在、光市在住の就学前児童の中から無作為抽出した1,500名の保護者。

### (2) 小学生の保護者

平成30年10月1日現在、光市在住の小学生の中から無作為抽出した1,200名の保護者。

## 3 調査の方法

郵送による配付、回収。

## 4 調査の期間

平成30年11月15日（木）から平成30年12月10日（月）まで。  
ただし、平成30年12月26日（水）までの回収分を集計に含めています。

## 5 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	1,500 件	610 件	40.7%
小学生の保護者	1,200 件	472 件	39.3%

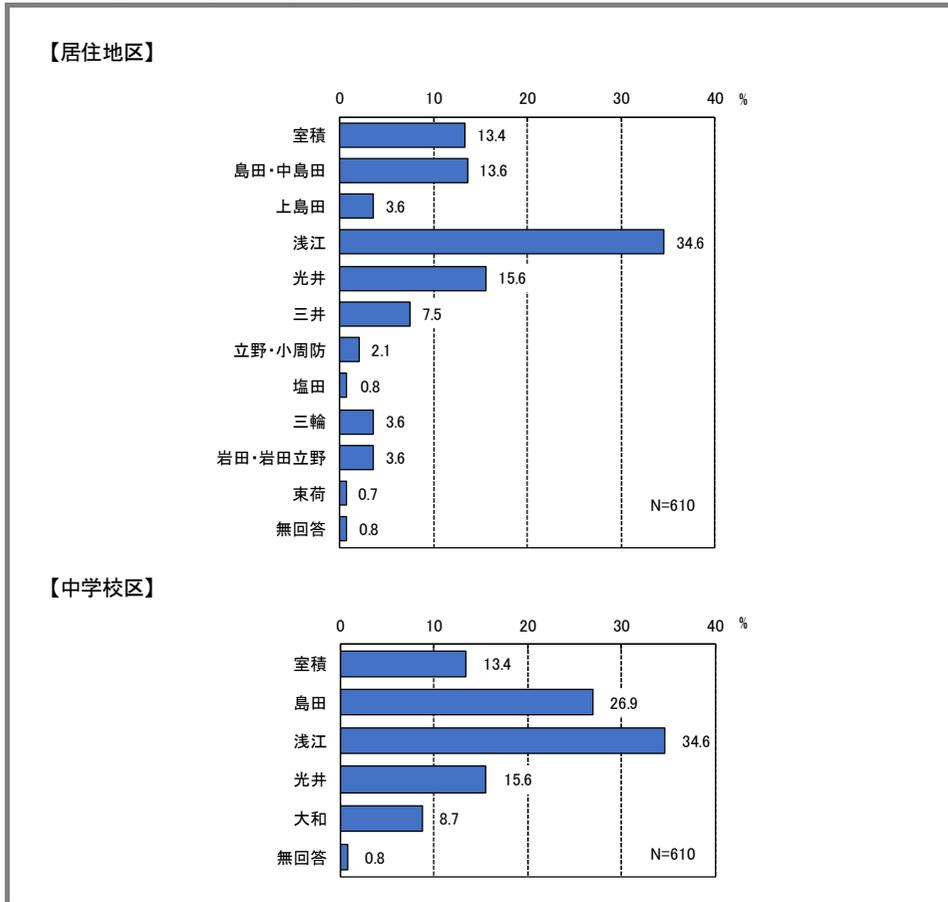
## 6 報告書の見方

- (1) 回答割合は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答を可とした質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、グラフには「0.0」と表記しています。
- (4) 「第2部 調査の結果」においては、設問や回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。

## 第1章 就学前児童の保護者に対する調査

### 1. 居住地区について

問1 お住まいの地区はどちらですか。（〇は1つ）

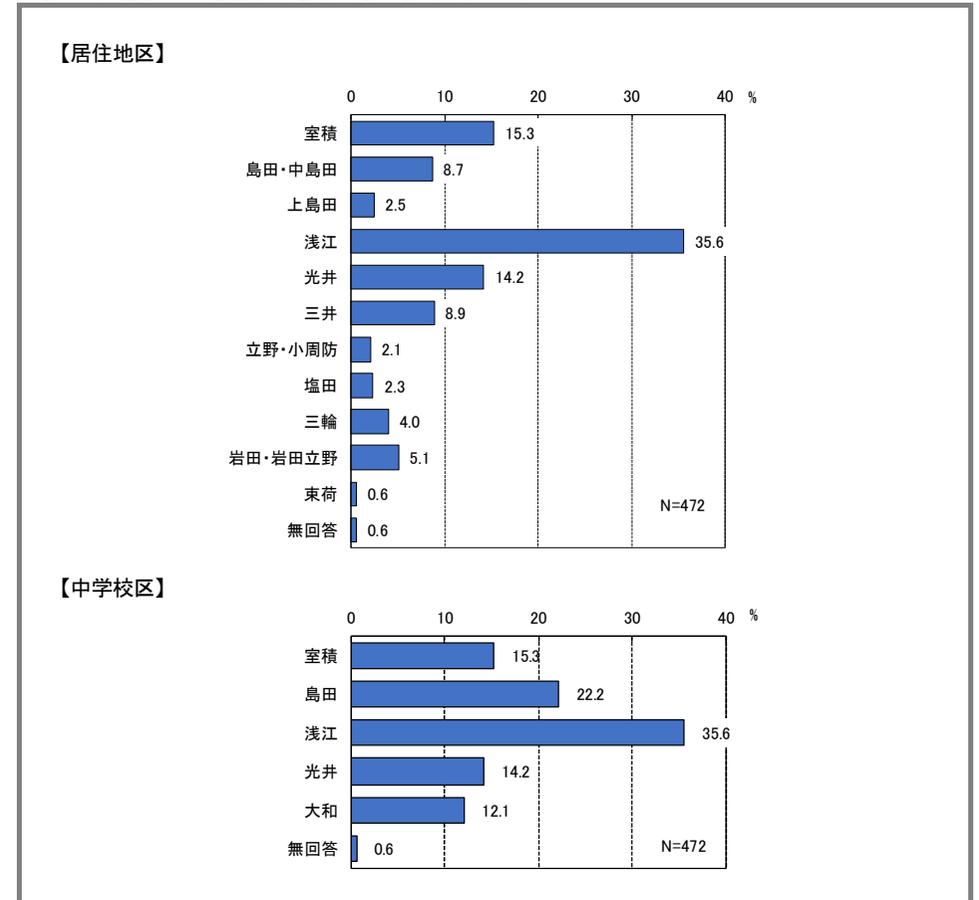


- 居住地区については、「浅江」と回答した人の割合が34.6%と最も高く、「光井」が15.6%、「島田・中島田」が13.6%、「室積」が13.4%と続いています。

## 第2章 小学生の保護者に対する調査

### 1. 居住地区について

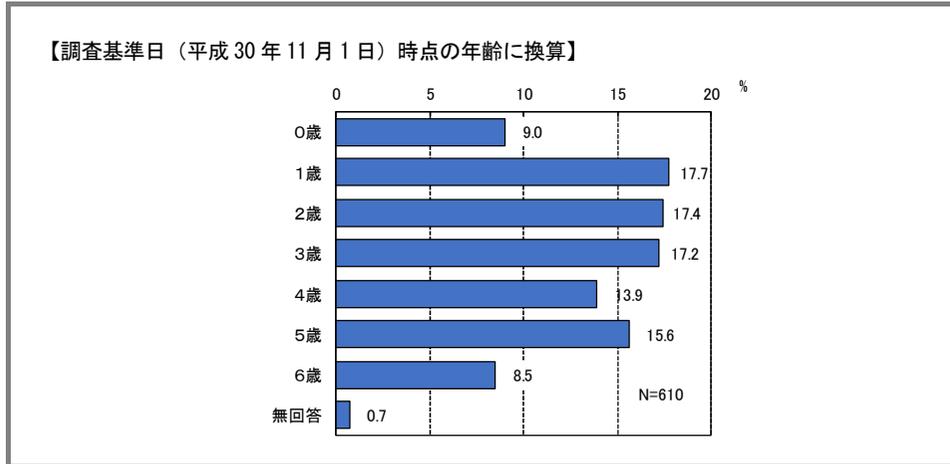
問1 お住まいの地区はどちらですか。（〇は1つ）



- 居住地区については、「浅江」と回答した人の割合が35.6%と最も高く、「室積」が15.3%「光井」が14.2%と続いています。

## 2. あて名の子どもとご家族の状況について

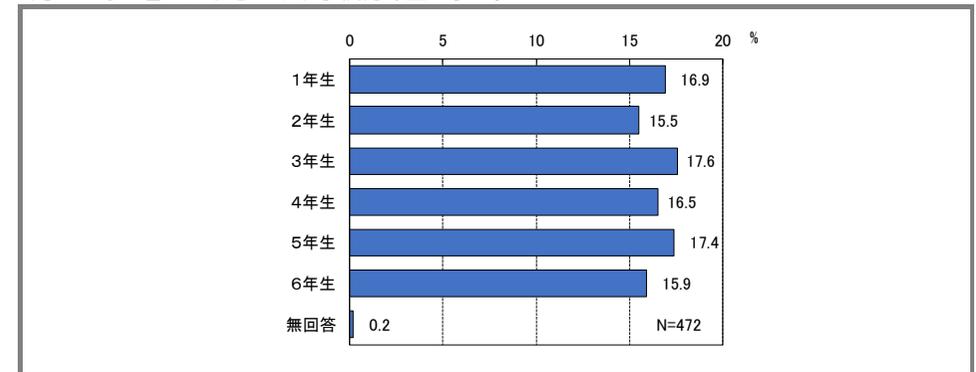
問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。



- 子どもの生年月から換算した子どもの年齢の分布は上のおりで、「1歳」の割合が17.7%と最も高くなっています。

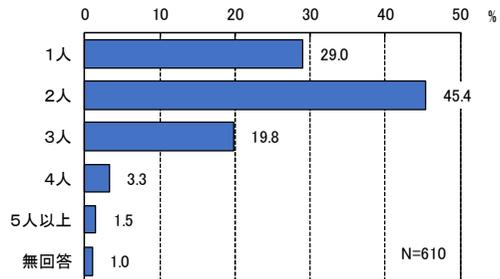
## 2. あて名の子どもとご家族の状況について

問2 あて名のお子さんは小学校何年生ですか。

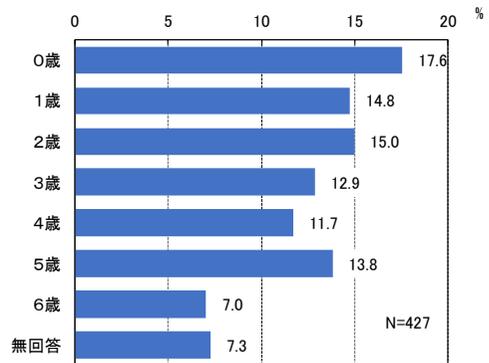


- 子どもの学年比率は上のおりで、3年生の割合（17.6%）が最も高くなっています。

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の方の生年月月をご記入ください。

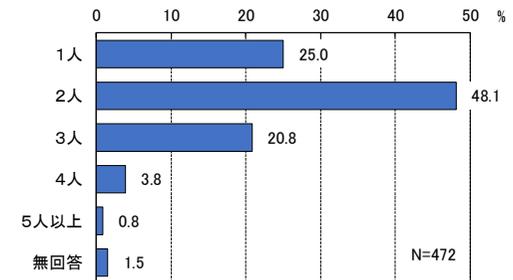


【末子の生年月日（調査基準日（平成30年11月1日）時点の年齢に換算）】

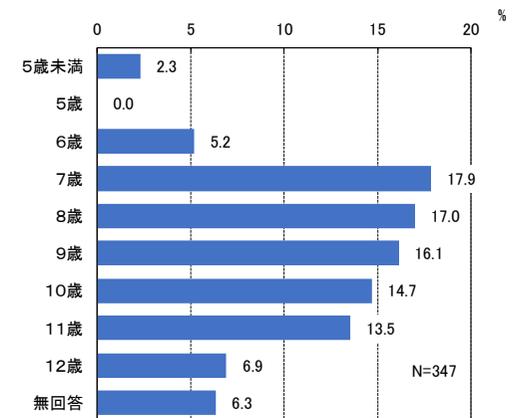


● 対象児童を含む子どもの数では、「2人」という回答割合が45.4%と最も高く、次いで、「1人」が29.0%、「3人」が19.8%となっています。

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の方の生年月月をご記入ください。

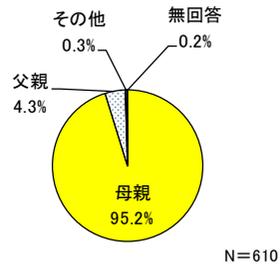


【末子の生年月日（調査基準日（平成30年11月1日）時点の年齢に換算）】



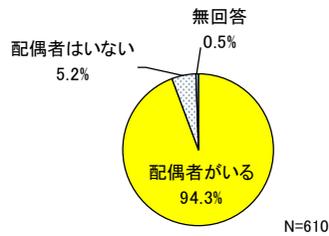
● 対象児童を含む子どもの数では、「2人」という回答割合が48.1%と最も高く、次いで、「1人」が25.0%、「3人」が20.8%となっています。

問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。  
（続柄はあて名のお子さんからみた関係です）（〇は1つ）



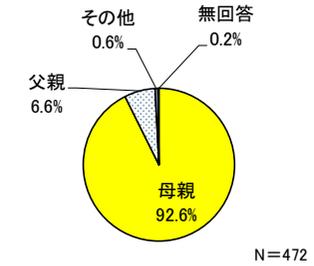
- 回答者は「母親」が95.2%と圧倒的に多く、「父親」は4.3%となっています。

問5 このアンケートにご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（〇は1つ）



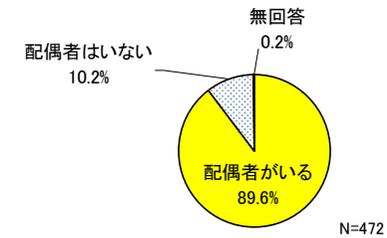
- 回答者の配偶関係を見ると、「配偶者がいない」と回答した人は5.2%となっています。

問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。  
（続柄はあて名のお子さんからみた関係です）（〇は1つ）



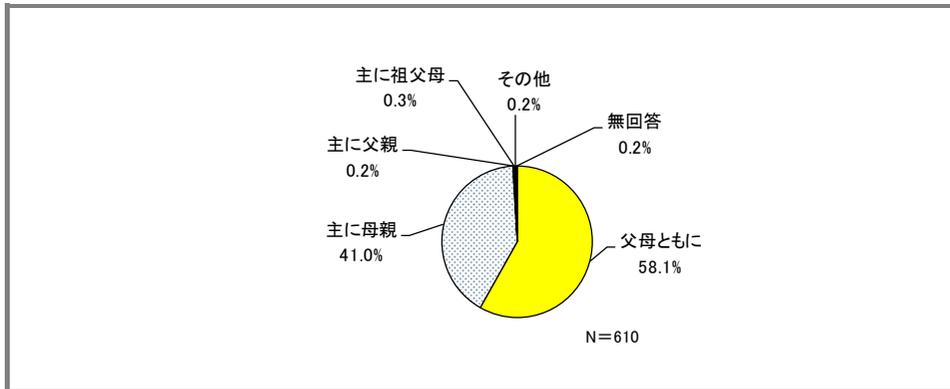
- 回答者は「母親」が92.6%と圧倒的に多く、「父親」は6.6%となっています。

問5 このアンケートにご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（〇は1つ）



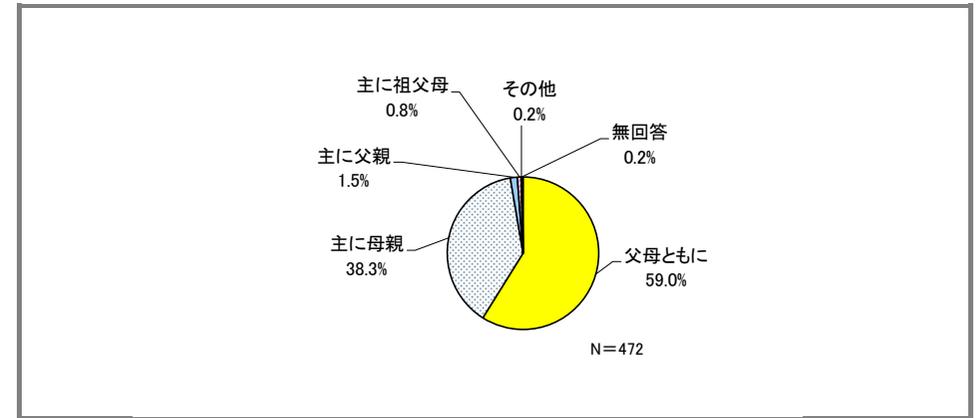
- 回答者の配偶関係を見ると、「配偶者がいない」と回答した人は10.2%となっています。

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。  
（続柄はあて名のお子さんから見た関係です）（○は1つ）



- 子どもの子育てについては、「父母ともに」行っていると回答した割合が58.1%、「主に母親」が行っていると回答した割合が41.0%となっています。

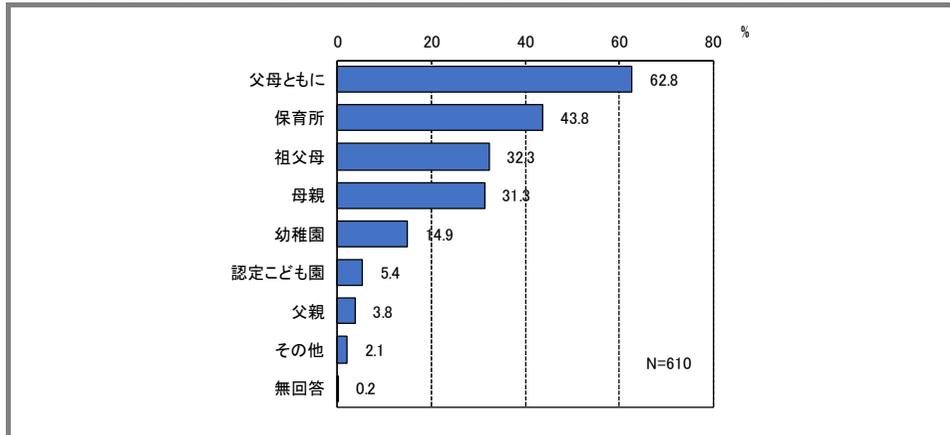
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。  
（続柄はあて名のお子さんから見た関係です）（○は1つ）



- 子どもの子育てについては、「父母ともに」行っていると回答した割合が59.0%、「主に母親」が行っていると回答した割合が38.3%となっています。

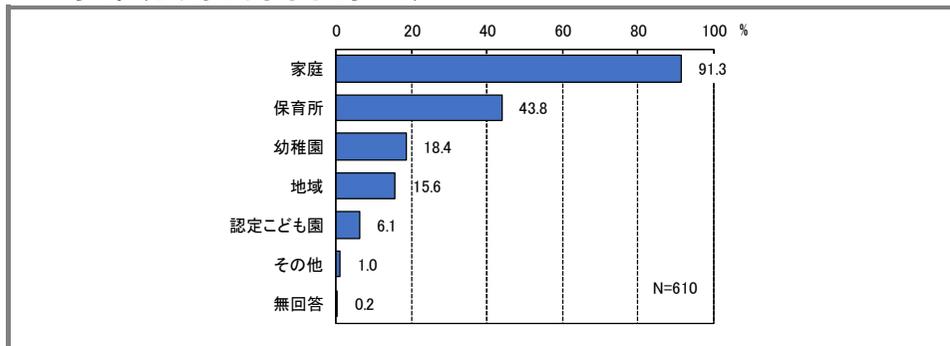
### 3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（続柄はあて名のお子さんからみた関係です）。（〇はあてはまるものすべて）



- 子どもの子育てに日常的に関わっている人（施設）については、「父母ともに」が 62.8%と最も高い割合となっており、「保育所」が 43.8%でそれに続いています。

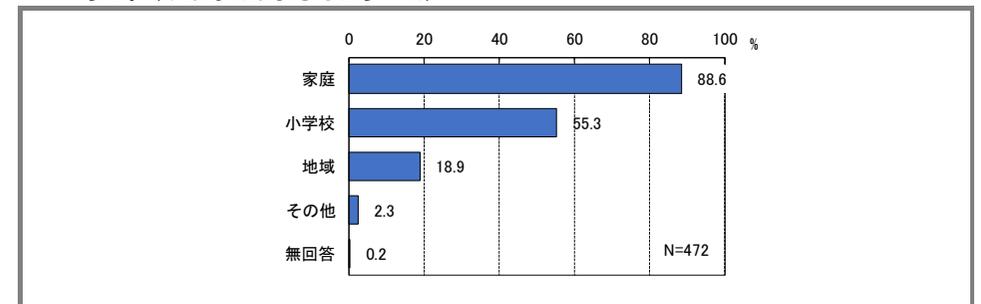
問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われるものはどれですか。（〇はあてはまるものすべて）



- 子どもの子育てに最も影響すると思われるものとしては、「家庭」が 91.3%と圧倒的に高い割合となっており、「保育所」が 43.8%でそれに続いています。

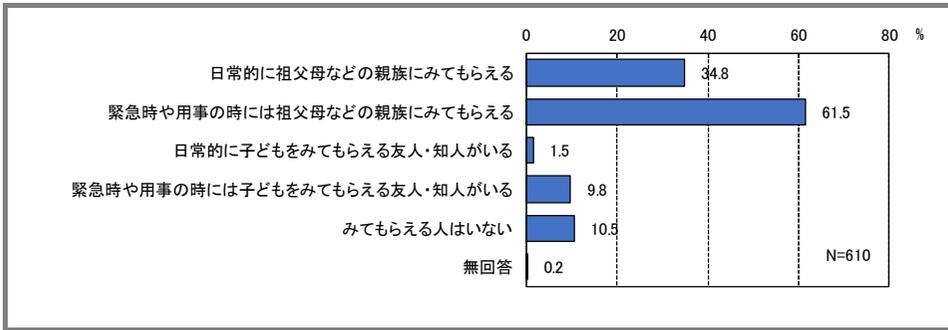
### 3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われるものはどれですか。（〇はあてはまるものすべて）



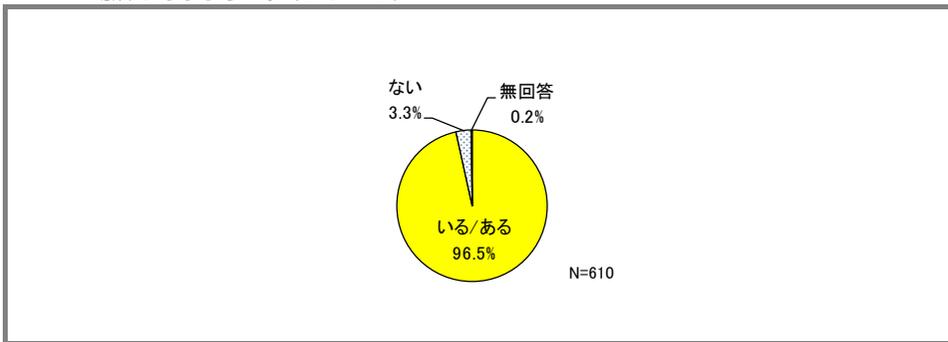
- 子どもの子育てに最も影響すると思われるものとしては、「家庭」が 88.6%と圧倒的に高い割合となっており、「小学校」が 55.3%でそれに続いています。

問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。（○はあてはまるものすべて）



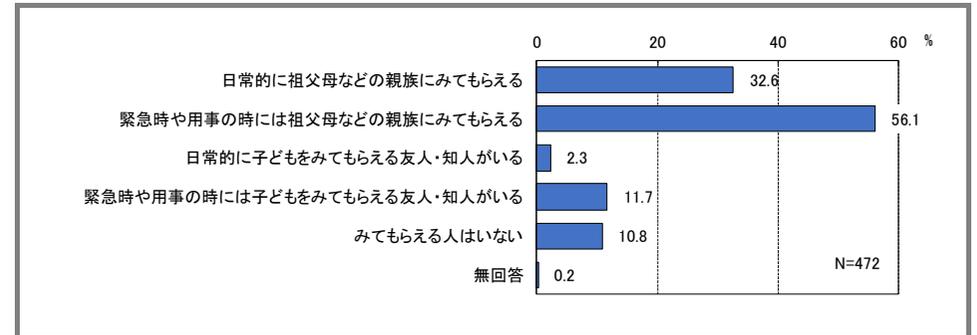
- 緊急時や用事の時に子どもをみてもらえる人がいない人の割合は10.5%となっています。

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）の相談を気軽にできる人はいますか。また、場所はありますか。（○は1つ）



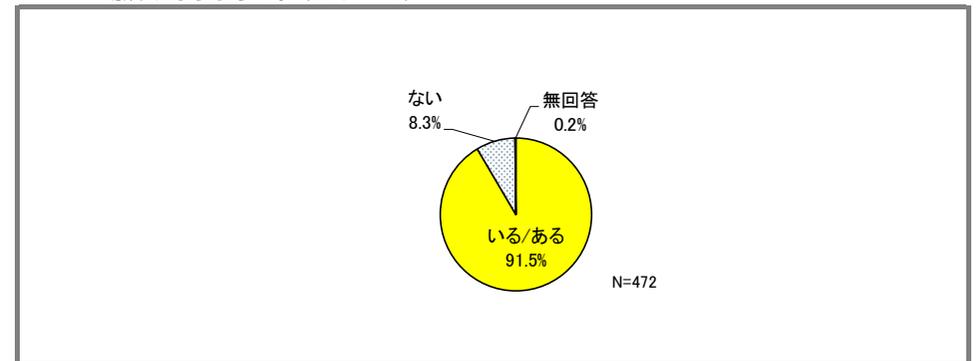
- 子育てについて気軽に相談できる人や場所が「ない」と回答した人の割合は3.3%となっています。

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。（○はあてはまるものすべて）



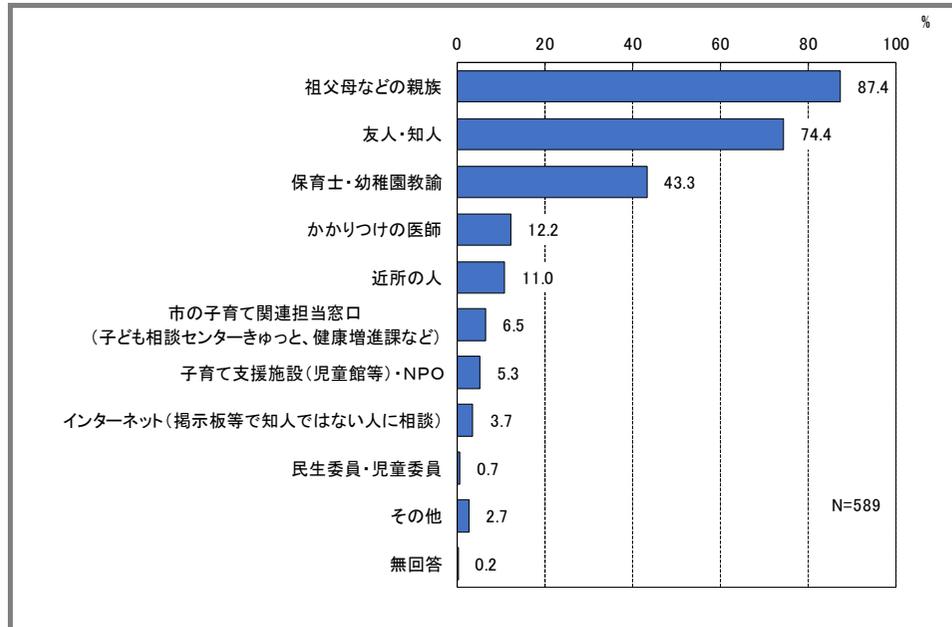
- 緊急時や用事の時に子どもをみてもらえる人がいない人の割合は10.8%となっています。

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）の相談を気軽にできる人はいますか。また、場所はありますか。（○は1つ）



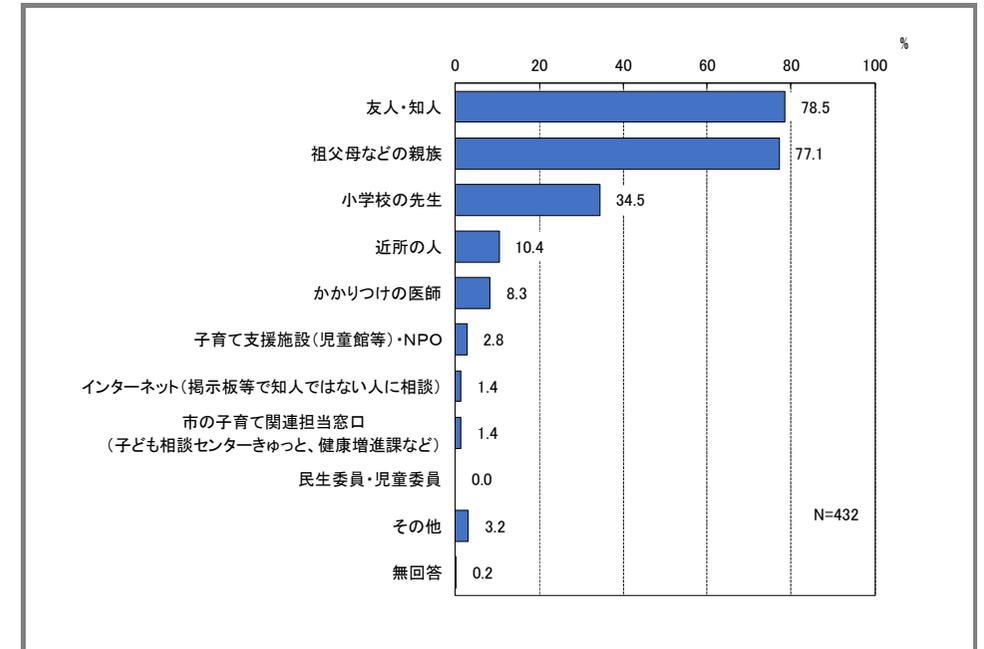
- 子育てについて気軽に相談できる人や場所が「ない」と回答した人の割合は8.3%となっています。

問10-1（問10で1と回答された方に）相談先はどこですか。（○はあてはまるものすべて）



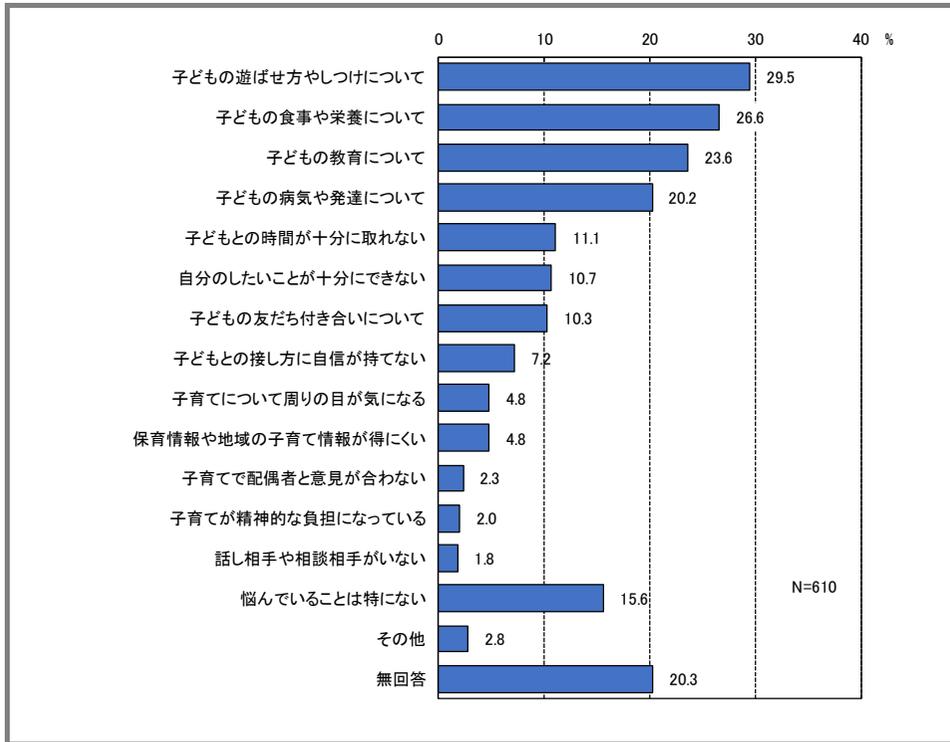
- 子育てに関する相談先については、「祖父母などの親族」が87.4%、「友人・知人」が74.4%と上位を占めており、「保育士・幼稚園教諭」が43.3%で続いています。

問9-1（問9で1と回答された方に）相談先はどこですか。（○はあてはまるものすべて）



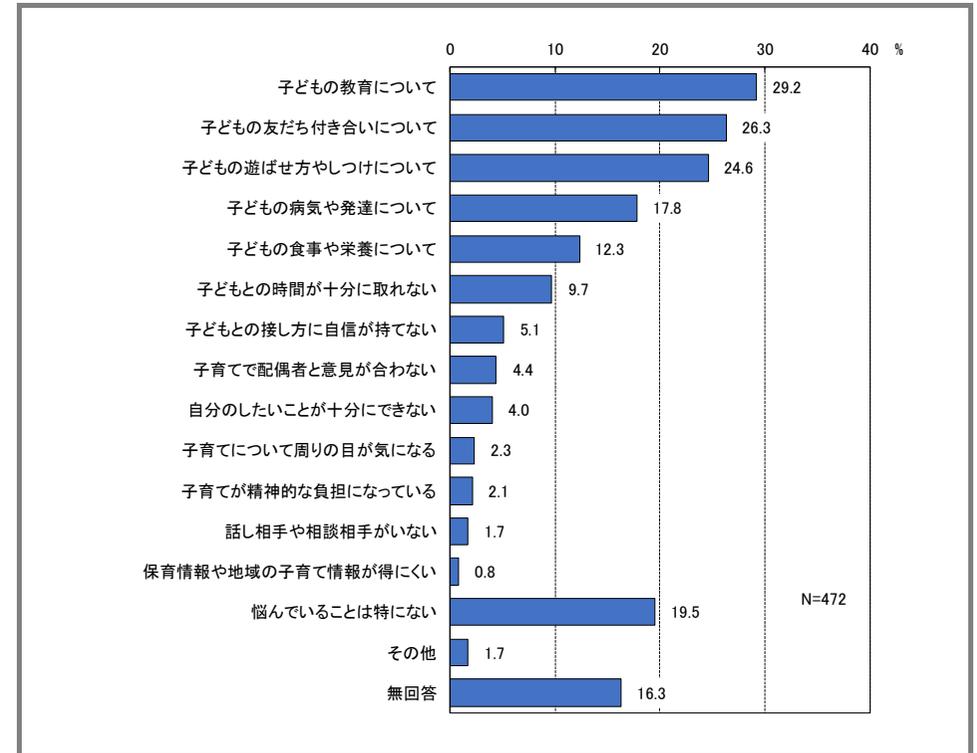
- 子育てに関する相談先については、「友人・知人」が78.5%「祖父母などの親族」が77.1%と上位を占めており、「小学校の先生」が34.5%で続いています。

問11 子育てに関する悩みはありますか。（〇はあてはまるものすべて）



- 子育ての悩みとしては、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が29.5%と最も多く、次いで「子どもの食事や栄養について」が26.6%、「子どもの教育について」が23.6%、「子どもの病気や発達について」が20.2%と続いています。

問10 子育てに関する悩みはありますか。（〇はあてはまるものすべて）

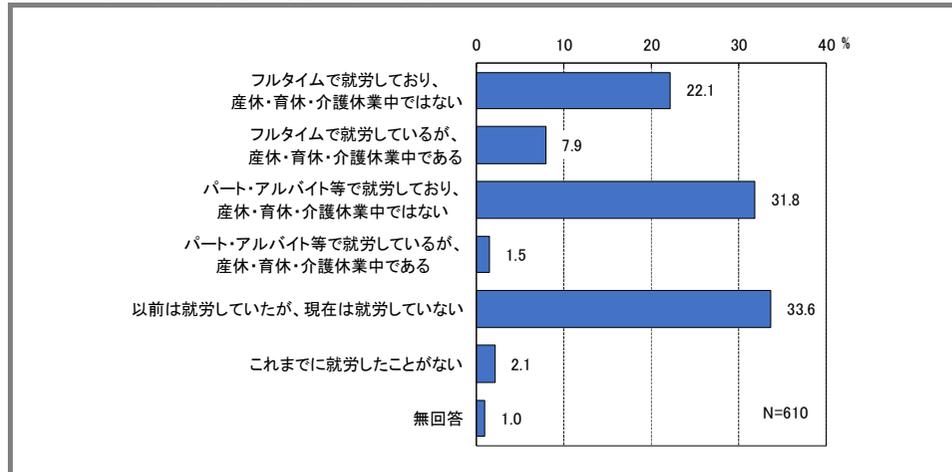


- 子育ての悩みとしては、「子どもの教育について」が29.2%と最も多く、次いで「子どもの友だち付き合いについて」が26.3%、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が24.6%、「子どもの病気や発達について」が17.8%と続いています。

#### 4. 保護者の就労状況について

問12 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についておうかがいします。（〇は1つ）

（1）母親【父子家庭の場合は記入不要】

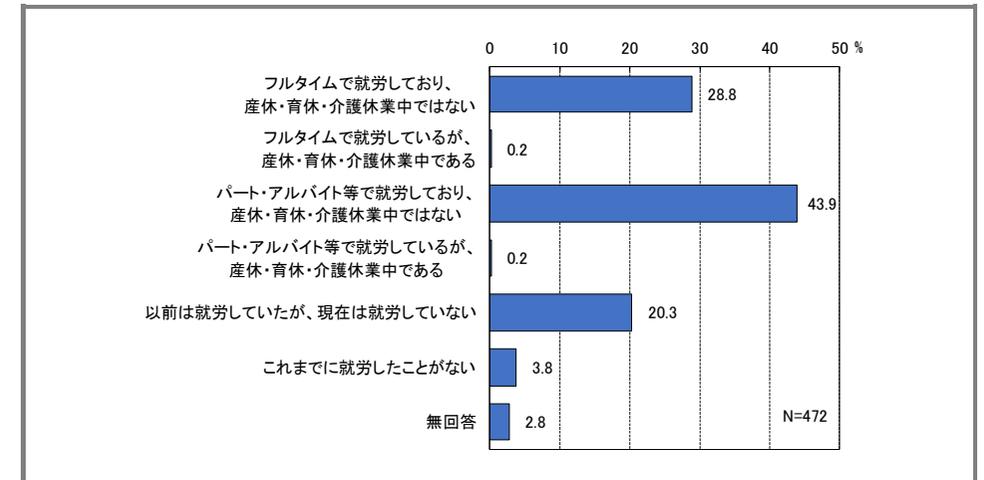


- 母親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、産休・育休・介護休業中の人も含めて30.0%、同じくパート・アルバイト等が33.3%となっています。

#### 4. 保護者の就労状況について

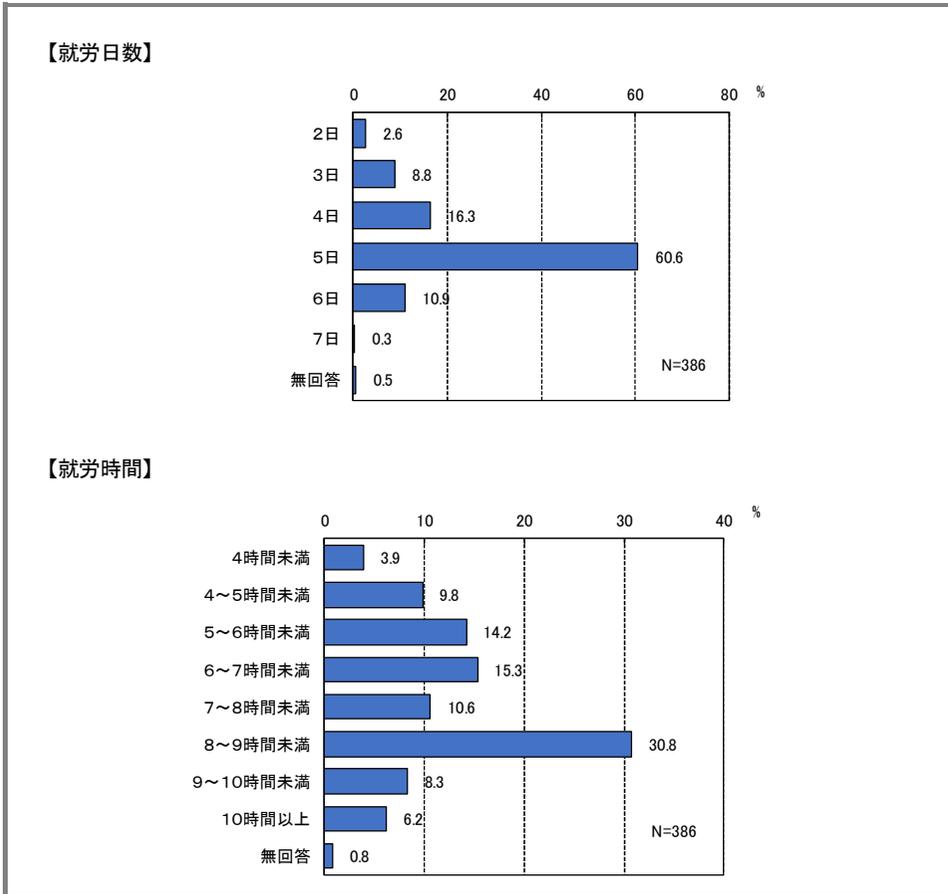
問11 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についておうかがいします。（〇は1つ）

（1）母親【父子家庭の場合は記入不要】



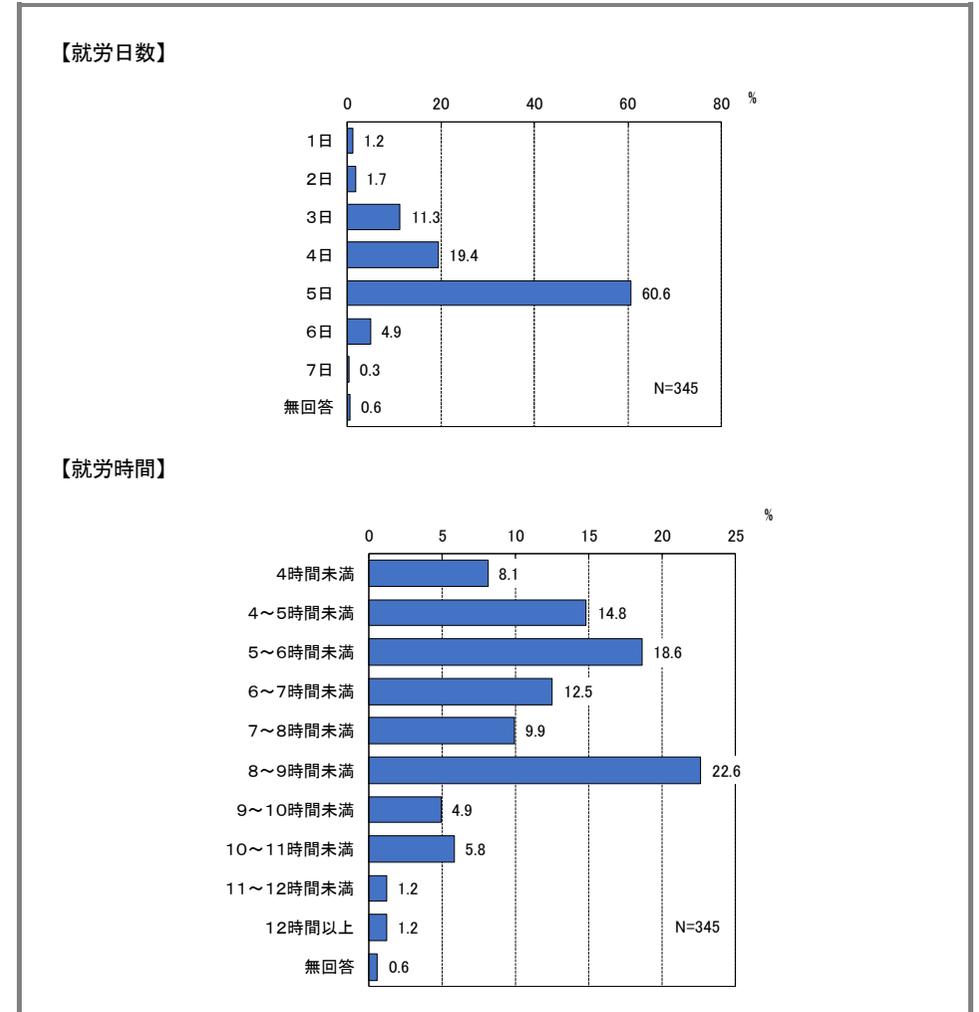
- 母親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、産休・育休・介護休業中の人も含めて29.0%、同じくパート・アルバイト等が44.1%となっています。

(1) -1 (問12(1)で1~4と回答された方に) 週当たりの「就労日数」や1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」はどのくらいですか。



● 母親の週当たりの「就労日数」は「5日」(60.6%)、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」は「8~9時間未満」(30.8%)が最も多くなっています。

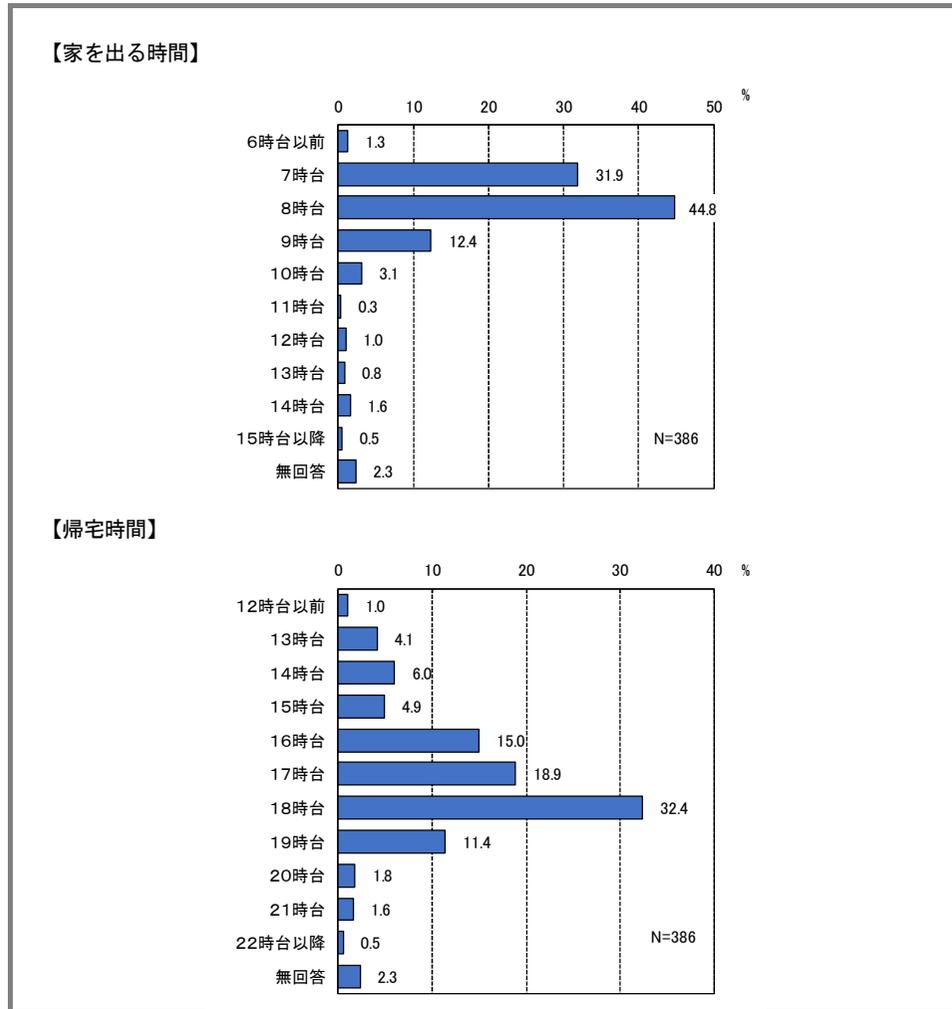
(1) -1 (問11(1)で1~4と回答された方に) 週当たりの「就労日数」や1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」はどのくらいですか。



● 母親の週当たりの「就労日数」は「5日」(60.6%)、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」は「8~9時間未満」(22.6%)が最も多くなっています。

(1)-2 (問12(1)で1~4と回答された方に)

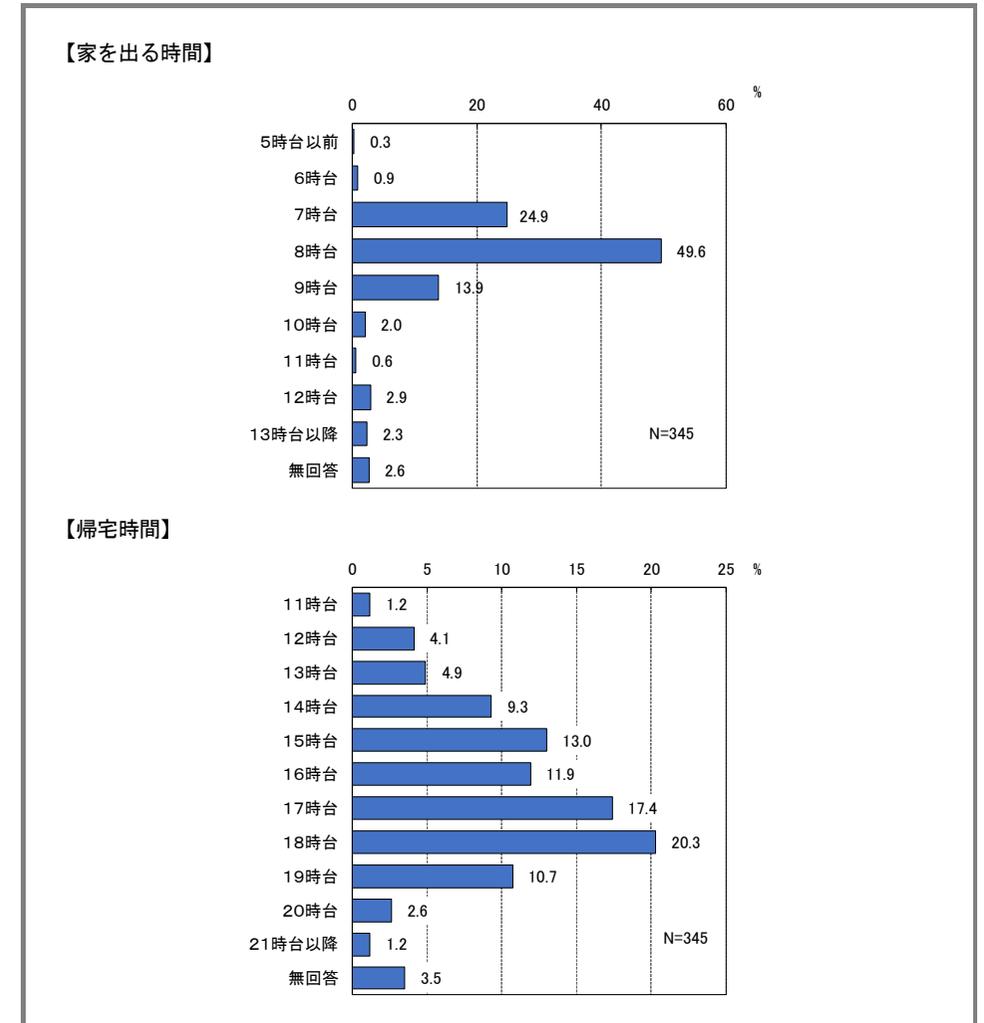
家を出る時間と帰宅時間は何時ですか。0時から24時(24時間制)でお答えください。



● 母親の仕事で家を出る時間は「8時台」(44.8%)、帰宅時間は「18時台」(32.4%)が最も多くなっています。

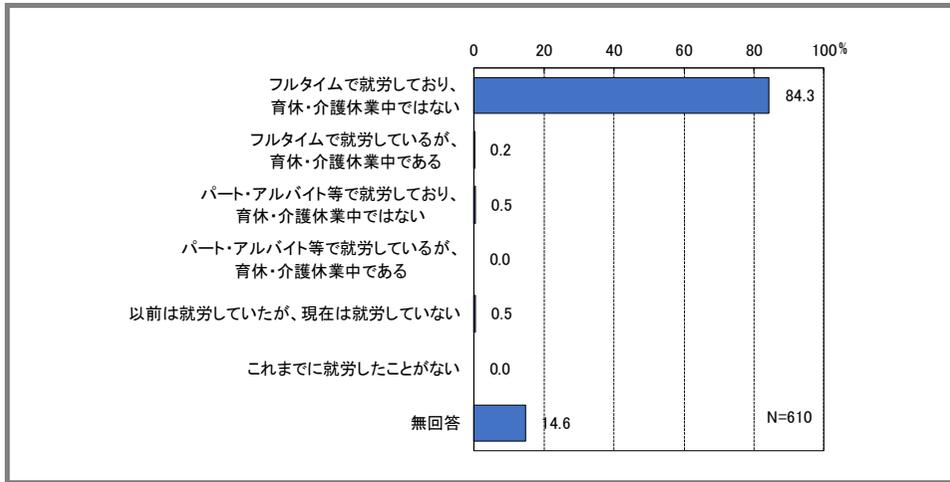
(1)-2 (問11(1)で1~4と回答された方に)

家を出る時間と帰宅時間は何時ですか。0時から24時(24時間制)でお答えください。



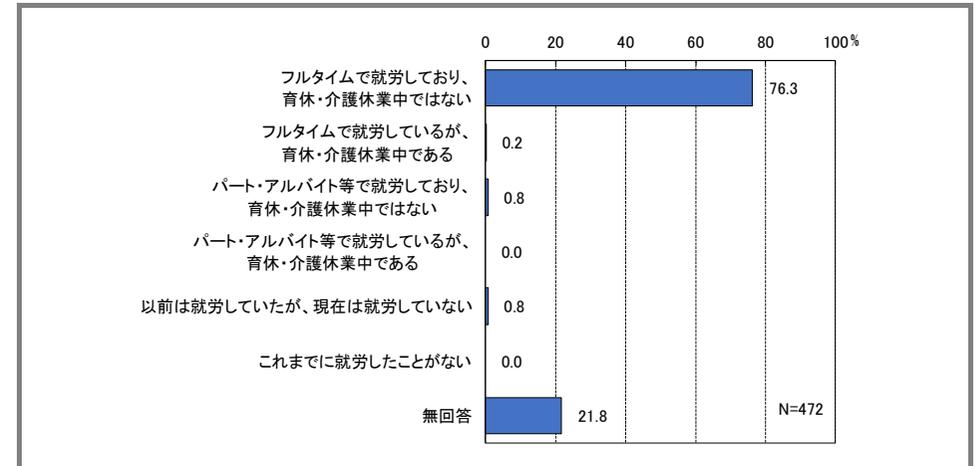
● 母親の仕事で家を出る時間は「8時台」(49.6%)、帰宅時間は「18時台」(20.3%)が最も多くなっています。

（2）父親【母子家庭の場合は記入不要】



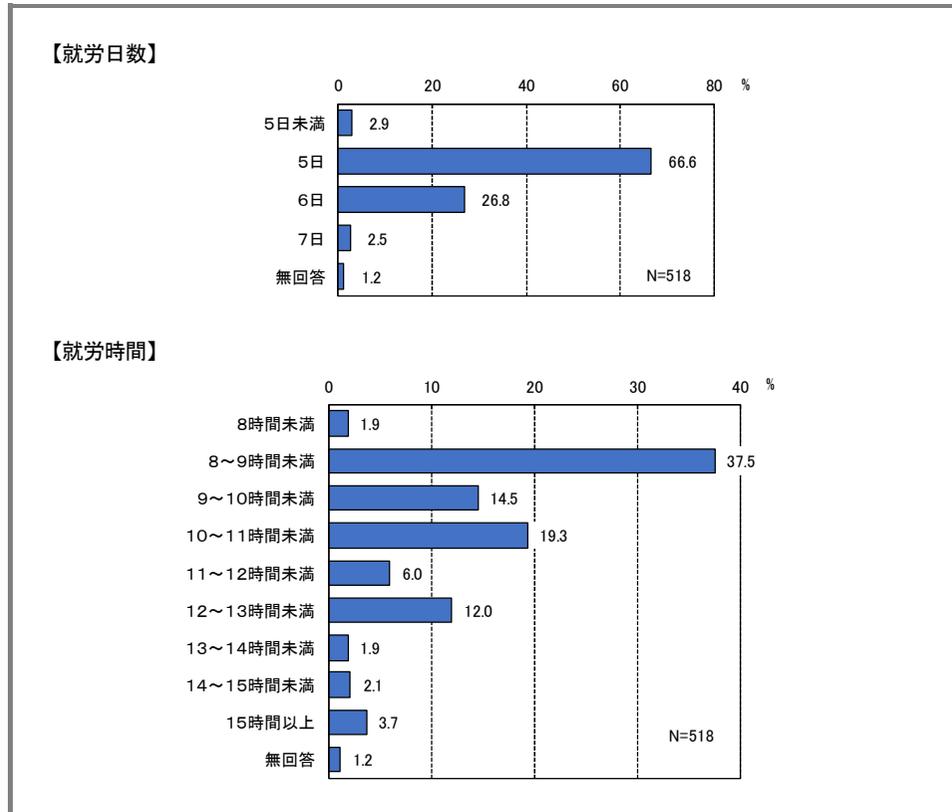
- 父親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、育休などで休業中の人も含めて84.3%となっており、無回答を除く実際の回答者の大半を占めています。
- パートタイム、アルバイト等で就労していると回答した人は0.5%（3人）となっています。

（2）父親【母子家庭の場合は記入不要】



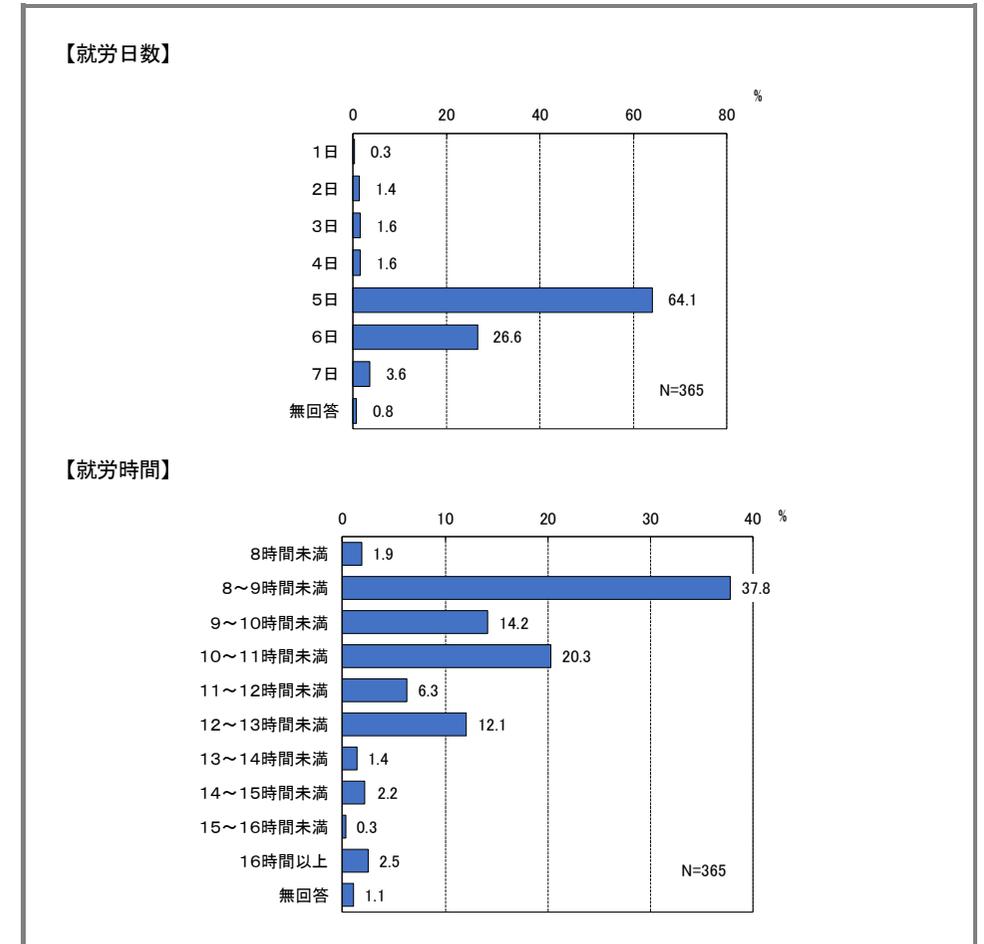
- 父親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、育休などで休業中の人も含めて76.5%となっており、無回答を除く実際の回答者の大半を占めています。
- パートタイム、アルバイト等で就労していると回答した人は0.8%（4人）となっています。

(2) -1 (問12(2)で1~4と回答された方に) 週当たりの「就労日数」や1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」はどのくらいですか。



● 父親の週当たりの「就労日数」は「5日」(66.6%)、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」は「8~9時間未満」(37.5%)が最も多くなっています。

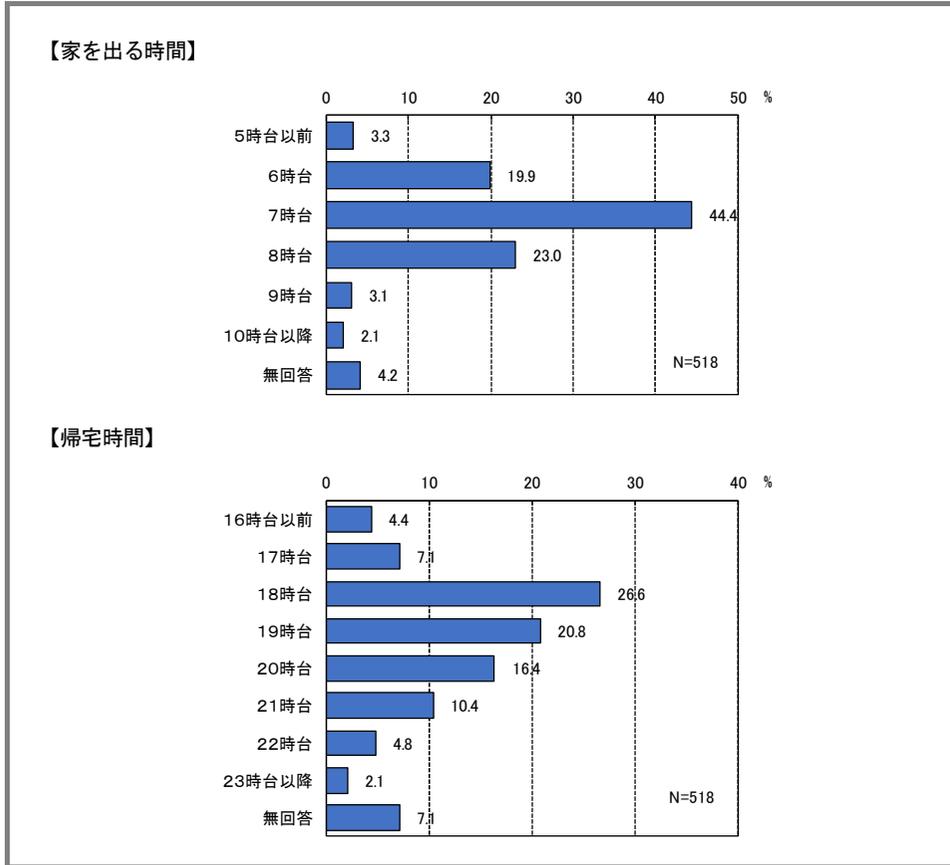
(2) -1 (問11(2)で1~4と回答された方に) 週当たりの「就労日数」や1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」はどのくらいですか。



● 父親の週当たりの「就労日数」は「5日」(64.1%)、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」は「8~9時間未満」(37.8%)が最も多くなっています。

(2) -2 (問 12 (2) で 1~4 と回答された方に)

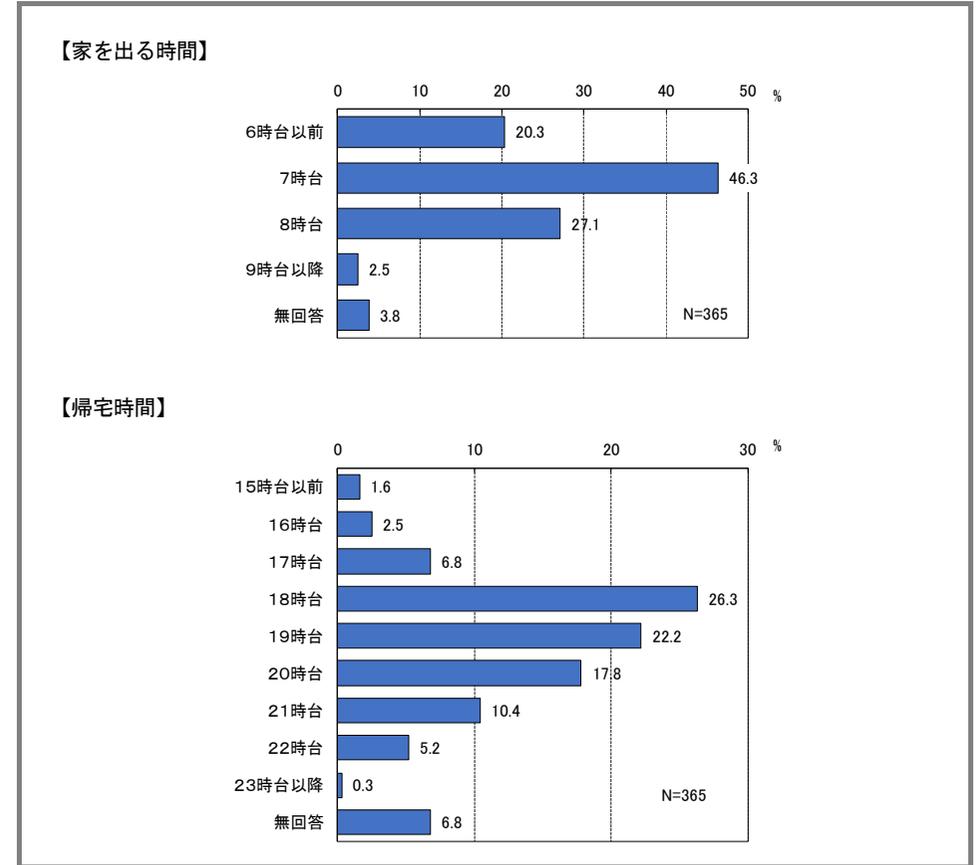
家を出る時間と帰宅時間は何時ですか。0時から24時（24時間制）でお答えください。



- 父親の仕事で家を出る時間は「7時台」（44.4%）、帰宅時間は「18時台」（26.6%）が最も多くなっています。

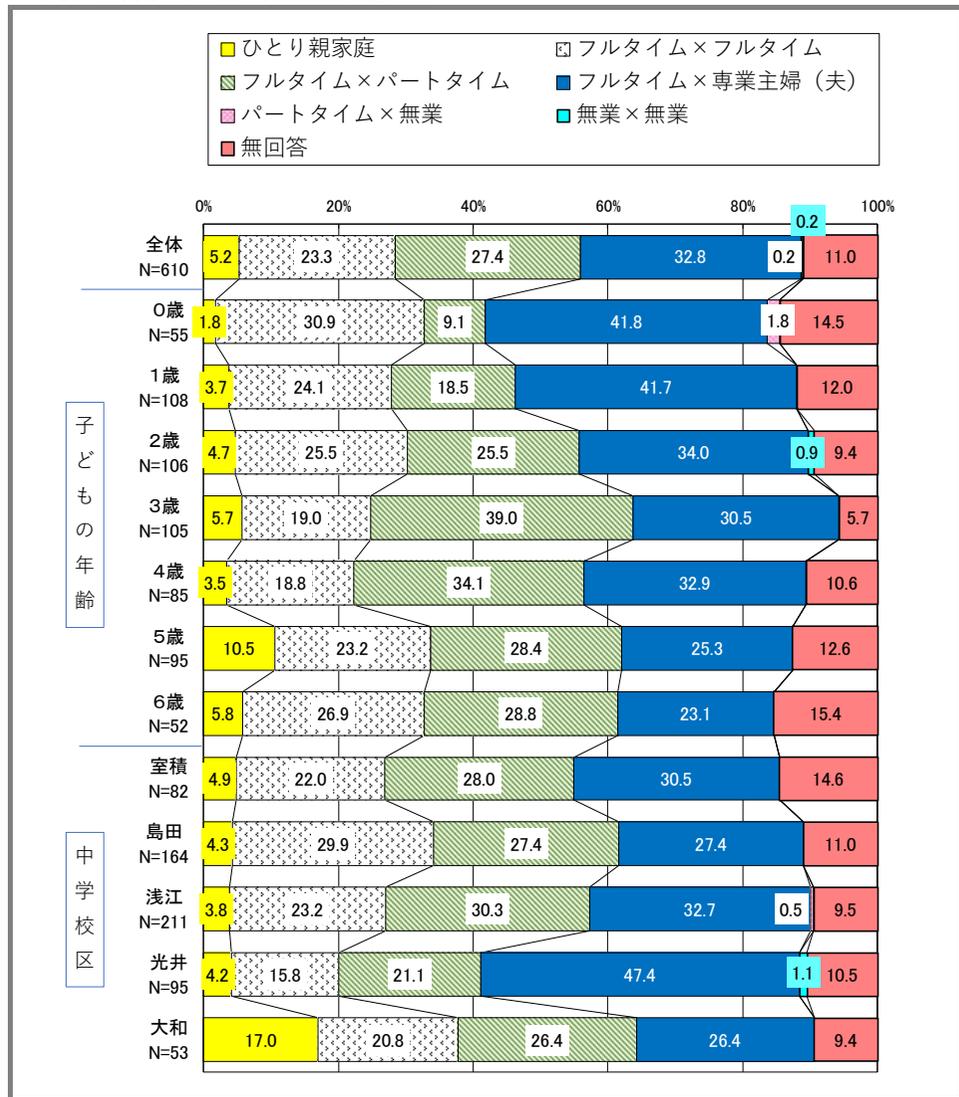
(2) -2 (問 11 (2) で 1~4 と回答された方に)

家を出る時間と帰宅時間は何時ですか。0時から24時（24時間制）でお答えください。



- 父親の仕事で家を出る時間は「7時台」（46.3%）、帰宅時間は「18時台」（26.3%）が最も多くなっています。

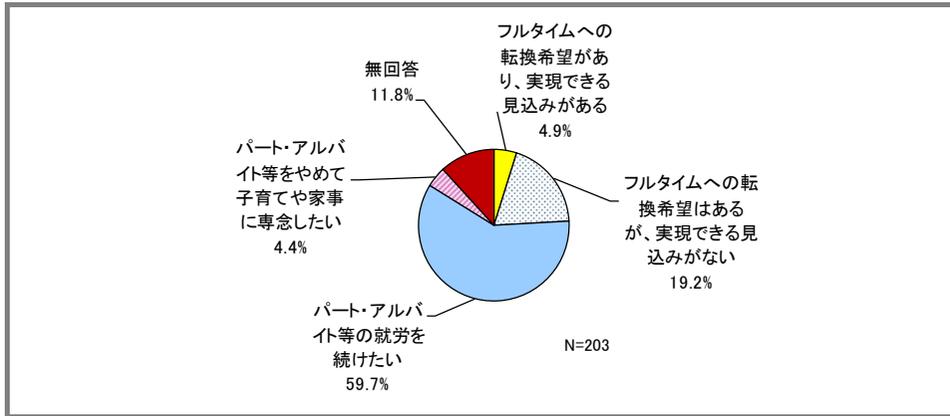
（3）両親の就労状況等による家庭類型



- 両親の就労状況から、調査対象者の現在の家庭類型を分類すると、「フルタイム×専業主婦(夫)」の割合が32.8%と最も多く、以下、「フルタイム×パートタイム」が27.4%、「フルタイム×フルタイム」が23.3%と続いています。
- 子どもの年齢別に見て「フルタイム×専業主婦(夫)」の割合が高いのは「0歳」(41.8%)「1歳」(41.7%)、中学校区別に見て「フルタイム×専業主婦(夫)」の割合が高いのは「光井」中学校区(47.4%)となっています。

問13 (問12の(1)または(2)で3~4と回答された方に)フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

(1) 母親



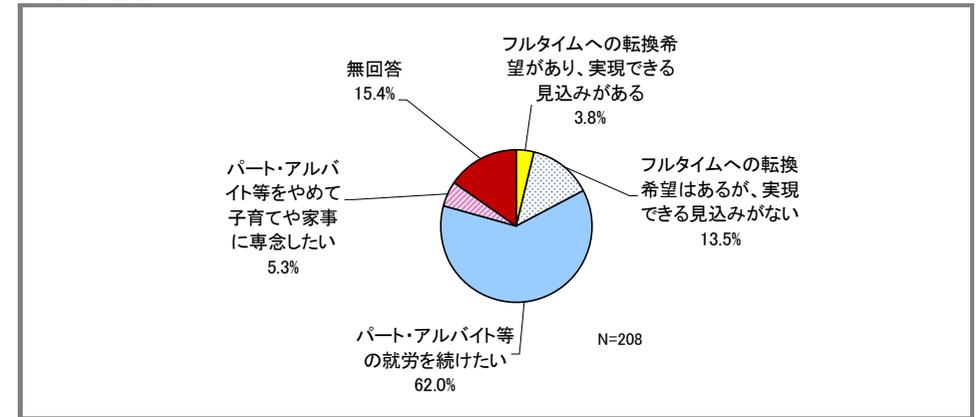
- パートタイム、アルバイト等で就労していると回答した母親のうち、フルタイムへの転換希望がある人は24.1%となっています。

(2) 父親

- パートタイム、アルバイト等で就労していると回答した父親3人のうち、フルタイムへの転換希望がある人は1人(33.3%)となっています。

問12 (問11の(1)または(2)で3~4と回答された方に)フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

(1) 母親



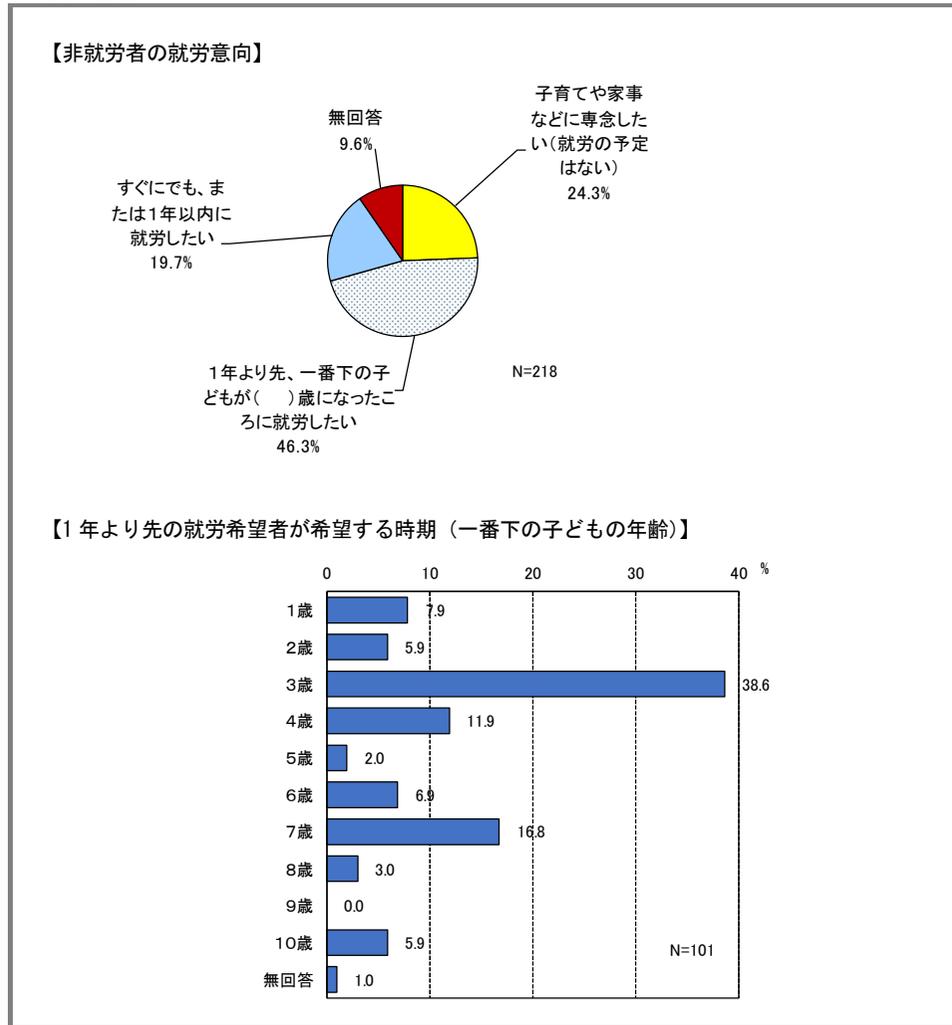
- パートタイム、アルバイト等で就労していると回答した母親のうち、フルタイムへの転換希望がある人は17.3%となっています。

(2) 父親

- パートタイム、アルバイト等で就労していると回答した父親4人のうち、フルタイムへの転換希望がある人はいませんでした。

問14 （問12の（1）または（2）で5～6と回答された方に）就労したいという希望はありますか。（母親、父親それぞれ、〇は1つずつ）

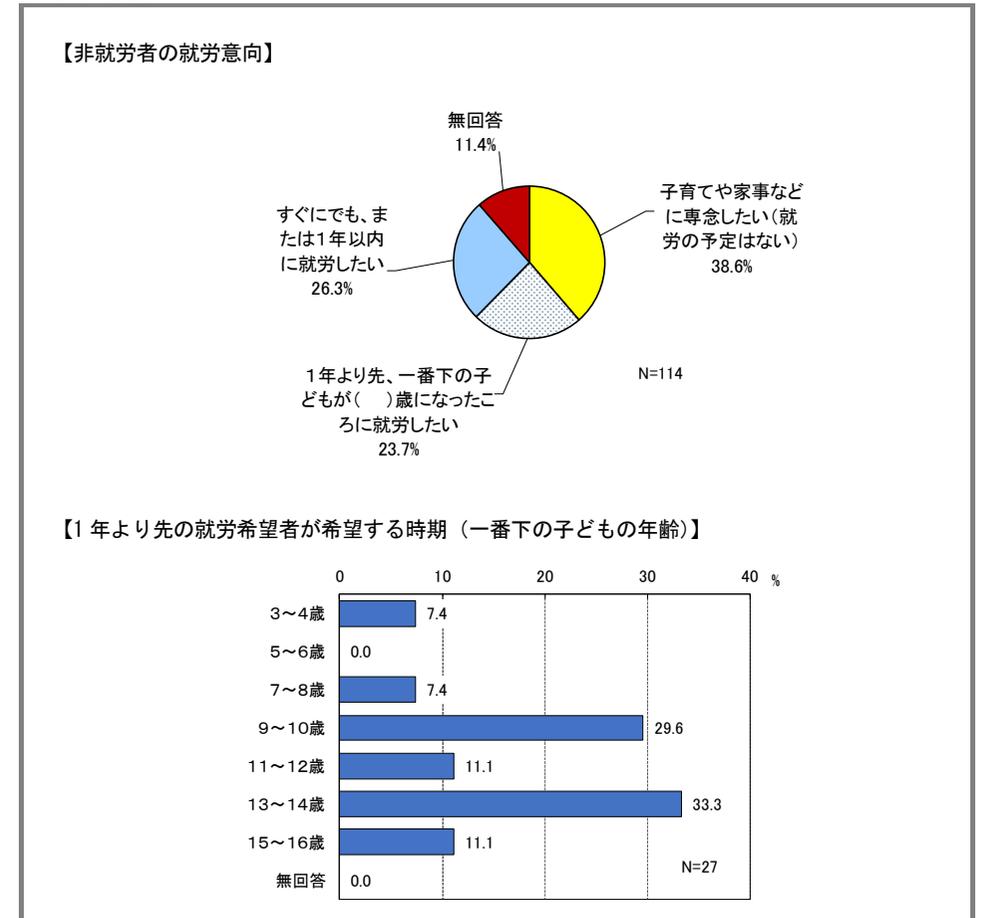
(1) 母親



- 現在就労していない母親の就労希望を尋ねたところ、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が19.7%、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人は46.3%となっており、就労していない母親の66.0%に就労希望のあることがわかります。

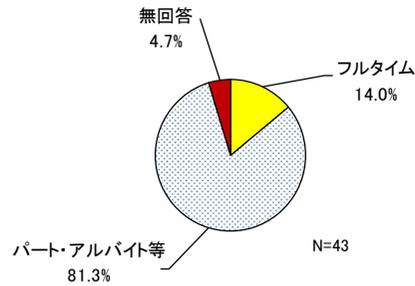
問13 （問11の（1）または（2）で5～6と回答された方に）就労したいという希望はありますか。（母親、父親それぞれ、〇は1つずつ）

(1) 母親

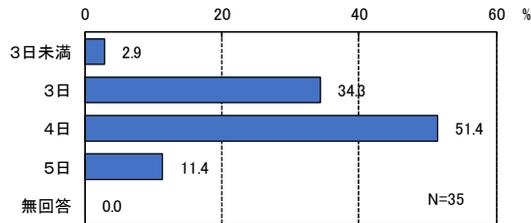


- 現在就労していない母親の就労希望を尋ねたところ、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が26.3%、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人は23.7%となっており、就労していない母親の50.0%に就労希望のあることがわかります。

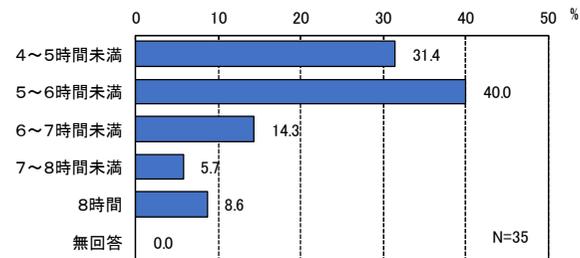
【希望する就労形態】



【パート・アルバイト等希望者の週当たり希望就労日数】



【パート・アルバイト等希望者の1日当たり希望就労時間】

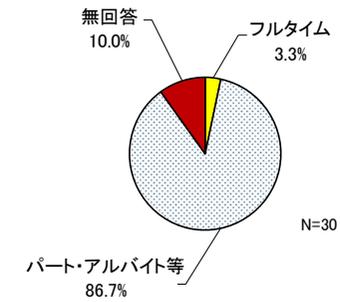


- 就労希望があると回答した人に、希望の就労形態を尋ねたところ、「パート・アルバイト等」が81.3%と圧倒的に高い割合を占めており、「フルタイム」を希望する人の割合は14.0%にとどまっています。

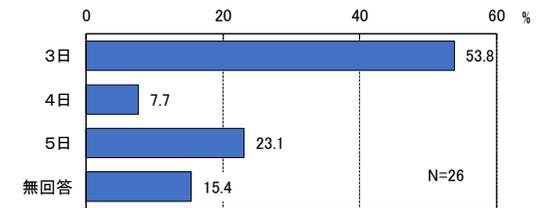
(2) 父親

- 現在就労していない父親 (3人) の就労希望を尋ねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が1人 (33.3%)、希望する就労形態は「フルタイム」となっています。

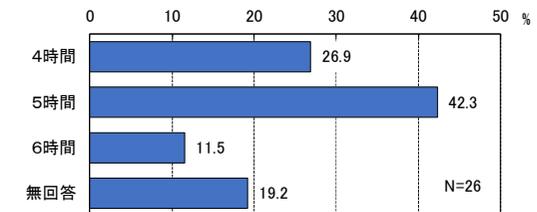
【希望する就労形態】



【パート・アルバイト等希望者の週当たり希望就労日数】



【パート・アルバイト等希望者の1日当たり希望就労時間】



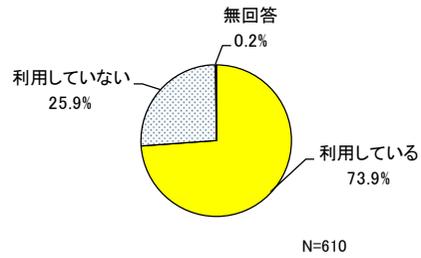
- 就労希望があると回答した人に、希望の就労形態を尋ねたところ、「パート・アルバイト等」が86.7%と高い割合を占めており、「フルタイム」を希望する人の割合は3.3%にとどまっています。

(2) 父親

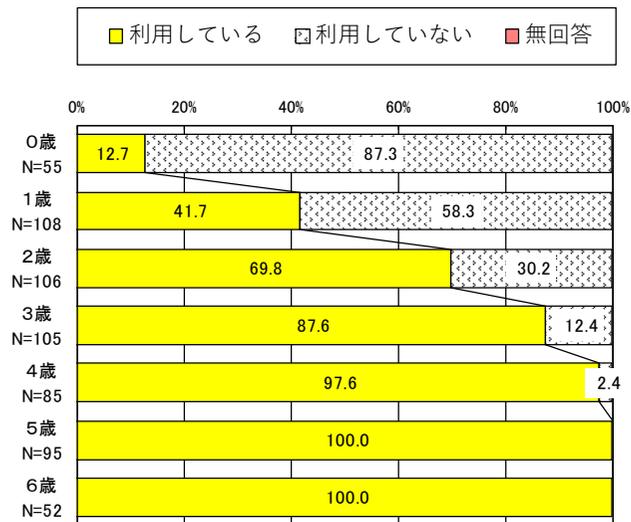
- 現在就労していない父親 (4人) の就労希望を尋ねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が1人 (25.0%)、希望する就労形態は「フルタイム」となっています。

## 5. あて名の子どもの平日の幼稚園や保育所などの利用状況について

問 15 あて名のお子さんは、日頃、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育のサービス」を利用していますか。（○は1つ）

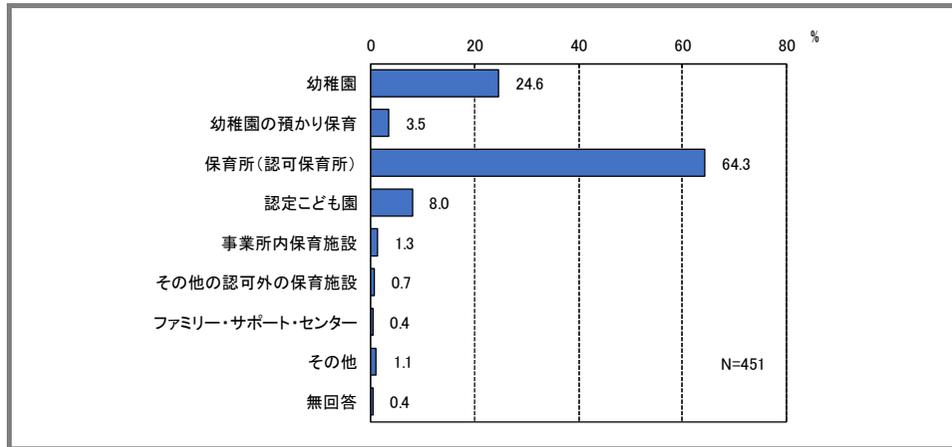


### 【子どもの年齢別クロス集計結果】



- 現在、「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」と回答した人の割合は全体の 73.9% で、子どもの年齢が高くなるにつれて、「利用している」という回答割合も高くなっています。

問 15-1 （問 15 で 1 と回答された方に）あて名のお子さんは、現在、どのような教育・保育のサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているものをお答えください。（〇はあてはまるものすべて）

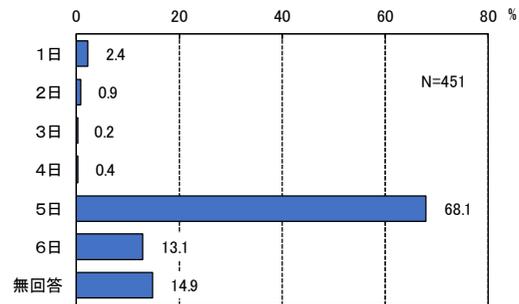


- 「定期的な教育・保育の事業」利用者のうち 64.3%は「保育所（認可保育所）」を利用していると回答しており、「幼稚園」利用者は 24.6%、「認定こども園」利用者は 8.0%となっています。

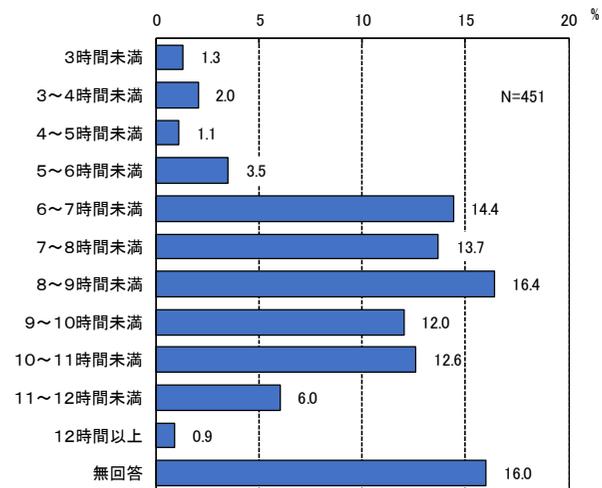
問 15-2 （問 15 で 1 と回答された方に）あて名のお子さんは、教育・保育のサービスをどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを具体的な数字でお答えください。

（1）現在

【1週当たりの日数】



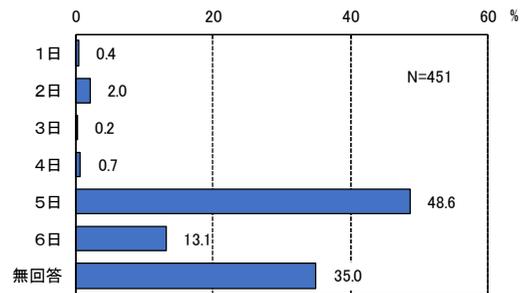
【1日当たりの時間数】



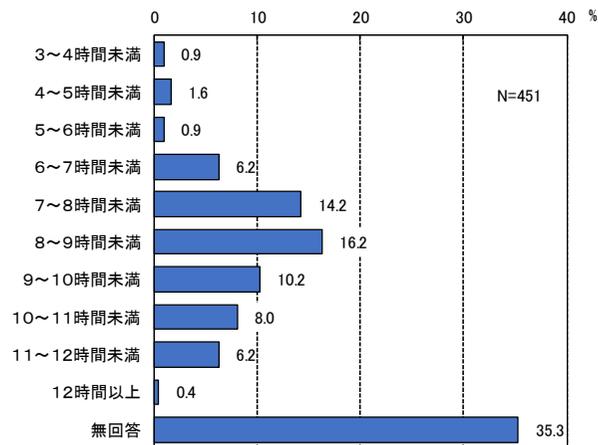
- 教育・保育事業の利用状況については、1週当たり「5日」（68.1%）、1日当たり8～9時間未満（16.4%）の利用が多くなっています。

(2) 希望

【1週当たりの日数】

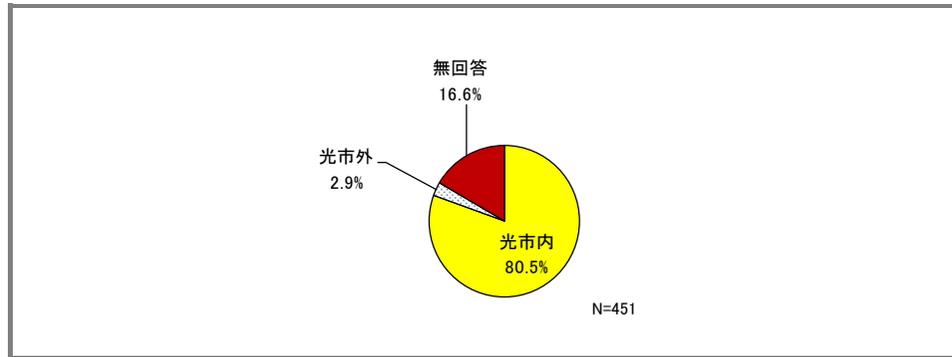


【1日当たりの時間数】



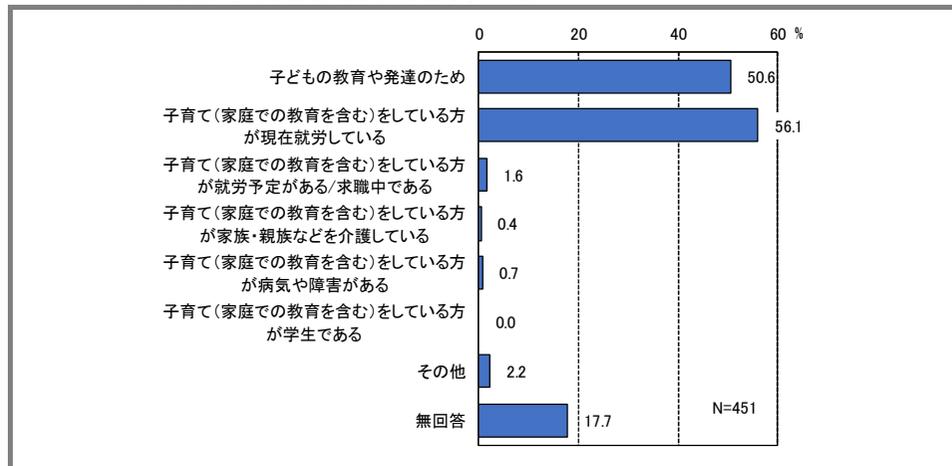
- 教育・保育事業の利用希望についても、1週当たり5日（48.6%）、1日当たり「8～9時間未満」（16.2%）が最も多くなっています。

問 15-3 （問 15 で 1 と回答された方に）現在、利用している教育・保育サービスの実施場所はどこですか。（〇は1つ）



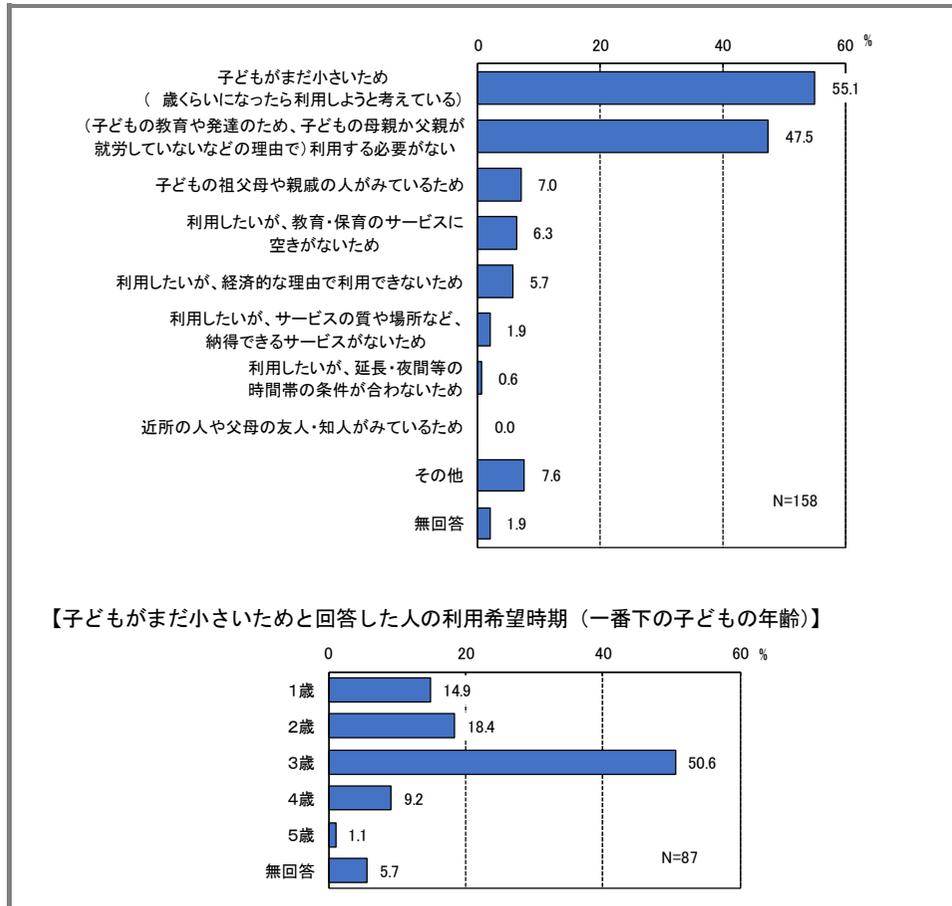
- 現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「光市内」が80.5%、「光市外」が2.9%となっています。

問 15-4 （問 15 で 1 と回答された方に）教育・保育のサービスを利用している理由をお答えください。（〇はあてはまるものすべて）



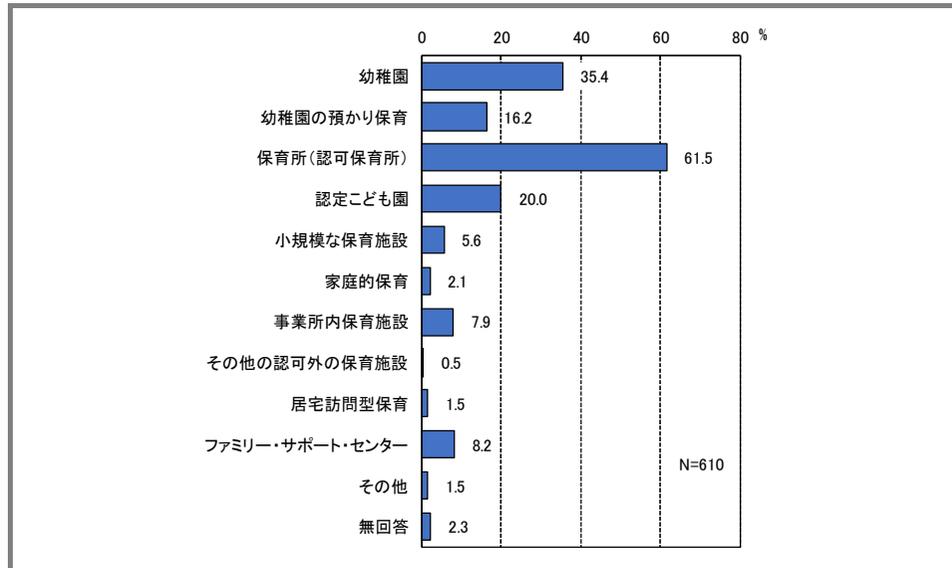
- 教育・保育のサービスを利用している理由としては、「子育て（家庭での教育を含む）をしている方が現在就労している」（56.1%）と「子どもの教育や発達のため」（50.6%）が大半を占めています。

問 15-5 （問 15 で 2 と回答された方に）教育・保育のサービスを利用していない理由をお答えください。（〇はあてはまるものすべて）



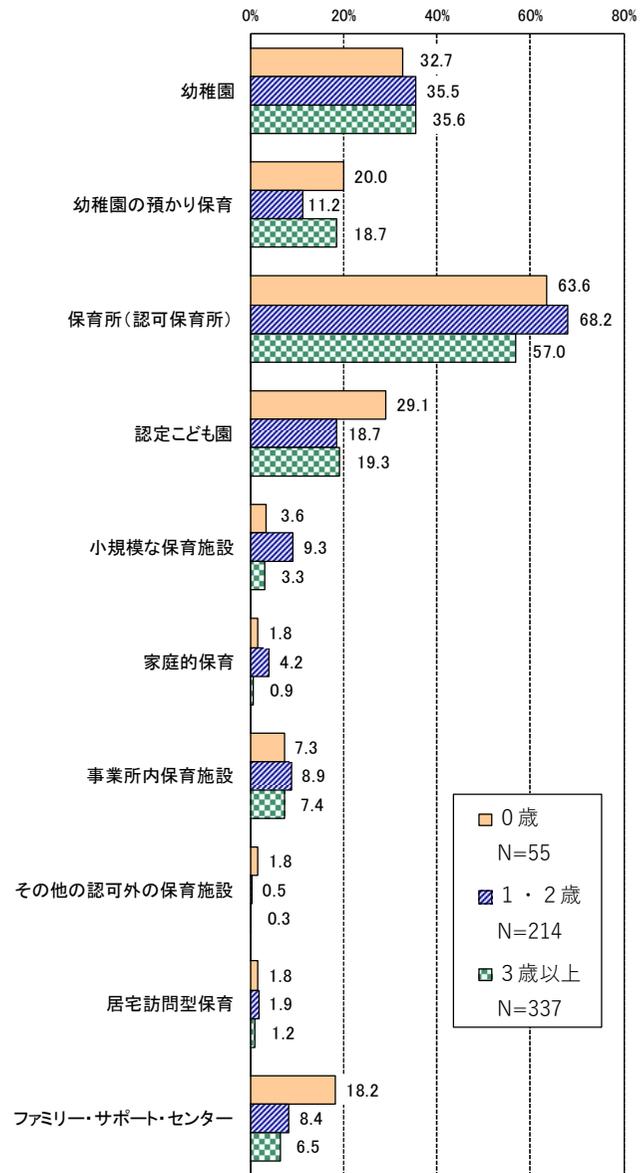
- 「定期的な教育・保育の事業」を利用していない方に、その理由を尋ねたところ、「子どもがまだ小さいため」(55.1%) や「利用する必要がない」(47.5%) が上位を占めています。

問 16 すべての方にうかがいます。あて名のお子さんに関して、現在、利用している、利用していないにかかわらず、平日の教育・保育のサービスとして、「定期的に」利用したいサービスをお答えください。

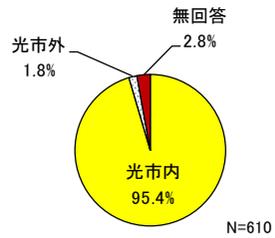


- 現在の利用状況に関わらず、平日の日中の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業を尋ねたところ、「保育所（認可保育所）」が61.5%と最も多くなっており、「幼稚園」が35.4%、「認定こども園」が20.0%と続いています。
- 子どもの年齢別クロス集計結果（次ページ参照）を見ると、本来3歳以上の利用が想定される「幼稚園」においても0歳、1・2歳の高い利用意向が示されており、ここでの回答には当該年齢における利用意向のほかに、将来もう少し子どもが大きくなったら利用したいと考えている場合も含まれることに注意する必要があります。

【子どもの年齢別クロス集計結果】

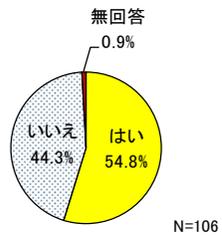


問 16-1 教育・保育サービスを利用したい場所はどこですか（○は1つ）



- 教育・保育事業を利用したい場所については、「光市内」が95.4%、「光市外」が1.8%となっています。

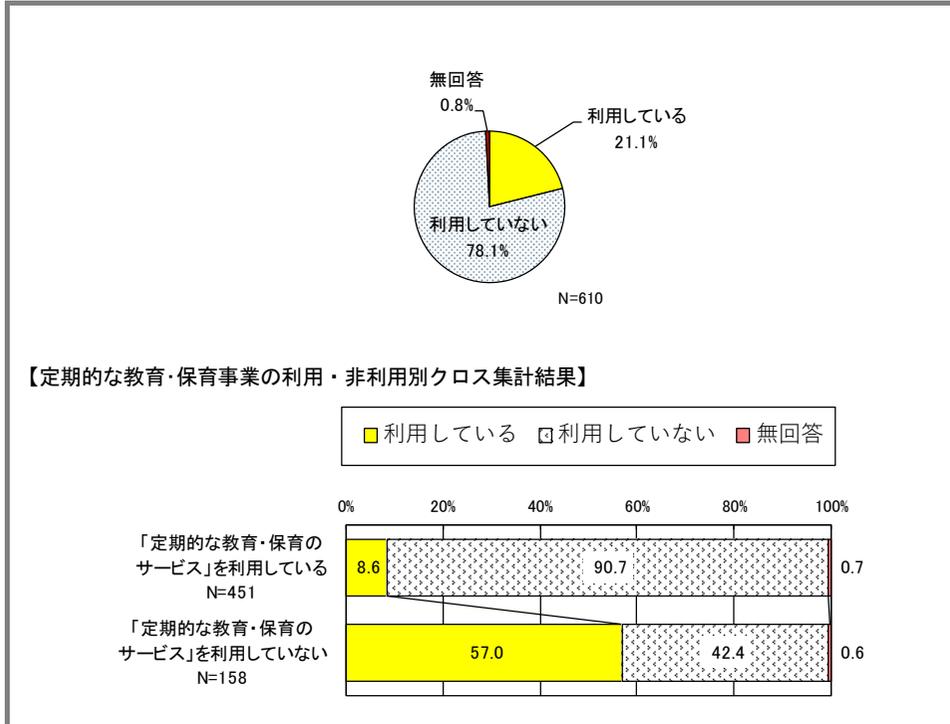
問 16-2 （問 16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方に）特に幼稚園の利用を強く希望しますか。（○は1つ）



- 「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」と他の教育・保育事業を同時に選択した人のうち、特に幼稚園の利用を強く希望する人の割合は54.8%となっています。

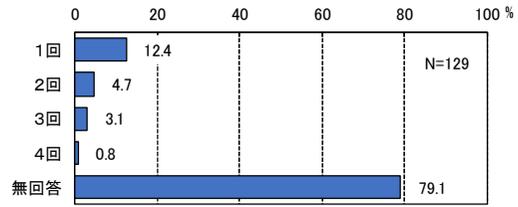
## 6. あて名の子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 あて名のお子さんは、現在、光市子育て支援センター「チャイベビステーション」を利用していますか。（○は1つ）  
また、おおよその利用回数をお答えください。

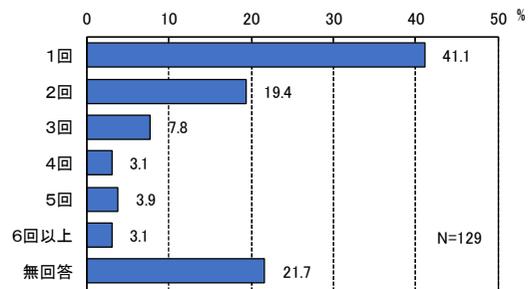


- 現在、光市子育て支援センター「チャイベビステーション」を利用していると回答した人の割合は21.1%となっています。
- 定期的な教育・保育事業の利用・非利用別クロス集計結果を見ると、光市子育て支援センター「チャイベビステーション」利用者の大半は幼稚園や保育所を利用していない人であることが分かります。

【1週当たり利用回数】

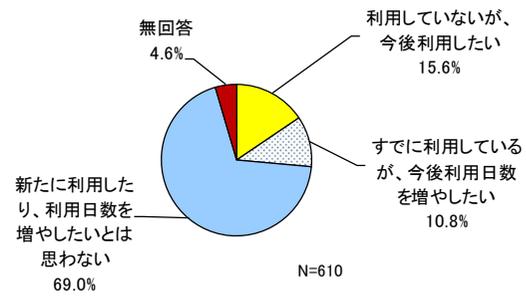


【1月当たり利用回数】

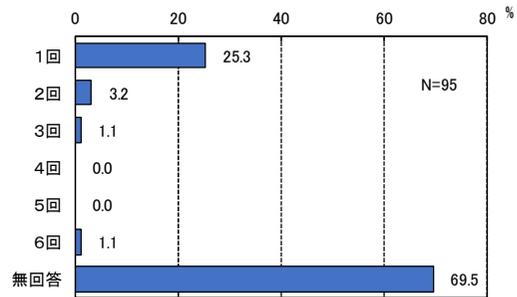


- 光市子育て支援センター「チャイベピステーション」の利用回数については、1月当たり1回が（41.1%）最も多くなっています。

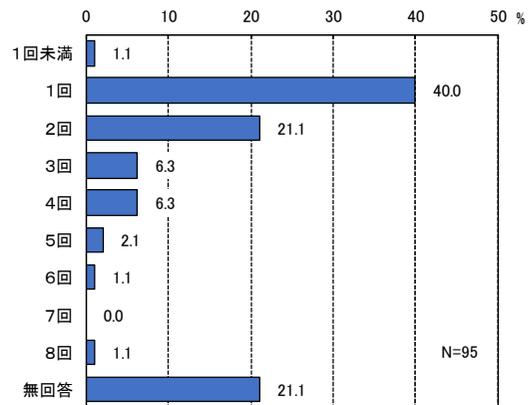
問 18 光市子育て支援センター「チャイペステーション」を今は利用していないが、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）。



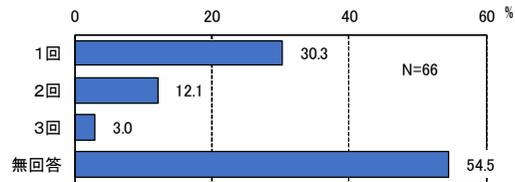
【「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の1週当たり利用希望回数】



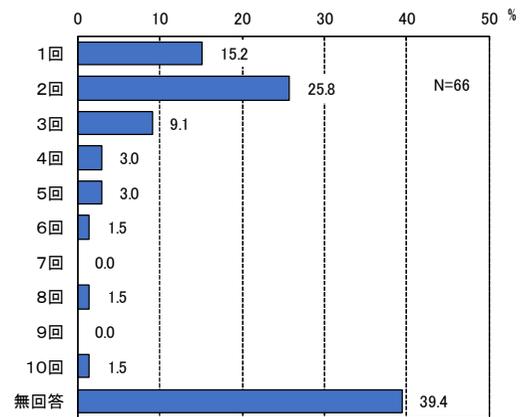
【「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の1月当たり利用回数】



【「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の1週当たり利用希望回数】



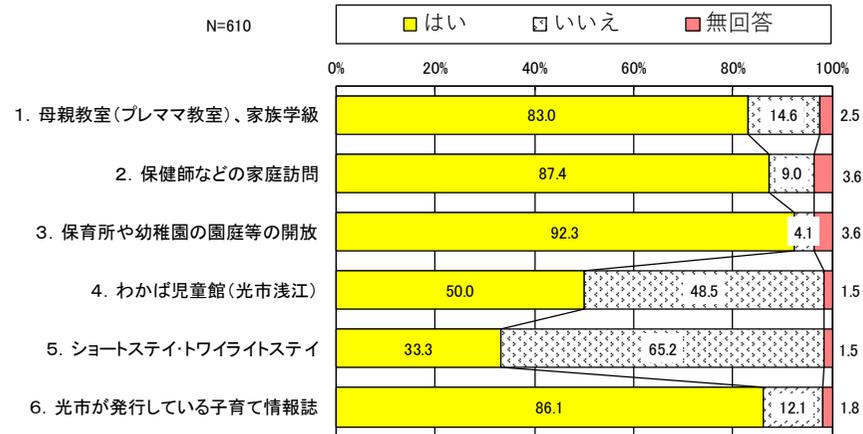
【「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の1月当たり利用回数】



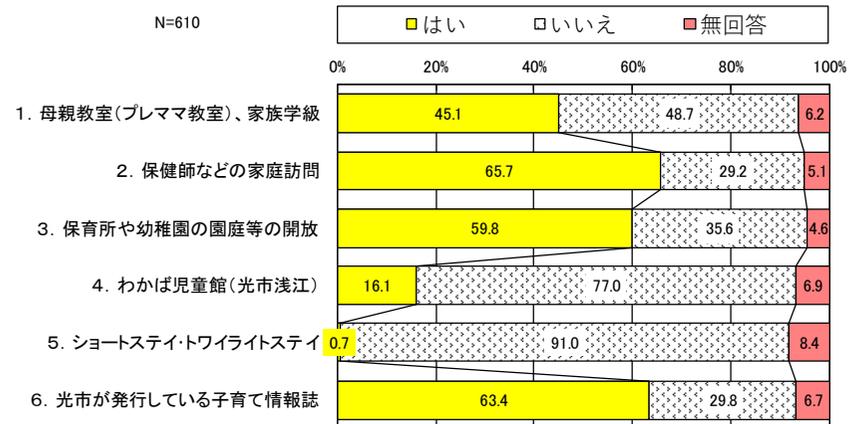
- 光市子育て支援センター「チャイベビステーション」を今は「利用していないが、今後利用したい」と回答した人は全体の15.6%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人は10.8%となっています。
- 今は「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の利用回数は「1月当たり1回」(40.0%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の利用回数は「1週当たり1回」(30.3%)が最も多くなっています。

問 19 下記のサービスについて、①ご存知ですか。また、②これまでに利用したことがありますか。さらに、③今後利用したいと思いますか。(〇はそれぞれで、「はい」か「いいえ」のどちらか)

【①認知度】



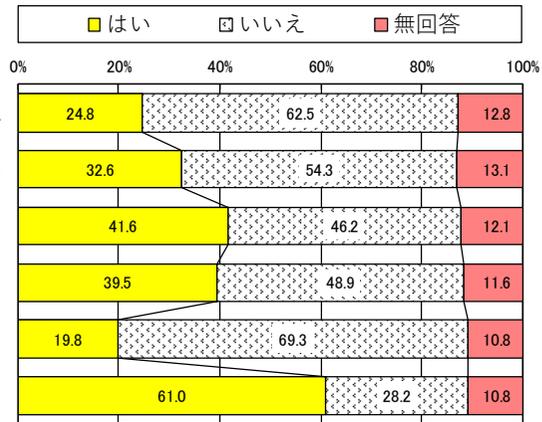
【②利用状況】



- 6つのサービスのうち、最も認知度が低かったのは「ショートステイ・トワイライステイ」(33.3%)、最も利用率が高かったのは「保健師などの家庭訪問」(65.7%)、今後の利用意向(次ページ参照)が最も高かったのは「光市が発行している子育て情報誌」(61.0%)となっています。

【③今後の利用意向】

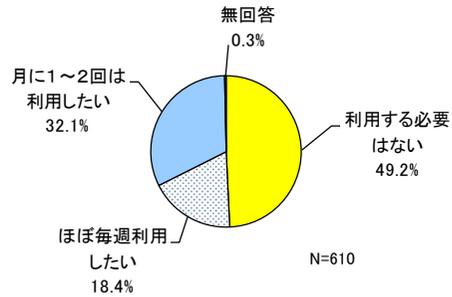
N=610



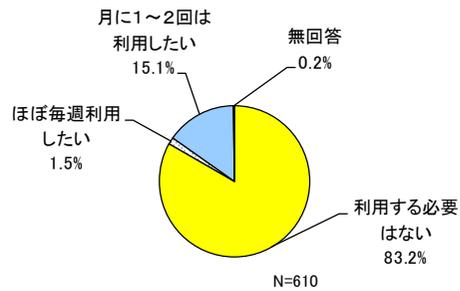
## 7. あて名の子どもの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所などの利用希望について

問 20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園や保育所など教育・保育のサービス（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。（○は1つ）

### 【土曜日】

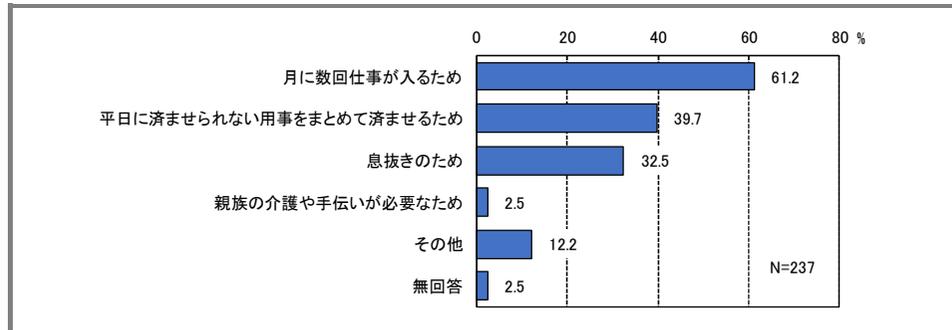


### 【日曜日・祝日】



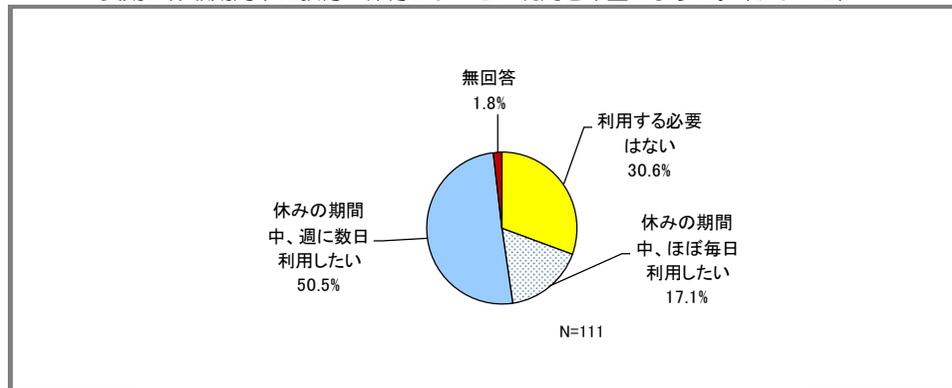
- 土曜日の定期的な教育・保育事業については、18.4%の人が「ほぼ毎週利用したい」と回答しており、「月に1～2回は利用したい」（32.1%）と回答した人を合わせると、50.5%の人が利用したいと考えていることがわかります。
- 日曜日・祝日については、「ほぼ毎週利用したい」と回答した人は1.5%で、「月に1～2回は利用したい」と回答した人は15.1%となっています。

問 20-1 （問 20 の(1)または(2)で3 と回答された方に） 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。（〇はあてはまるものすべて）



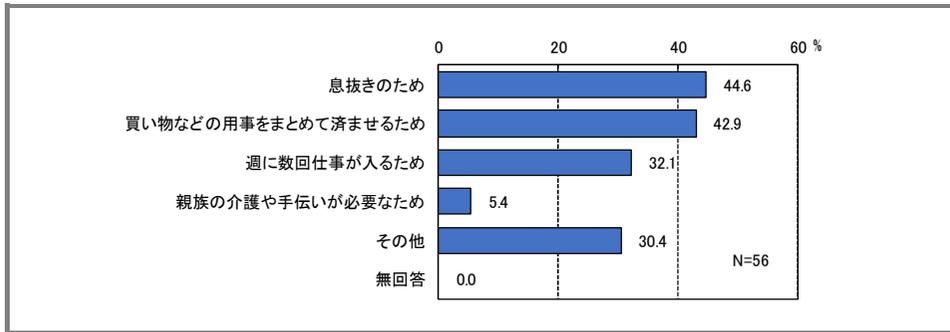
- 前問で「3. 月に1～2回は利用したい」と答えた方に、たまに利用したい理由を尋ねたところ、「月に数回仕事が入るため」が61.2%と最も多く、以下、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が39.7%、「息抜きのため」が32.5%となっています。

問 21 （幼稚園を利用されている方に） あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育のサービス利用を希望しますか。（〇は1つ）



- 幼稚園利用者に長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望を尋ねたところ、17.1%の人が「ほぼ毎日利用したい」と回答しており、「週に数日利用したい」（50.5%）と回答した人を合わせると、67.6%の人が利用したいと考えていることがわかります。

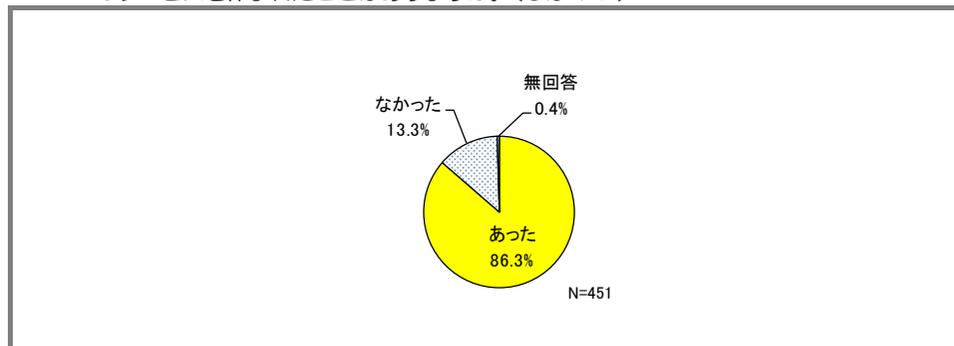
問21-1（問21で3と回答された方に）毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。（〇はあてはまるものすべて）



- 前問で「3. 週に数日利用したい」と答えた方に、たまに利用したい理由を尋ねたところ、「息抜きのため」(44.6%)や「買い物などの用事をまとめて済ませるため」(42.9%)が多くなっています。

## 8. あて名の子どもの病気の際の対応について（幼稚園・保育所利用者のみ）

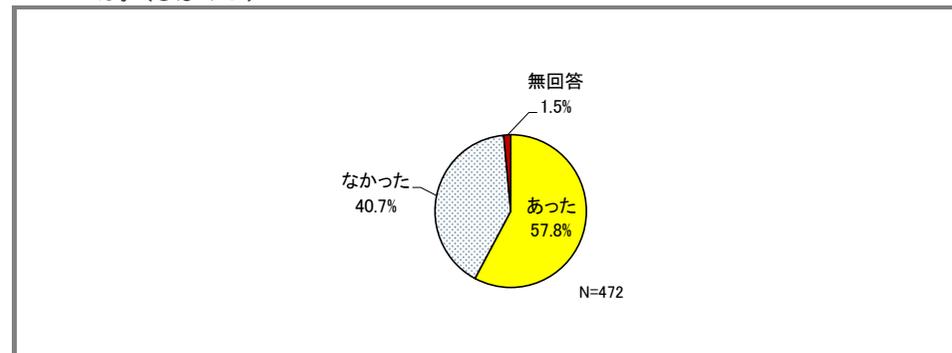
問 22 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、保育園や幼稚園などの教育・保育のサービスを休まれたことはありますか。（〇は1つ）



- 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している保護者のうち、この1年間に、対象の子どもが病気やケガで幼稚園・保育所などを利用できなかったことが「あった」と回答した人は86.3%となっています。

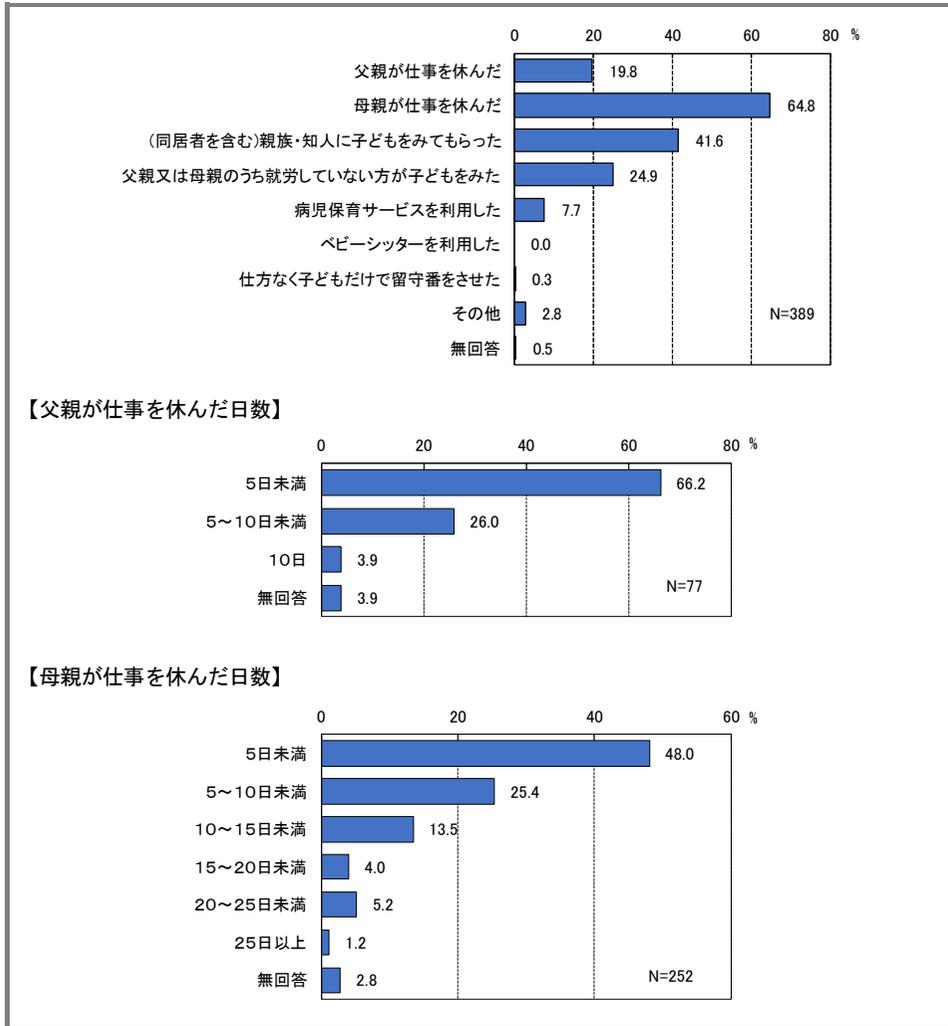
## 5. あて名の子どもの病気の際の対応について

問 14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、小学校を休まれたことはありますか。（〇は1つ）



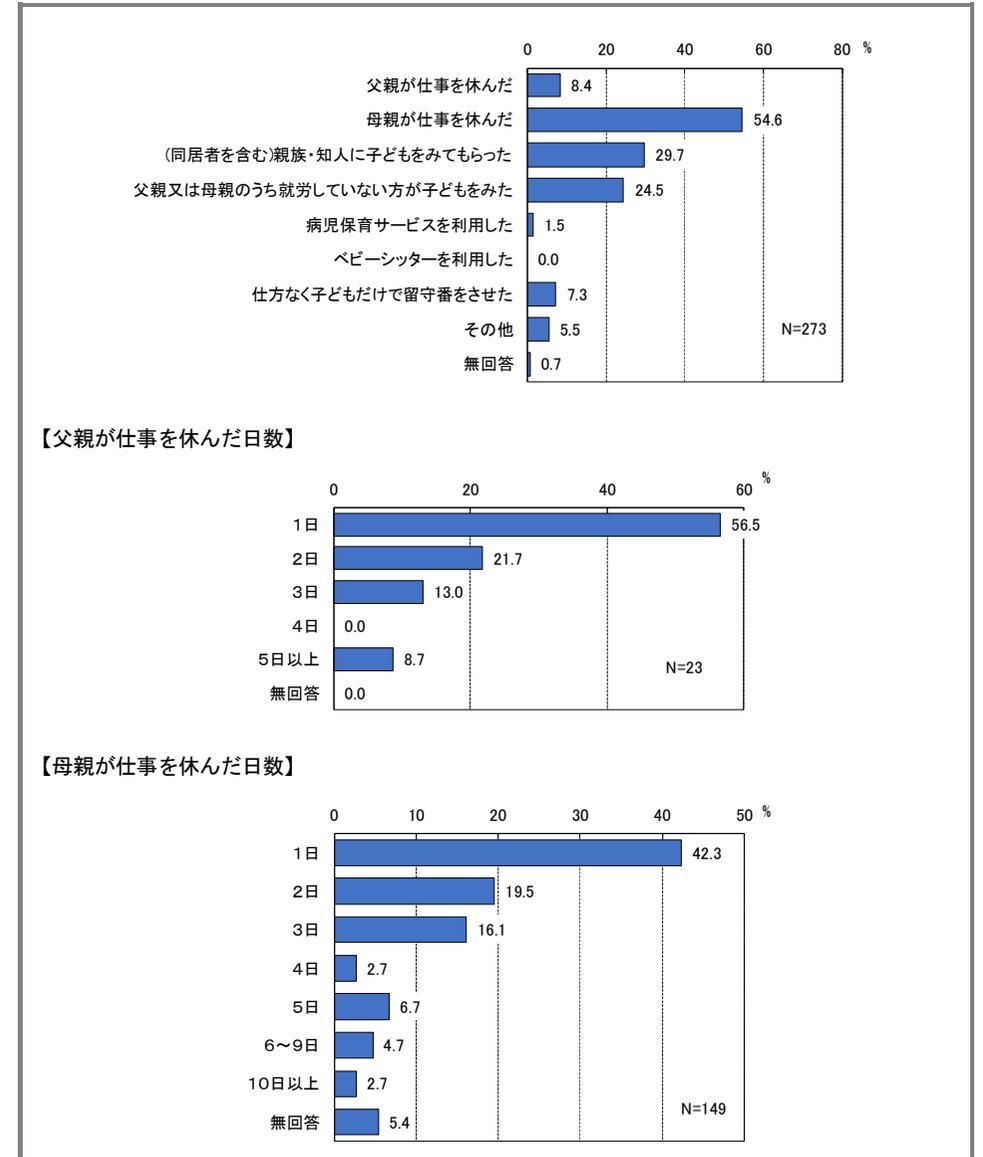
- この1年間に、対象の子どもが病気やケガで学校を休まなければならないことが「あった」と回答した人は57.8%となっています。

問22-1 (問22で1と回答された方に) この1年間の対処方法とそれぞれの日数は、おおむね何日ですか。(〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入)



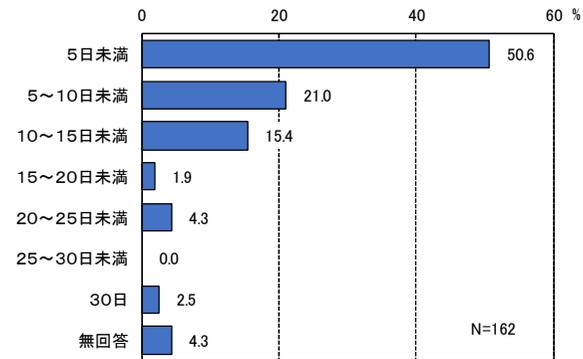
- 子どもが病気やけがで幼稚園・保育所を利用できなかった場合の対処方法を尋ねたところ、「母親が(仕事を)休んだ」という回答が64.8%と最も多く、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が41.6%で、それに続いています。
- 病児保育サービスを利用したと回答した人は7.7% (30人) で、うち4人は周南市の施設を利用したと回答しています。その理由としては、「仕事場に近く、昼食があるから」「前から利用していたから」「空き席が多いので」という3点があげられています。

問14-1 (問14で1と回答された方に) この1年間の対処方法とそれぞれの日数は、おおむね何日ですか。(〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入)

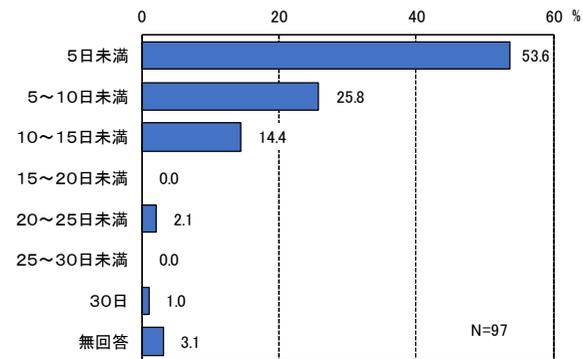


- 子どもが病気やケガで小学校を休んだ場合の対処方法を尋ねたところ、「母親が(仕事を)休んだ」という回答が54.6%と最も多く、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が29.7%で、それに続いています。

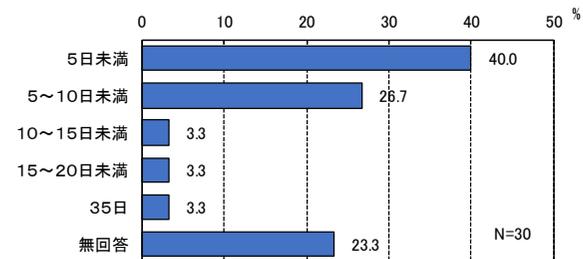
【親族・知人にみてもらった日数】



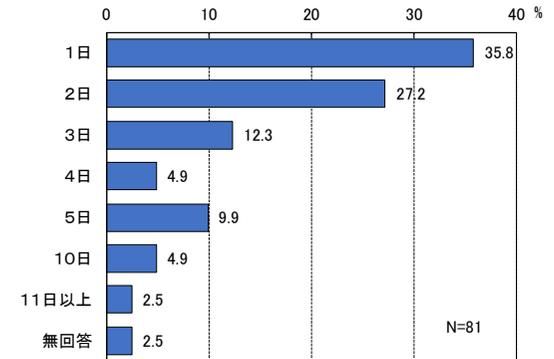
【就労していない親がみた日数】



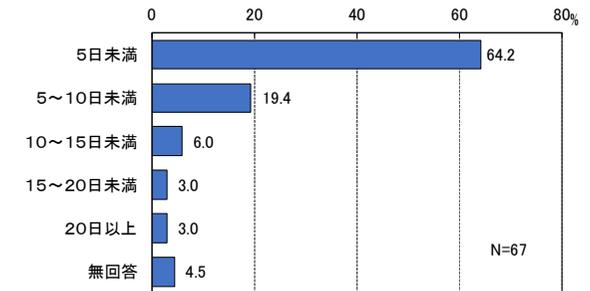
【病児保育サービスを利用した日数】



【親族・知人にみてもらった日数】



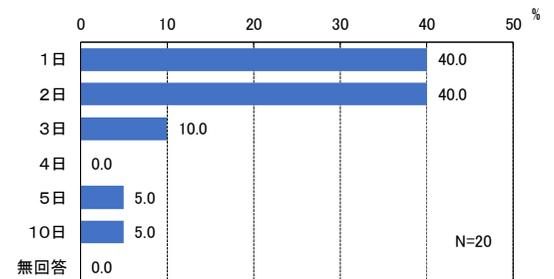
【就労していない親がみた日数】



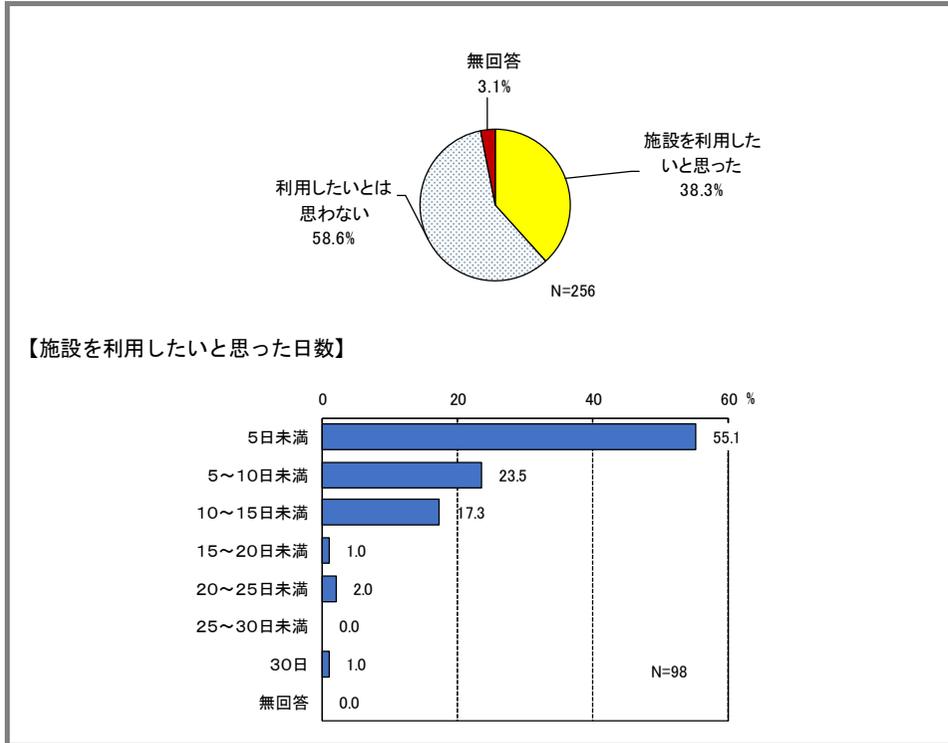
【病児保育サービスを利用した日数】

※「1日」という回答者1人のみにつきグラフ省略

【仕方なく子どもだけで留守番させた日数】

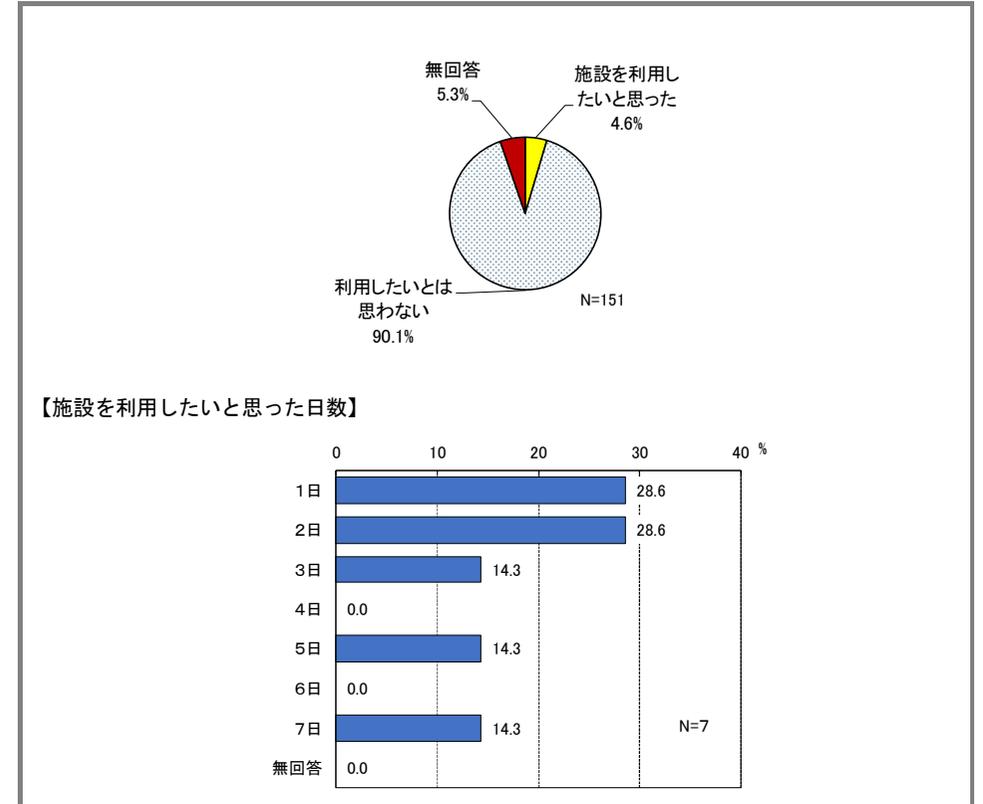


問 22-2 (問 22-1 で 1~2 と回答された方に) その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。(〇は1つ)



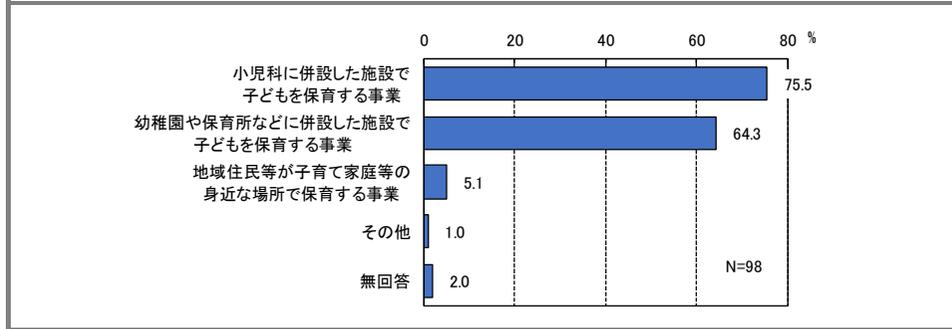
- 前問で、両親のいずれかが(仕事を)休んだと回答した人のうち、できれば病児・病後児のための「施設を利用したい」と思った人の割合は38.3%となっています。
- 「施設を利用したい」と思った人(98人)のうち、市外の施設を利用したいと思った人は10.2%(10人)で、内訳(複数回答あり)は、周南市(8人)、柳井市(2人)、下松市(1人)、田布施町(1人)となっています。市外の施設を希望する理由としては、「近い」「職場に近い」「利用中の保育園に病児保育があるから」「当日の予約で利用が可能」「空き席が多く断られない」「職場内のサービス」があがっています。

問 14-2 (問 14-1 で 1~2 と回答された方に) その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。(〇は1つ)



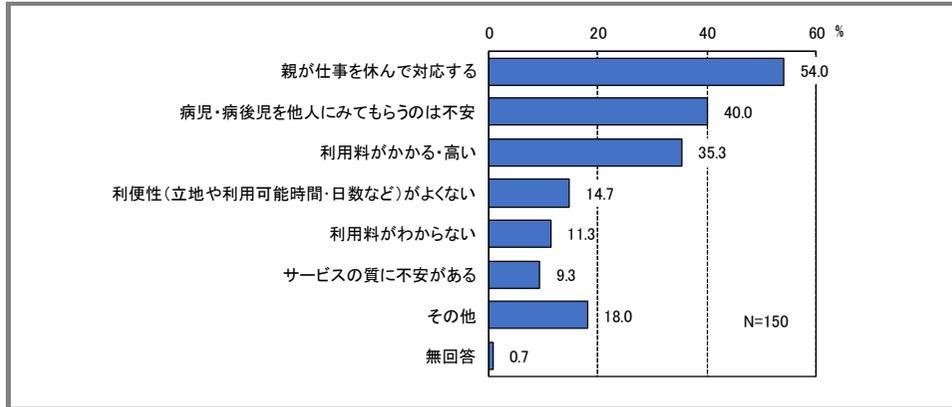
- 前問で、両親のいずれかが(仕事を)休んだと回答した人のうち、できれば病児・病後児のための「施設を利用したい」と思った人の割合は4.6%となっています。

問 22-3 （問 22-2 で 1 と回答された方に）お子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。（〇はあてはまるものすべて）



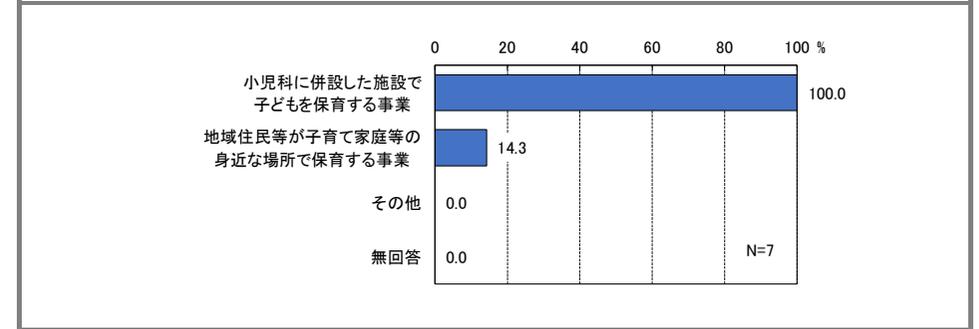
- 前問で、「できれば施設を利用したい」と回答した人に、望ましい事業形態を尋ねたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」という回答が 75.5%、「幼稚園や保育所などに併設した施設で子どもを保育する事業」という回答が 64.3%となっています。

問 22-4 （問 22-2 で 2 と回答された方に）「利用したいと思わない」理由は何ですか。（〇はあてはまるものすべて）



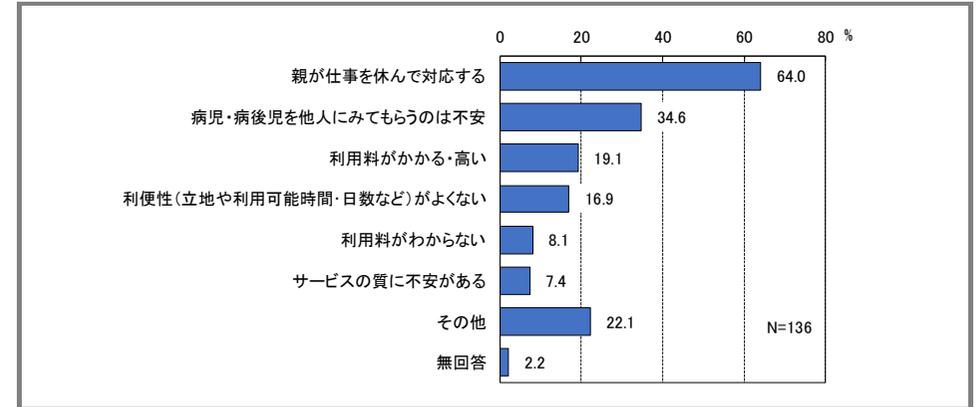
- 問 22-2 で病児・病後児のための保育施設などを「利用したいとは思わない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「親が仕事を休んで対応する」という回答が 54.0%と最も多く、以下、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 40.0%、「利用料がかかる・高い」が 35.3%と続いている。

問 14-3 （問 14-2 で 1 と回答された方に）お子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。（〇はあてはまるものすべて）



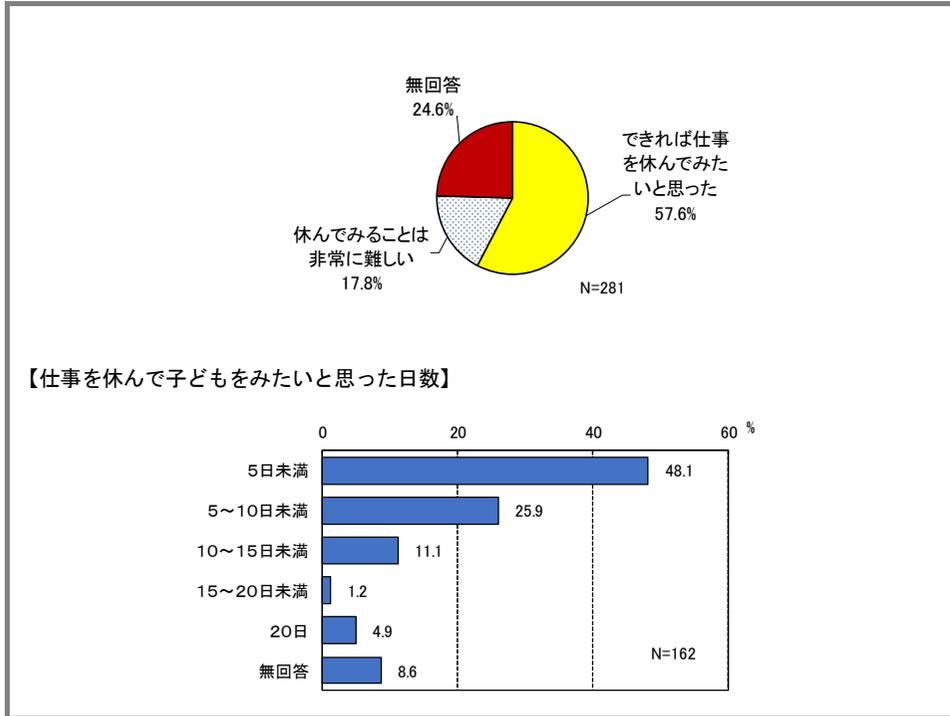
- 前問で、「できれば施設を利用したい」と回答した人に、望ましい事業形態を尋ねたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」という回答が 100%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」という回答が 14.3%となっています。

問 14-4 （問 14-2 で 2 と回答された方に）「利用したいと思わない」理由は何ですか。（〇はあてはまるものすべて）



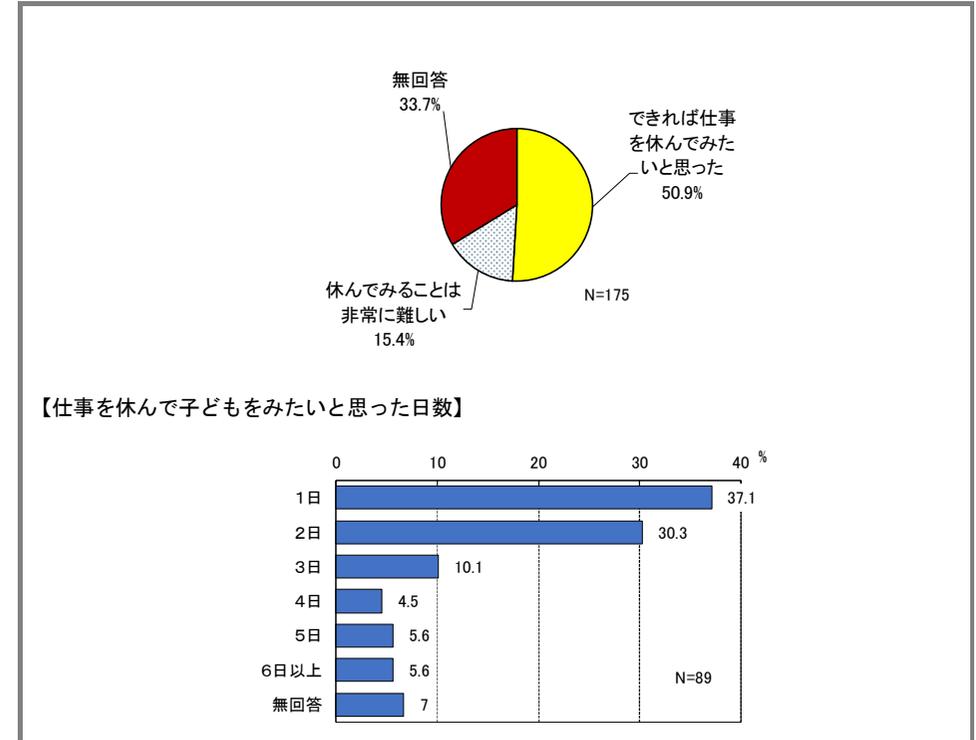
- 問 14-2 で病児・病後児のための保育施設などを「利用したいとは思わない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「親が仕事を休んで対応する」という回答が 64.0%と最も多く、以下、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 34.6%、「利用料がかかる・高い」が 19.1%と続いている。

問 22-5 (問 22-1 で 3~8 と回答された方に) その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思った日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。(〇は1つ)



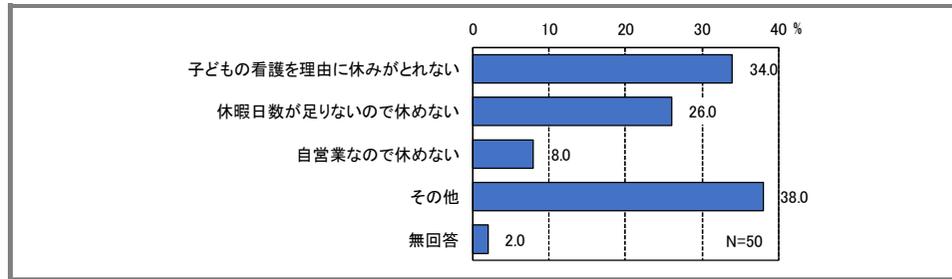
- 子どもが病気やけがのときに両親が休む以外の方法で対処した場合に、「できれば仕事を休んでみたい」と思ったと回答した人の割合は57.6%となっています。
- 仕事を休んで子どもをみたいと思った日数については、「5日未満」が48.1%を占めています。

問 14-5 (問 14-1 で 3~8 と回答された方に) その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思った日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。(〇は1つ)



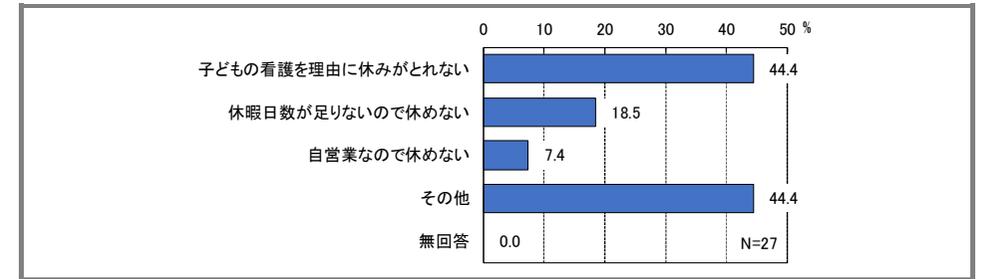
- 子どもが病気やけがのときに両親が休む以外の方法で対処した場合に、「できれば仕事を休んでみたい」と思ったと回答した人の割合は50.9%となっています。
- 仕事を休んで子どもをみたいと思った日数については、5日未満が82.0%を占めています。

問 22-6 （問 22-5 で 2 と回答された方に）「休んでみることは非常に難しい」理由はなんですか。（〇はあてはまるものすべて）



- 前問で「休んでみることは非常に難しい」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「子どもの看護を理由に休みが取れない」という回答が34.0%と多くなっています。
- 「その他」の内容としては、「休みが取りづらい」、「業務に支障を来す」などがあがっています。

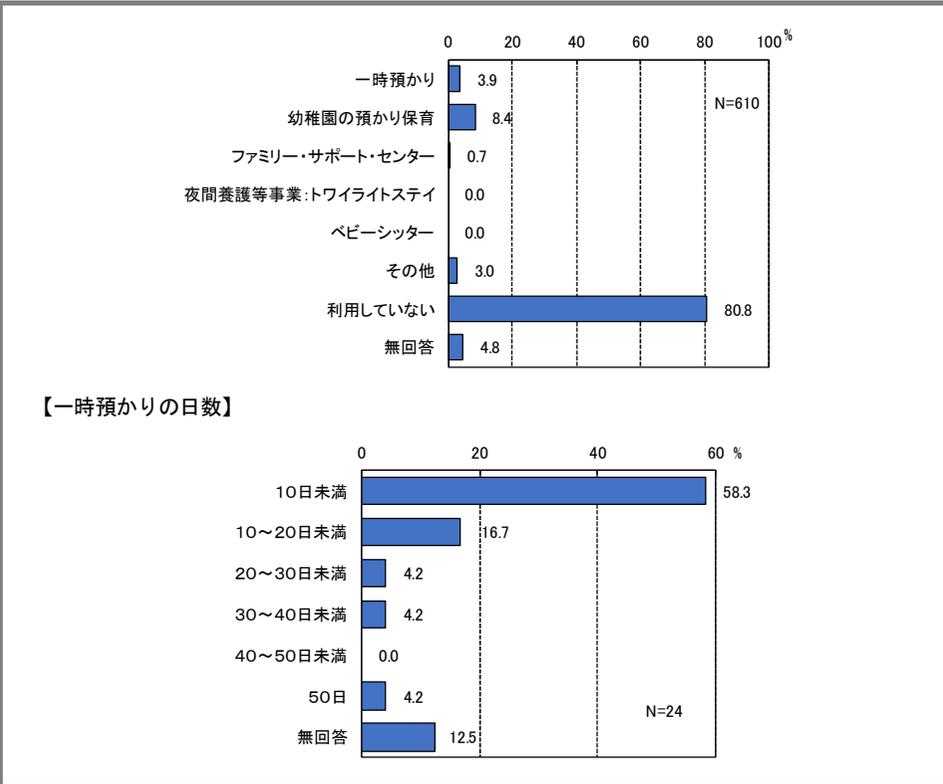
問 14-6 （問 14-5 で 2 と回答された方に）「休んでみることは非常に難しい」理由はなんですか。（〇はあてはまるものすべて）



- 前問で「休んでみることは非常に難しい」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「子どもの看護を理由に休みが取れない」という回答が44.4%と多くなっています。
- 「その他」の内容としては、「急に休むことはできない」、「仕事上代わりがない」などがあがっています。

## 9. あて名の子どもの一時預かりなどの利用について

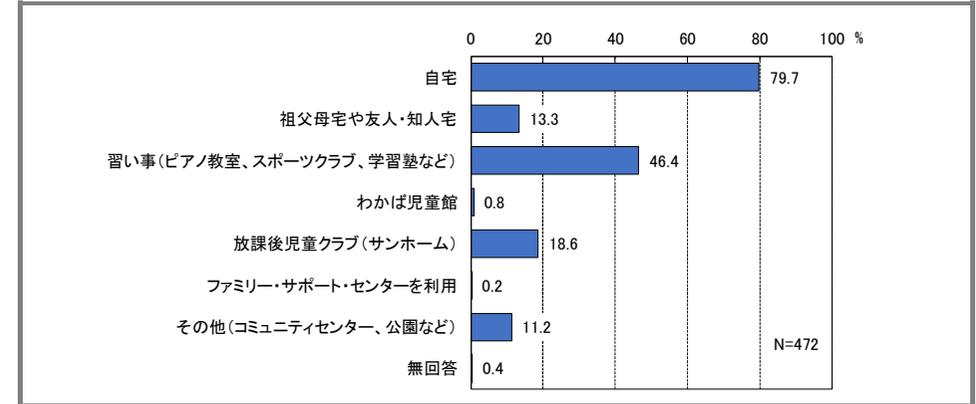
問 23 この1年間で、私用、親の通院、不定期の就労等のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的にみてもらうことはありましたか。ある場合は、おおむね何日でしたか。(〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入)



- 私用や親の通院、不定期の就労などのため、不定期に利用している事業があるか尋ねたところ、「利用していない」と回答した人は 80.8%で、何らかの事業を利用している人は 14.4%（「利用していない」と「無回答を」を除いた割合）となっています。
- 利用している事業としては、「幼稚園の預かり保育」（8.4%）が最も多くなっており、その利用日数は「10日未満」が 62.7%を占めています。

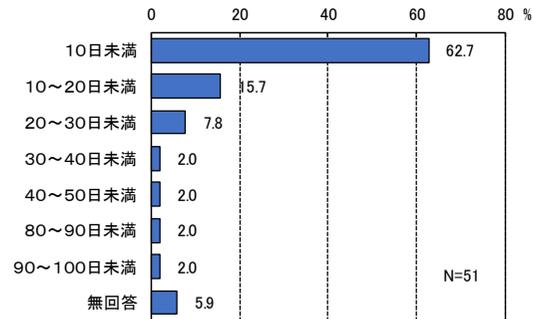
## 6. あて名の子どもの小学校の放課後の過ごし方について

問 15 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。(〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入)

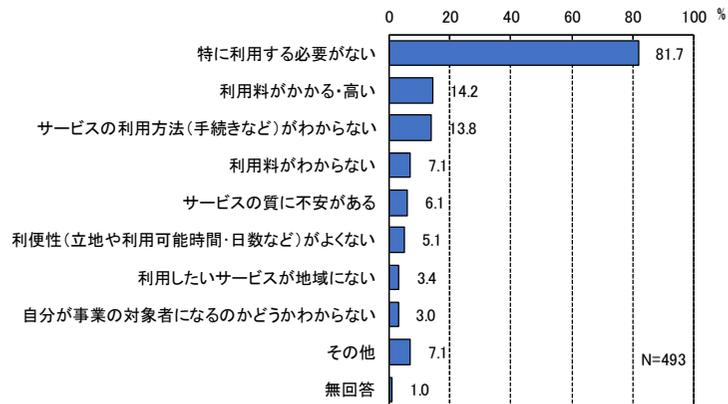


- 子どもの放課後の過ごし方については、「習い事」が 46.4%と「自宅」に次いで高い割合となっており、「放課後児童クラブ（サンホーム）」を利用する子どもの割合は 18.6%となっています。
- 子どもの学年別に見ると、「放課後児童クラブ（サンホーム）」の利用割合が最も高いのは「1年生」（43.8%）で、高学年になると利用割合が低くなり、5年生以上の利用者はほとんどいなくなるのがわかります（次ページ参照）。
- 「習い事」の割合が最も高かったのは「3年生」（78.0%）となっています（次ページ参照）。
- 「放課後児童クラブ（サンホーム）」の週当たり利用日数は「5日」、利用時間は「17時まで」がもっと多くなっています（次々ページ参照）。

【幼稚園の預かり保育の日数】

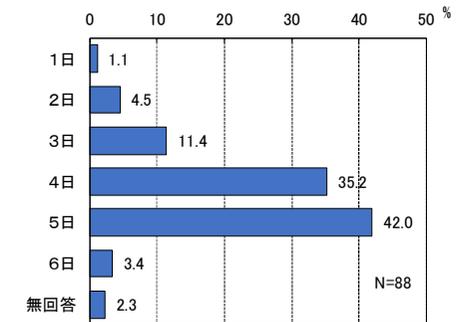


問23-1（問23で7と回答された方に）現在、利用していない理由は何ですか。（〇はあてはまるものすべて）

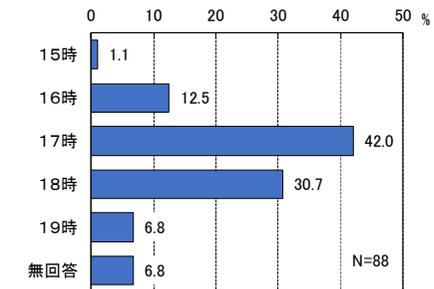


- 前問で「7. 利用していない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「特に利用する必要がない」と回答した人が81.7%と大半を占めていますが、それ以外の理由としては「利用料がかかる・高い」(14.2%)や「利用方法(手続きなど)がわからない」(13.8%)が上位にあがっています。

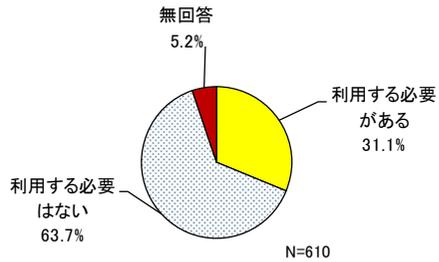
【放課後児童クラブ（サンホーム）の週当たり利用日数】



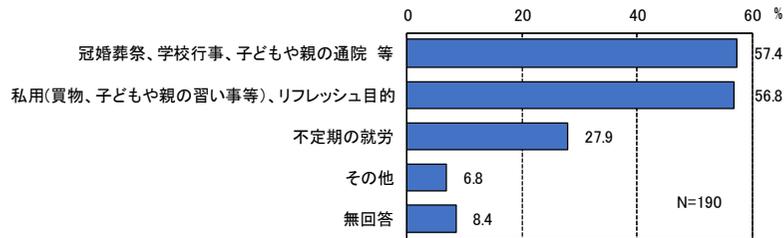
【放課後児童クラブ（サンホーム）の週当たり利用時間】



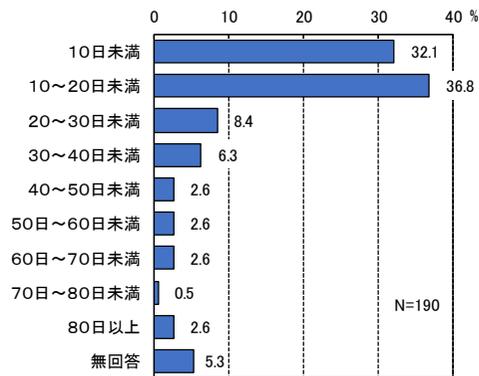
問 24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等のため、年間に何日くらいお子さんを家族以外の誰かに一時的にみてもらう必要があると思いますか。（〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入）



【目的の内訳】

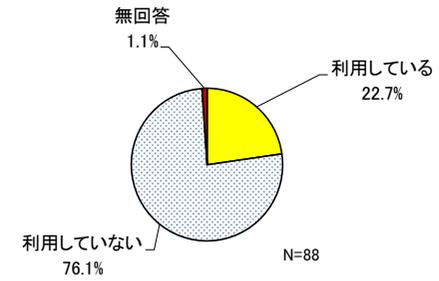


【年間必要日数】



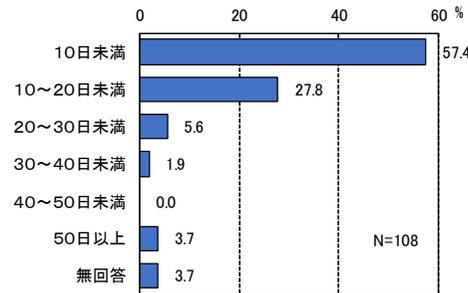
● 私用や親の通院、不定期の就労などのため、一時預かりなどの事業を「利用する必要がある」と回答した人の割合は 31.1%となっていますが、年間必要日数については、そのうちの 32.1%の人が年間 10 日以内の日数を回答しています。

問 15-1 （問 15 で「5.放課後児童クラブ」と回答された方に）土曜日に放課後児童クラブ（サンホーム）を利用していますか。（〇は1つ）

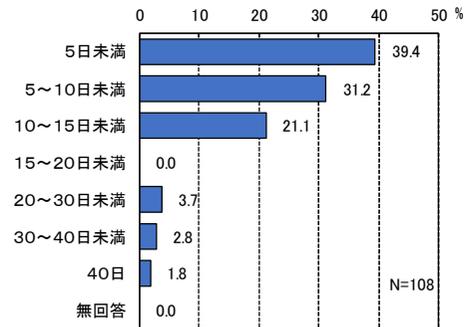


● 放課後児童クラブ（サンホーム）利用者のうち、土曜日に「利用している」と回答した人の割合は 22.7%となっています。

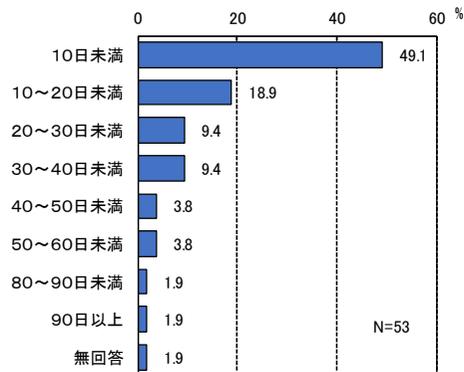
【私用(買物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的の必要日数】



【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等のための必要日数】



【不定期の就労のための必要日数】

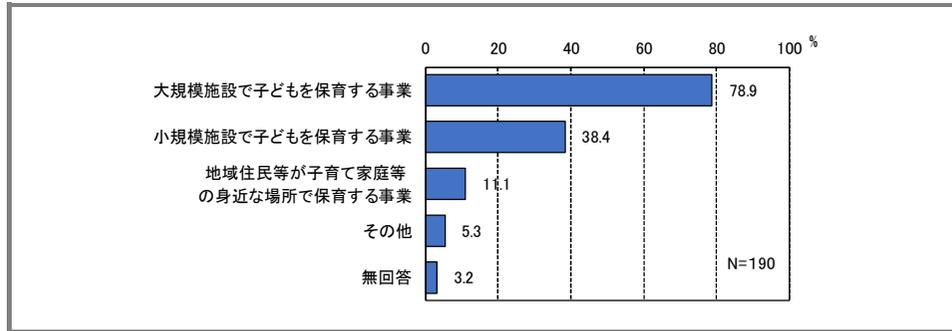


【子どもの学年別クロス集計結果】

(単位: %)

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	わかば児童館	放課後児童クラブ(サンホーム)	ファミリー・サポート・センター	その他(コミュニティセンター、公園など)	無回答
1年生 N=80	61.3	12.5	30.0	1.3	43.8	0.0	10.0	0.0
2年生 N=73	72.6	12.3	47.9	1.4	26.0	1.4	17.8	1.4
3年生 N=83	73.5	13.3	78.0	1.2	27.7	0.0	7.2	0.0
4年生 N=78	85.9	11.5	51.3	0.0	12.8	0.0	15.4	0.0
5年生 N=82	95.1	15.9	56.1	0.0	0.0	0.0	7.3	1.2
6年生 N=75	89.3	14.7	53.3	1.3	1.3	0.0	10.7	0.0

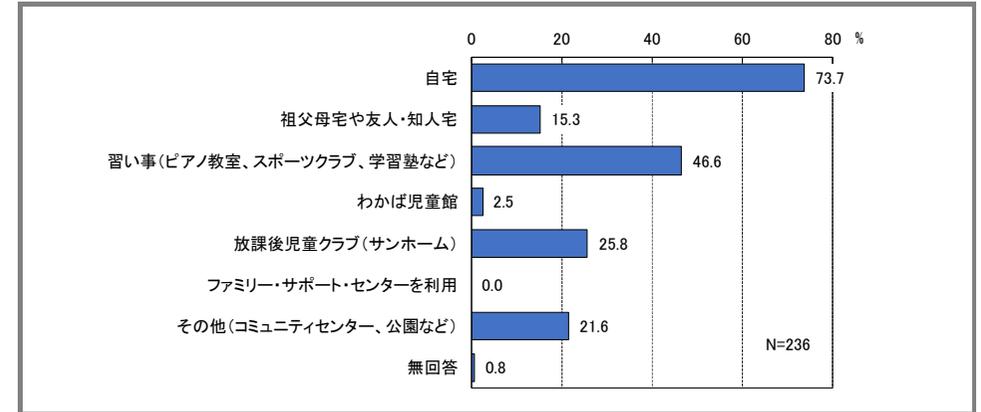
問 24-1 （問 24 で 1 と回答された方に）お子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。（○はあてはまるものすべて）



- 前問で一時預かりなどの事業を「1. 利用する必要がある」と回答した人に、望ましい事業形態を尋ねたところ、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 78.9%と最も多く、「小規模施設で子どもを保育する事業」が 38.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 11.1%となっています。

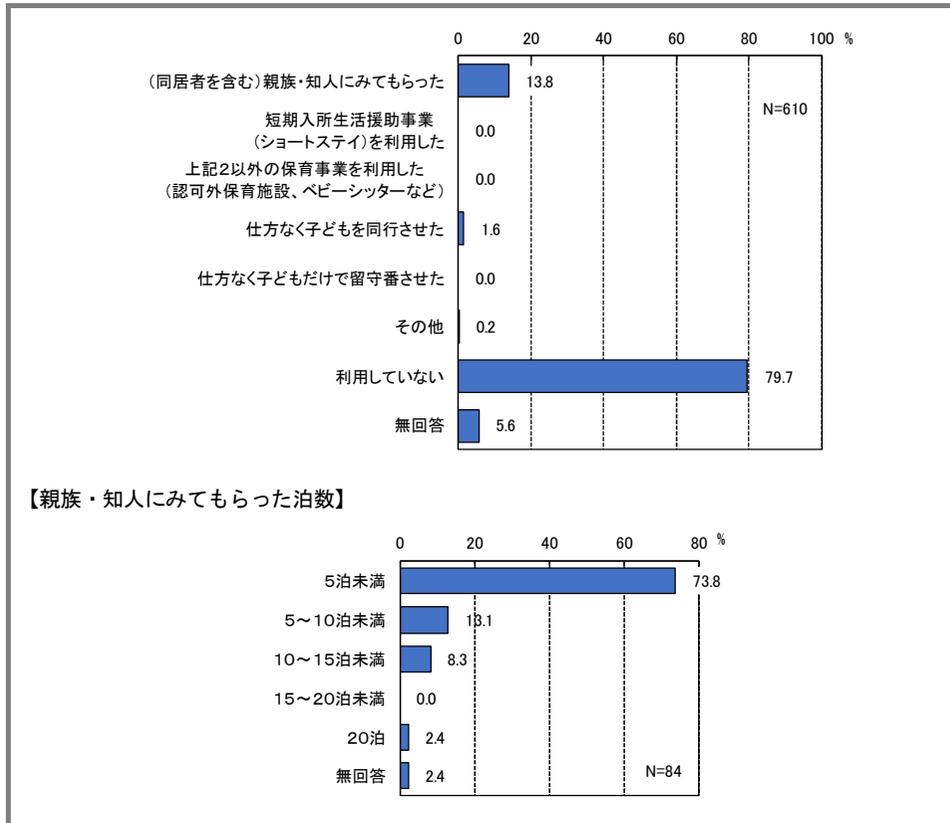
（問 16～19 は）あて名のお子さんが小学校 1～3 年生の方におうかがいします。

問 16 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3 年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。実際の過ごし方にかかわらず、希望をお答えください。（○はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入）

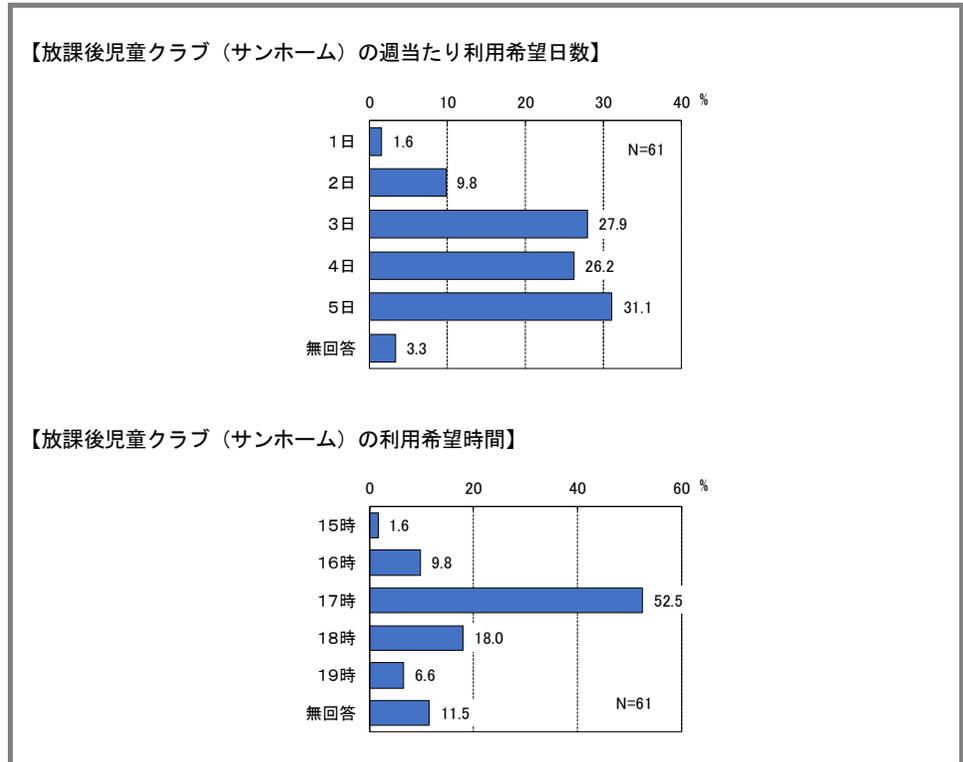


- 小学校低学年の保護者に子どもが低学年の間の放課後の過ごさせ方について尋ねたところ、「自宅」(73.7%) や「習い事」(46.6%) を希望する人の割合が高くなっており、「放課後児童クラブ(サンホーム)」を希望する人の割合は 25.8%となっています。
- 「放課後児童クラブ(サンホーム)」の週当たり希望日数は「5 日」、利用希望時間は「17 時まで」がもっとも多くなっています（次ページ参照）。

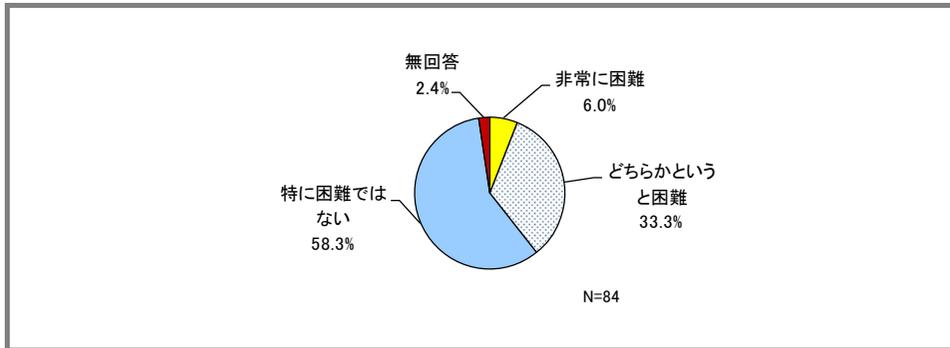
問 25 この1年間で、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者や家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外の誰かに一時的にみてもらうことはありましたか。ある場合はおおむね何日でしたか。（〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入）



- この1年間に、保護者の用事などにより、就学前の子どもを泊まりがけで家族以外に見てもらわなければならないことがあった人の割合は14.7%となっています。
- 対処方法の内訳としては、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が大半を占めており、みてもらった泊数は「5泊未満」が73.8%を占めています。

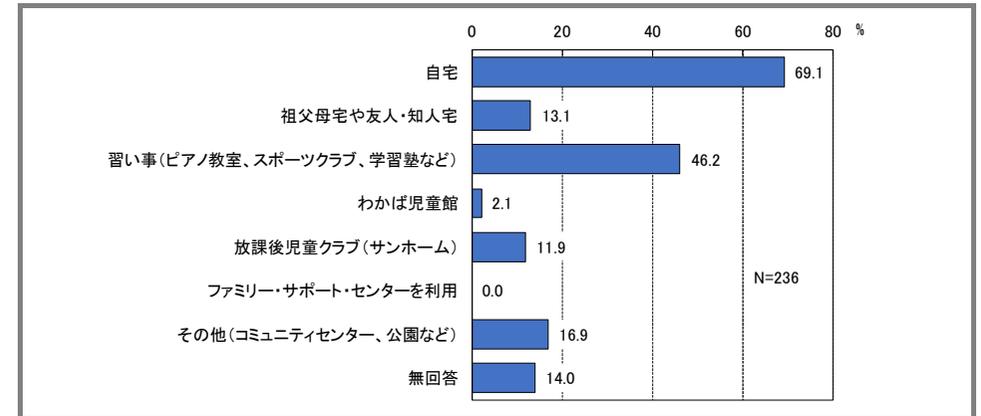


問 25-1 (問 25 で 1 と回答された方に) その場合の困難度はどの程度でしたか。(〇は 1 つ)



- 「親族・知人に見てもらった」場合の困難度を尋ねたところ、「非常に困難」(6.0%) または「どちらかという と困難」(33.3%) と回答した人は 39.3% となっています。

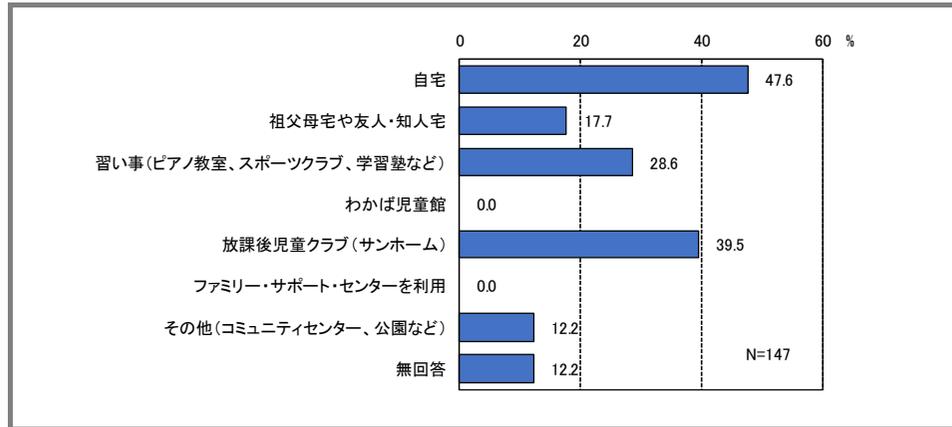
問 17 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入)



- 小学校低学年の保護者に子どもが高学年になった場合の放課後の過ごさせ方について尋ねたところ、「放課後児童クラブ(サンホーム)」を希望する人の割合が 11.9% と、低学年の間(25.8%) に比べ、13.9 ポイントと低くなっています。

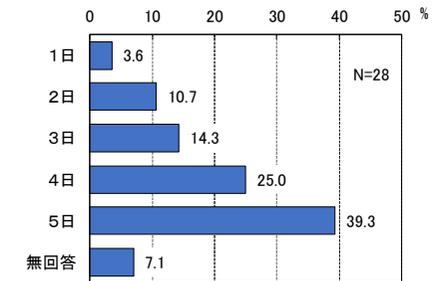
## 10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳以上のみ）

問26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入）

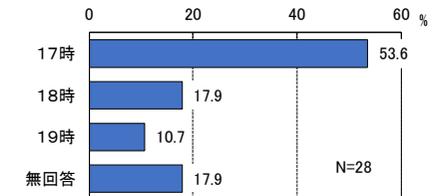


- 小学校低学年の放課後の過ごし方について、「放課後児童クラブ（サンホーム）」を希望する人の割合は全体の39.5%となっています。
- 居住中学校区別クロス集計結果（次々ページ参照）を見ると、「放課後児童クラブ（サンホーム）」の利用意向が高いのは「大和」中学校区（50.0%）、「室積」中学校区（47.8%）で、「習い事」への希望が高いのは「光井」中学校区（41.7%）となっています。

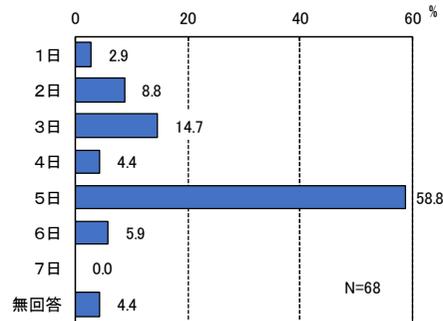
【放課後児童クラブ（サンホーム）の週当たり利用希望日数】



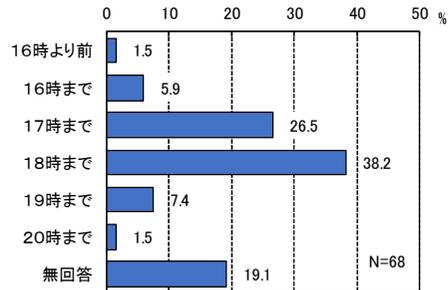
【放課後児童クラブ（サンホーム）の利用希望時間】



【放課後児童クラブ（サンホーム）の週当たり利用希望日数】

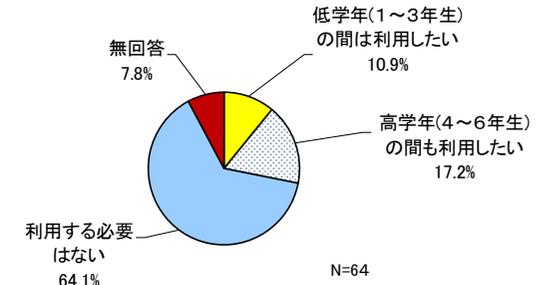


【放課後児童クラブ（サンホーム）の週当たり利用希望時間】

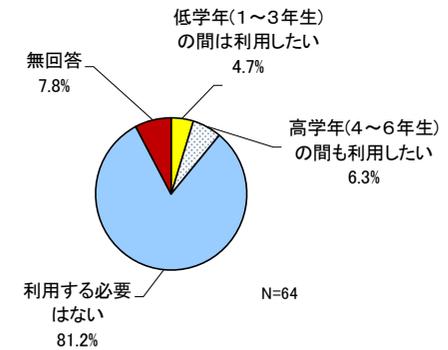


問18 (問16または問17で「5.放課後児童クラブ」と回答された方に) 土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ(サンホーム)の利用希望はありますか。(〇は1つ)

【土曜日】

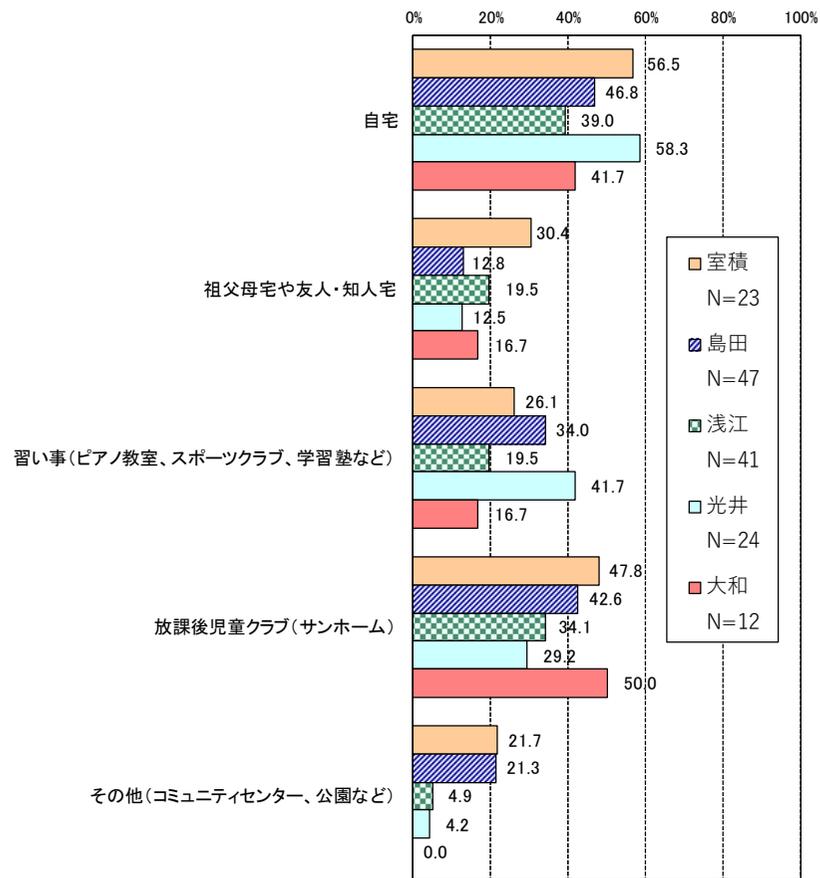


【日曜日・祝日】



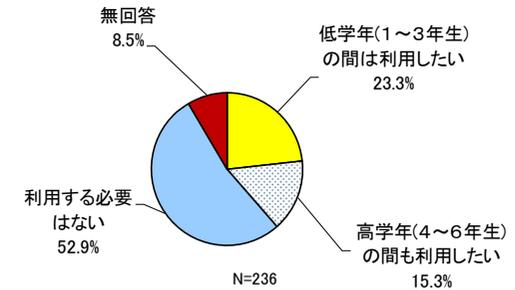
- 放課後児童クラブ利用希望者のうち、土曜日の利用希望は、低学年の間は28.1%、高学年になると17.2%となっています。
- 日曜日・祝日の利用希望については、低学年の間は11.0%、高学年になると6.3%となっています。

【居住中学校区別クロス集計結果】

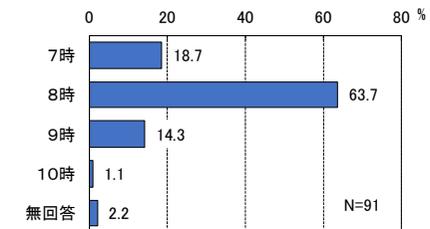


※「わかば児童館」「ファミリー・サポート・センター」については回答者なしにつき省略

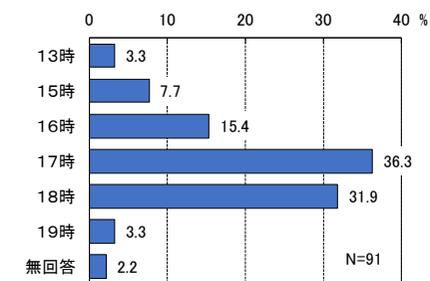
問19 あて名のお子さんについて、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブ(サンホーム)の利用希望はありますか。(〇は1つ)



【利用開始希望時間】

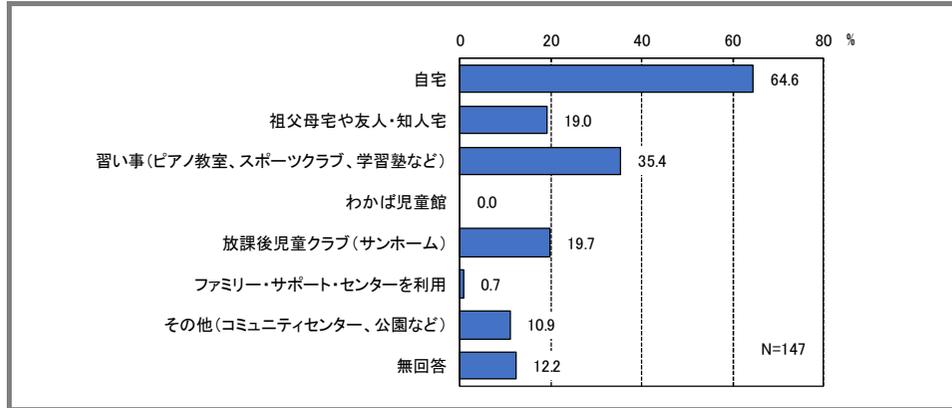


【利用終了希望時間】



- 夏休みや冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブ(サンホーム)の利用希望については、低学年の間は38.6%、高学年になると15.3%となっています。
- 利用希望時間は、8時から17時までが多くなっています。

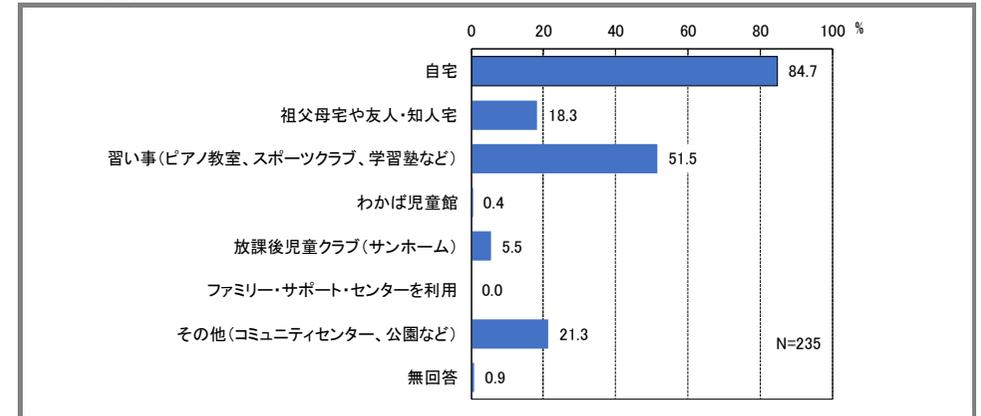
問 27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入）



- 小学校高学年の放課後の過ごし方については、低学年に比べ「自宅」（64.6%）や「習い事」（35.4%）を希望する人の割合が高くなっており、その反面「放課後児童クラブ（サンホーム）」を希望する人の割合は19.7%と低くなっています。
- 「放課後児童クラブ（サンホーム）」の週当たり希望日数は「5日」、希望利用時間は「18時まで」がもっと多くなっています（次ページ参照）。
- 居住中学校区別クロス集計結果（次々ページ参照）を見ると、「浅江」中学校区と「光井」中学校区では、他の地区に比べると「放課後児童クラブ（サンホーム）」の利用意向が低くなっています。
- 「習い事」の利用意向が最も高いのは「光井」中学校区（50.0%）となっています（次々ページ参照）。

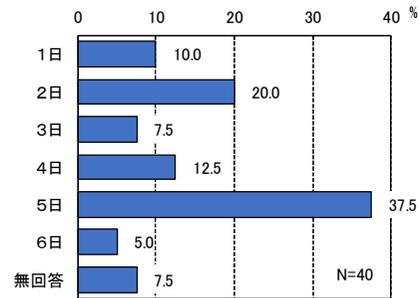
（問 20～22 は）あて名のおさんが小学校 4～6 年生の方におうかがいします。

問 20 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。実際の過ごし方にかかわらず、希望をお答えください。（〇はあてはまるものすべて、枠内にそれぞれの日数を記入）

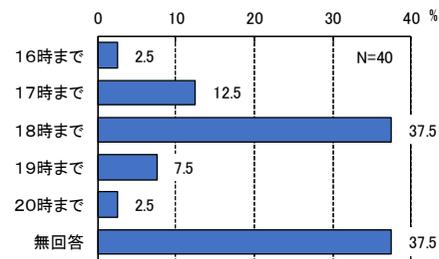


- 小学校高学年の保護者に子どもの放課後の過ごし方について尋ねたところ、低学年に比べ「習い事」の割合が高くなっている反面、「放課後児童クラブ（サンホーム）」の利用希望は5.5%と低くなっています。
- なお、「放課後児童クラブ（サンホーム）」については、週当たり希望日数は「5日」、利用希望時間は「18時まで」が最も多くなっています（次ページ参照）。

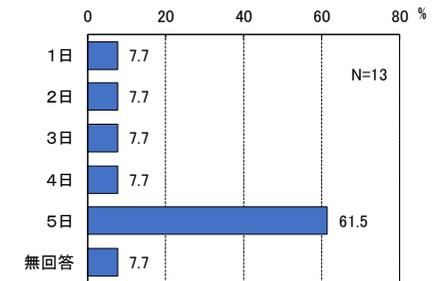
【放課後児童クラブ（サンホーム）の週当たり利用希望日数】



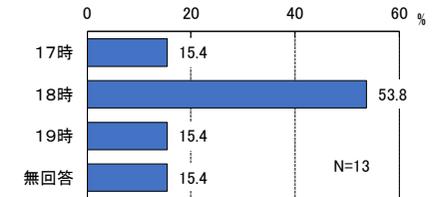
【放課後児童クラブ（サンホーム）の利用希望時間】



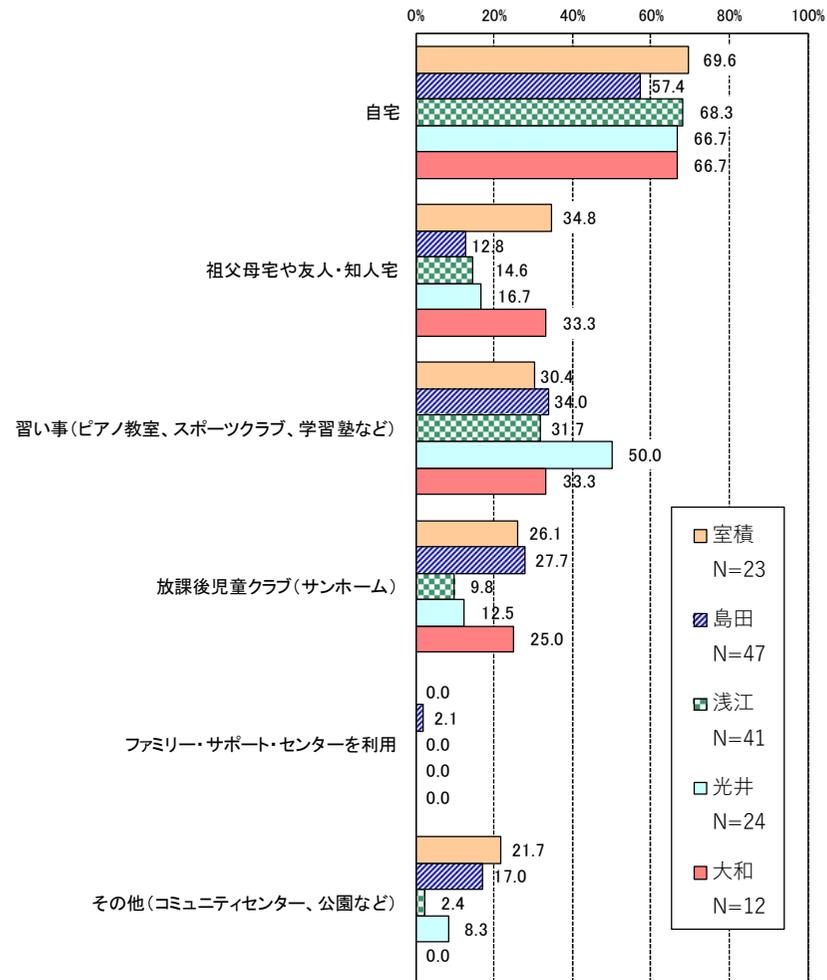
【放課後児童クラブ（サンホーム）の週当たり利用希望日数】



【放課後児童クラブ（サンホーム）の利用希望時間】



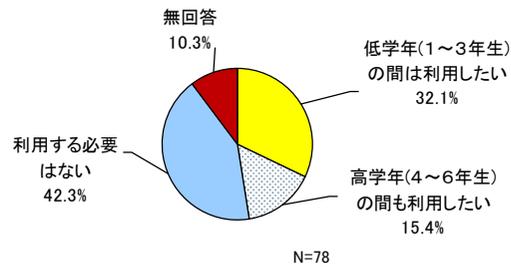
【居住中学校区別クロス集計結果】



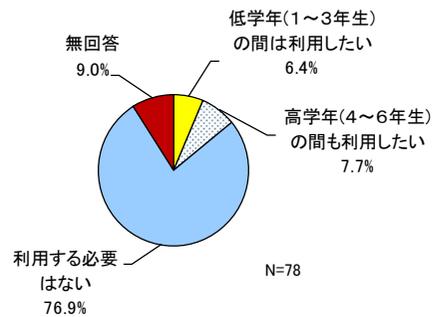
※「わかば児童館」については回答者なしにつき省略

問28（問26または問27で「5.放課後児童クラブ」と回答された方に）土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（サンホーム）の利用希望はありますか。（○は1つ）

【土曜日】



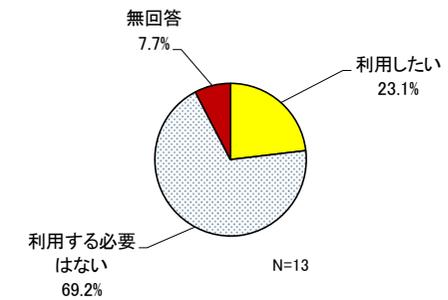
【日曜日・祝日】



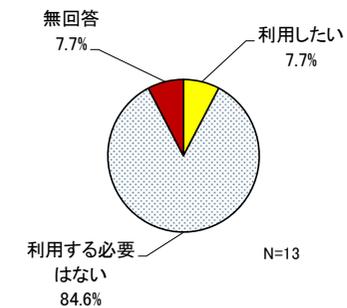
- 放課後児童クラブ利用希望者のうち、土曜日の利用希望は、低学年の間は47.5%、高学年になると15.4%となっています。
- 日曜日・祝日の利用希望については、低学年の間は14.1%、高学年になると7.7%となっています。

問21（問20で「5.放課後児童クラブ」と回答された方に）土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（サンホーム）の利用希望はありますか。（○は1つ）

【土曜日】

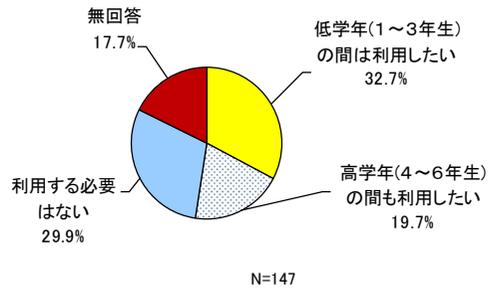


【日曜日・祝日】

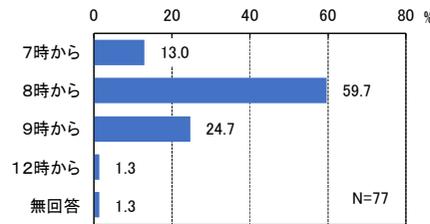


- 放課後児童クラブ利用希望者のうち、土曜日も「利用したい」と回答した人の割合は23.1%となっており、「日曜日・祝日」に「利用したい」と回答した人の割合は7.7%となっています。

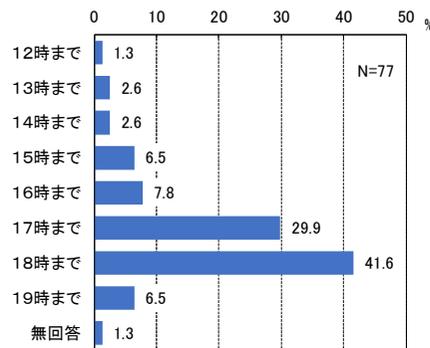
問29 あて名のお子さんについて、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブ（サンホーム）の利用希望はありますか。（〇は1つ）



【利用開始希望時間】

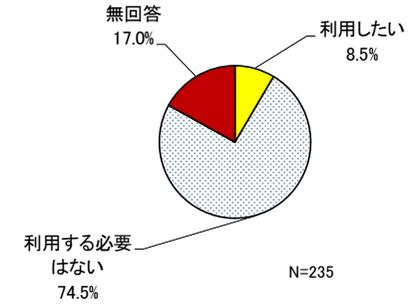


【利用終了希望時間】



- 夏休みや冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブ（サンホーム）の利用希望については、低学年の間は52.4%、高学年になると19.7%となっています。
- 利用希望時間は、8時から18時までが多くなっています。

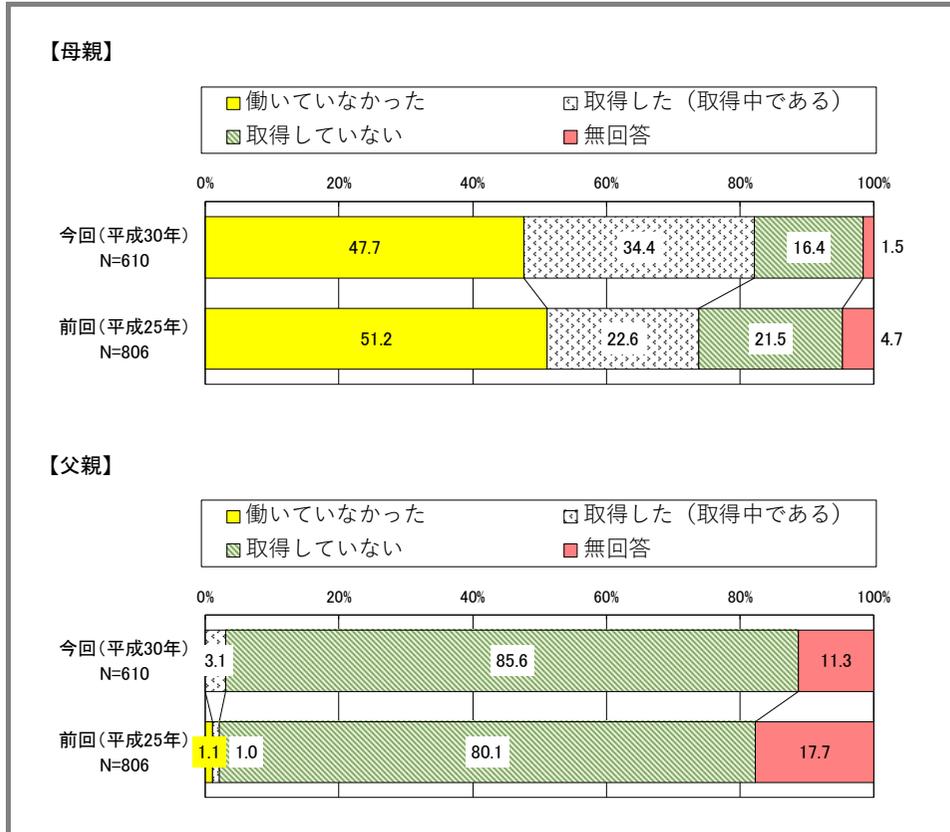
問22 あて名のお子さんについて、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブ（サンホーム）の利用希望はありますか。（〇は1つ）



- 夏休みや冬休みなどの長期休暇中に放課後児童クラブ（サンホーム）を「利用したい」と回答した人の割合は8.5%となっています。

## 11. 育児休業制度の利用について

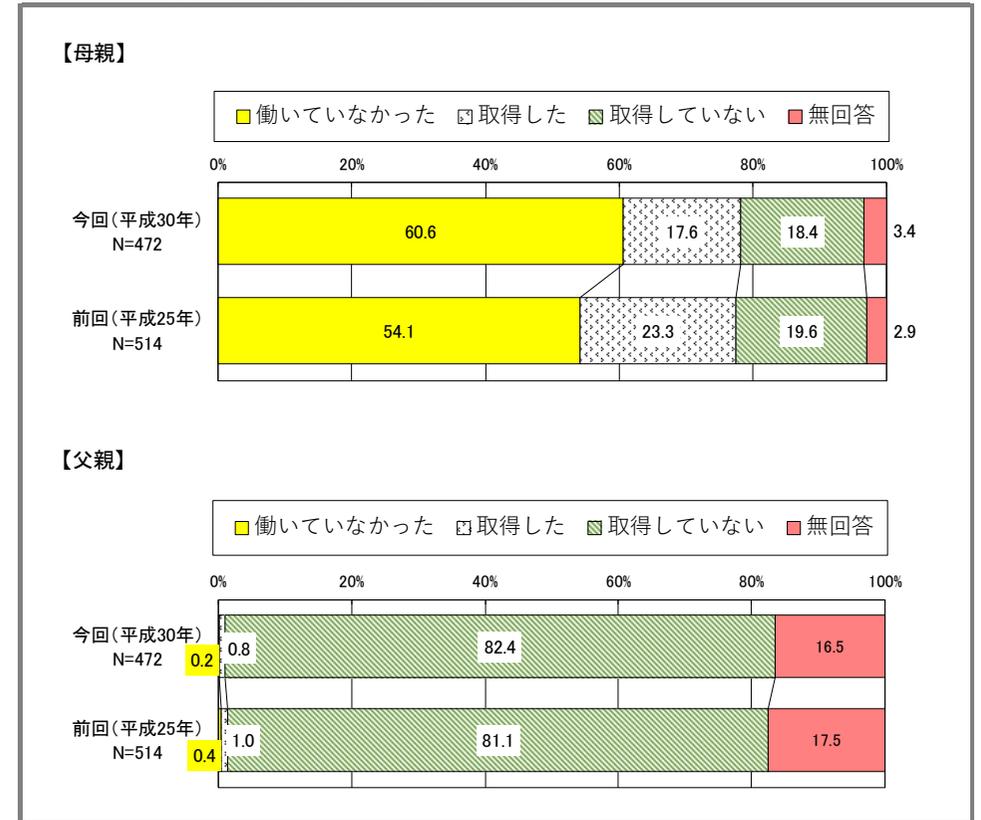
問30 あて名のお子さんについて、父母のいずれか又は双方が育児休業制度を利用しましたか。「父親」、「母親」それぞれにお答えください。  
取得していない場合はその理由を下から番号を選んでご記入ください。（いくつでも）



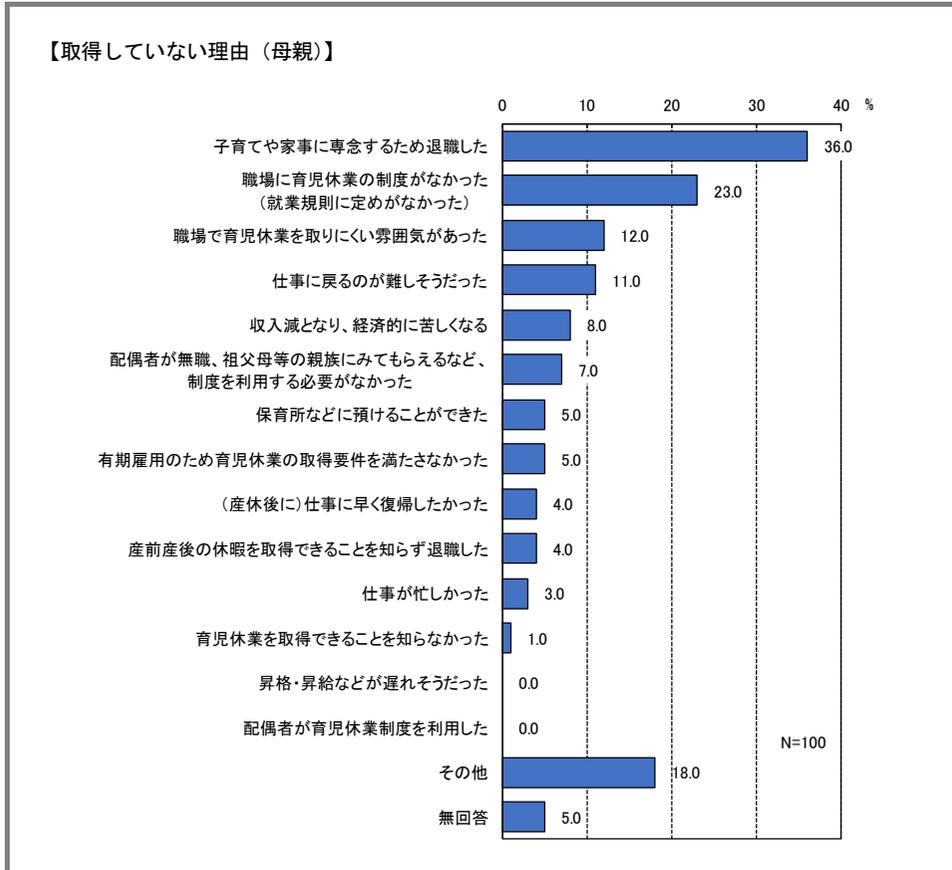
- 育児休業を「取得した」割合は、母親で34.4%、父親で3.1%となっていますが、無回答と働いていなかった人を除くと、母親で67.7%、父親で3.5%となります。
- 前回の調査結果に比べると、母親、父親ともに育児休業の取得率は高くなっています。

## 7. 育児休業制度の利用について

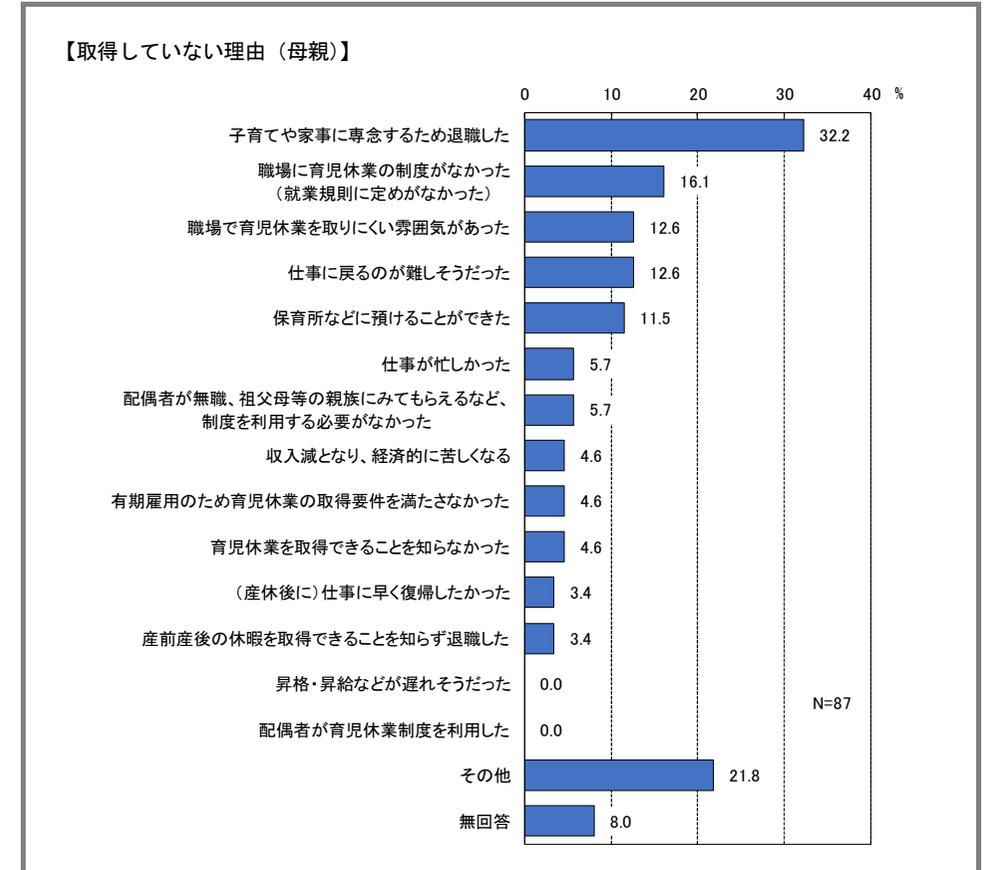
問23 あて名のお子さんについて、父母のいずれか又は双方が育児休業制度を利用しましたか。「父親」、「母親」それぞれにお答えください。



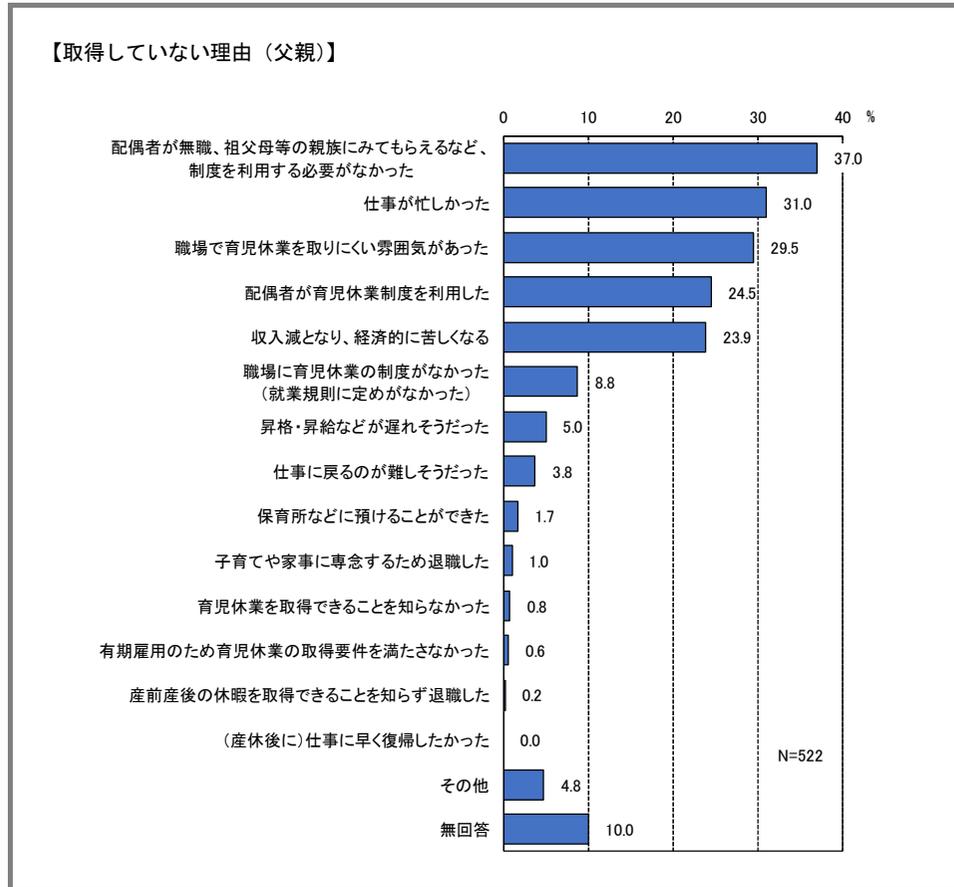
- 育児休業を「取得した」割合は、母親で17.6%、父親で0.8%となっていますが、無回答と働いていなかった人を除くと、母親で48.8%、父親で1.0%となります。
- 前回の調査結果に比べると、母親、父親ともに育児休業の取得率は低くなっています。



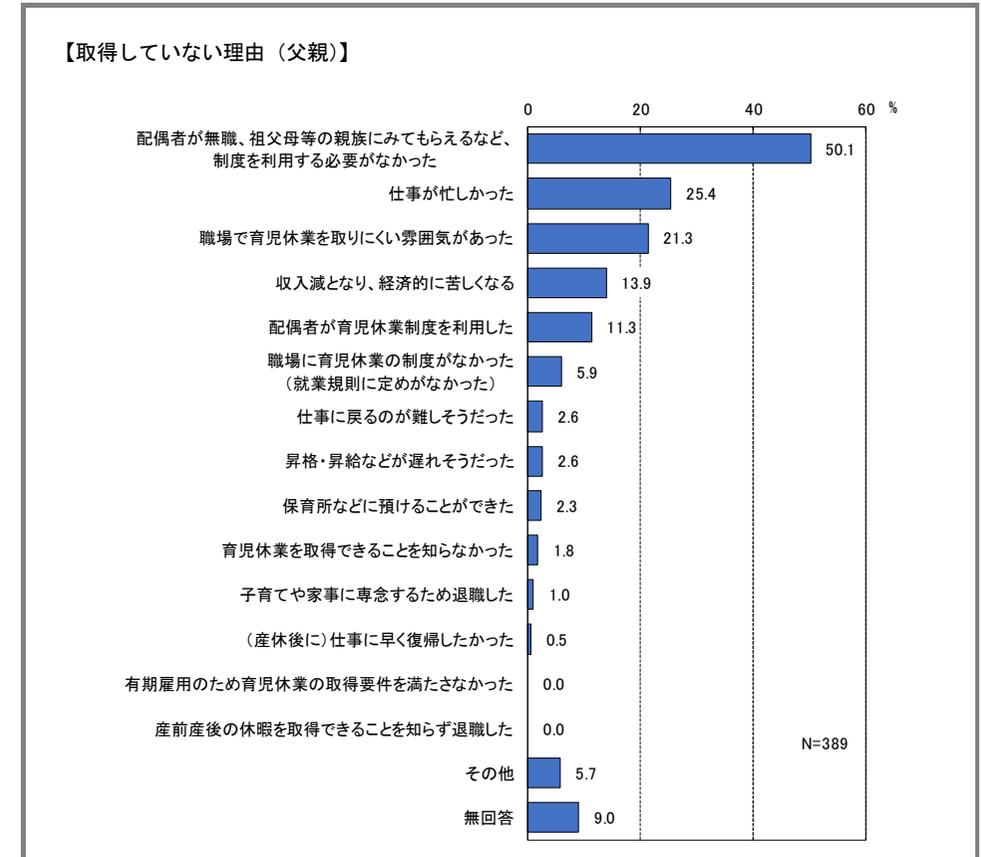
- 母親が育児休業を取得しなかった理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」(36.0%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(23.0%)が上位にあがっています。



- 母親が育児休業を取得しなかった理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が32.2%と最も多く、「職場に育児休業の制度がなかった」(16.1%)がそれに続いています。

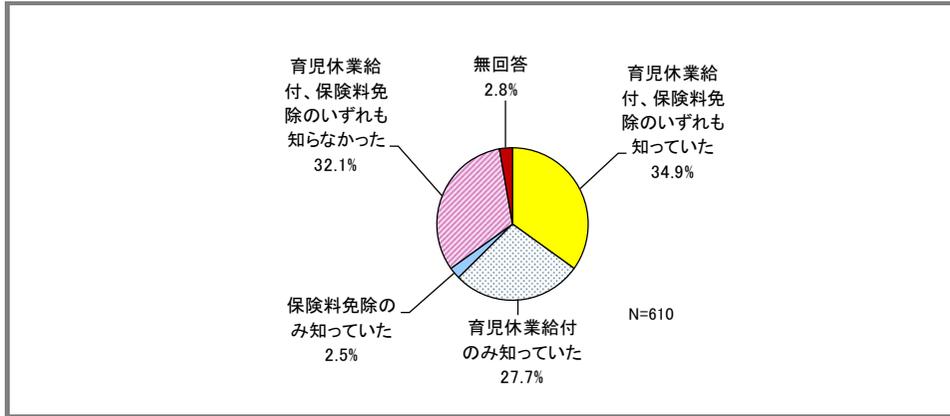


- 父親が育児休業を取得しなかった理由については、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(37.0%)、「仕事が忙しかった」(31.0%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(29.5%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(24.5%)「収入減となり、経済的に苦しくなる」(23.9%)などが上位にあがっています。



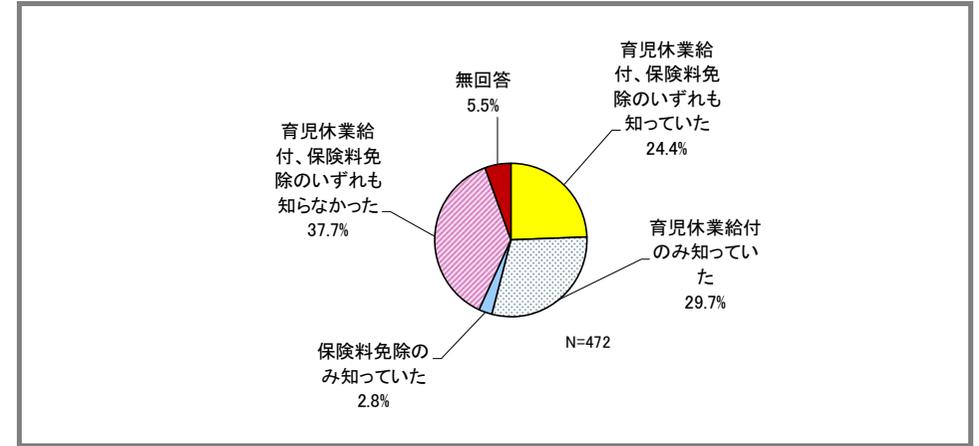
- 父親が育児休業を取得しなかった理由については、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が50.1%と最も多く、以下、「仕事が忙しかった」(25.4%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(21.3%)と続いています。

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が希望したけれども行われないなどの理由により育児休業を取得する場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組みや子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間は健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。（○は1つ）



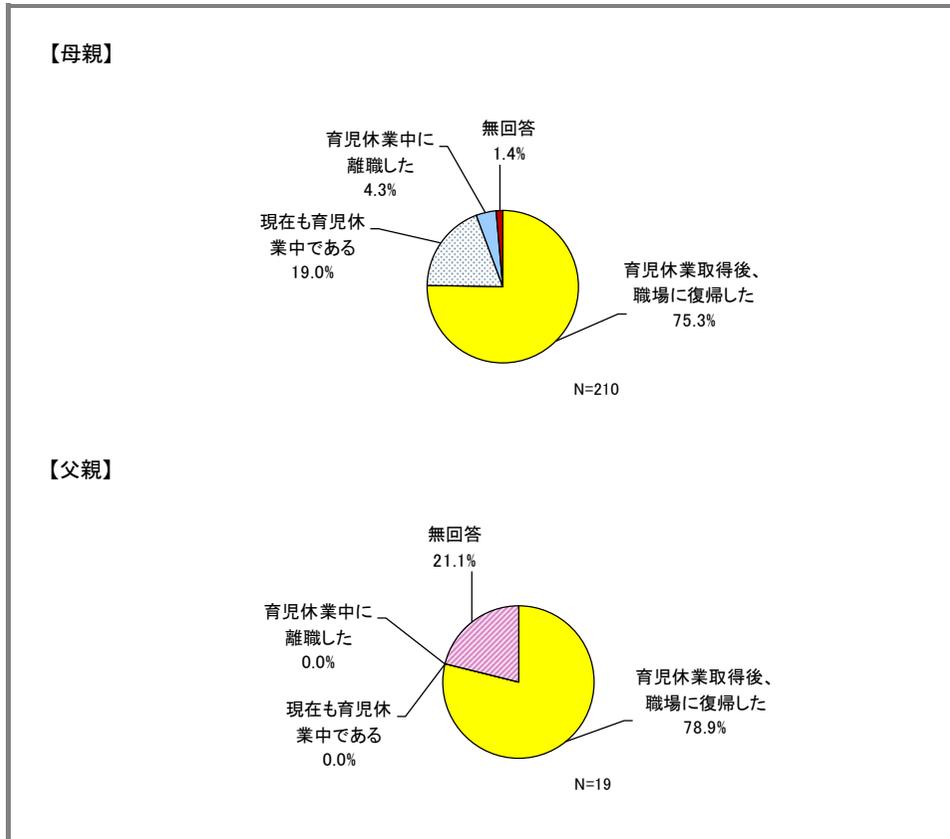
● 「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」と回答した人の割合は34.9%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」と回答した人の割合は32.1%となっています。

問23-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間は健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。（○は1つ）



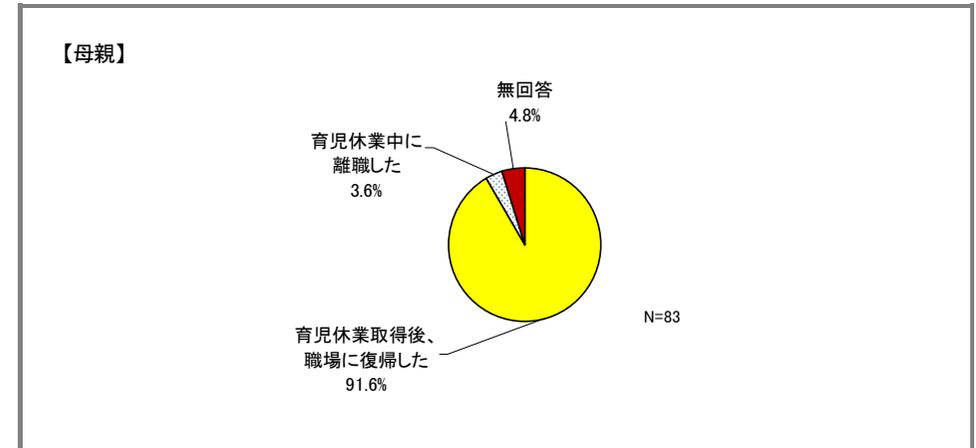
● 「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」と回答した人の割合は24.4%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」と回答した人の割合は37.7%となっています。

問30-2（問30で2と回答された方に）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。  
（○は1つ）



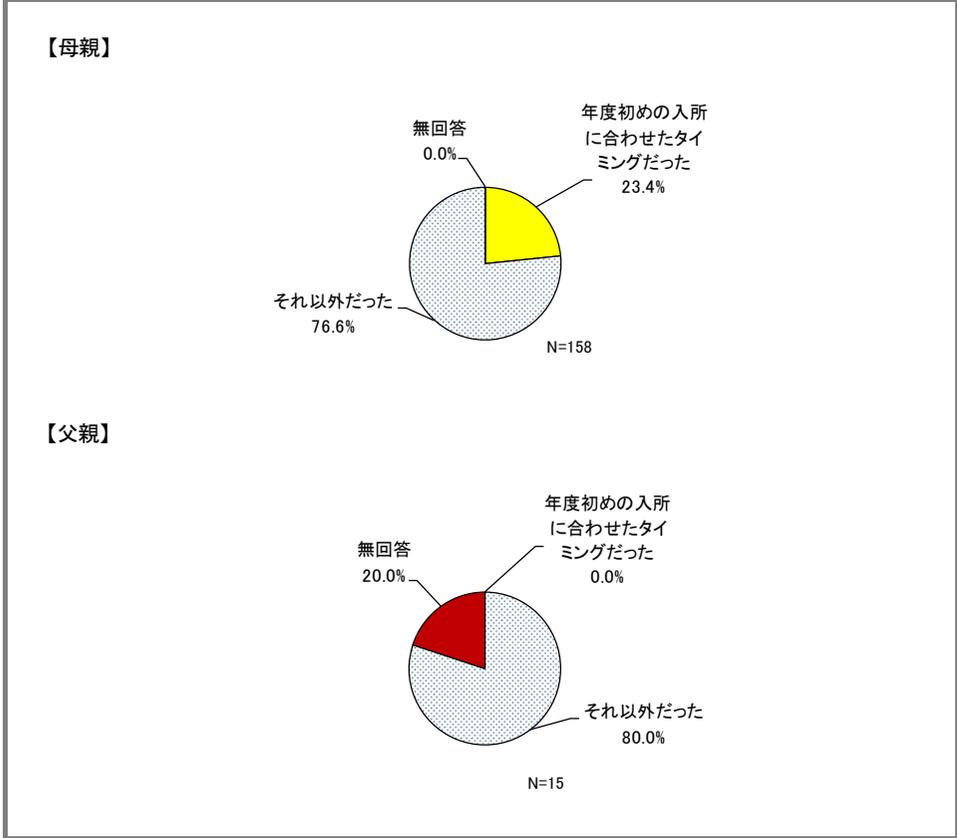
- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した母親の割合は 75.3%で、「育児休業中に離職した」人の割合は 4.3%となっています。
- 父親については、無回答を除けば、全員が「育児休業取得後、職場に復帰した」ことが分かります。

問23-2（問23で2と回答された方に）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。  
（○は1つ）



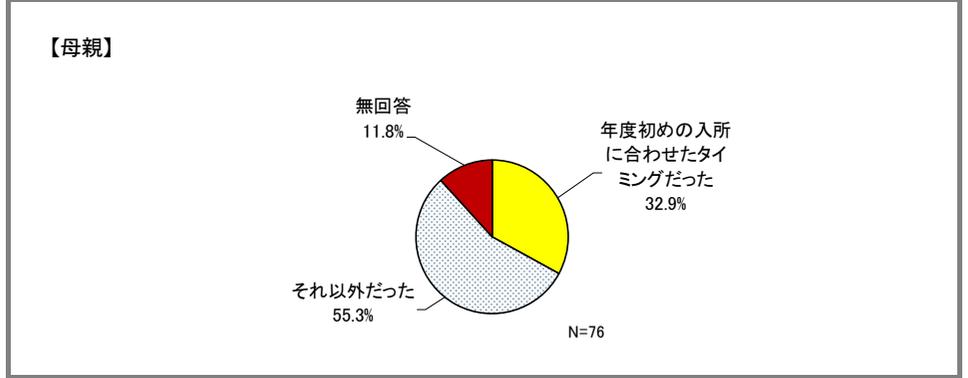
- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した母親の割合は 91.6%で、「育児休業中に離職した」人の割合は 3.6%となっています。
- 父親については、無回答を除く 3人中 2人が職場に復帰し、1人が離職したと回答しています。

問 30-3 （問 30-2 で 1 と回答された方に）育児休業から職場へ復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。（○は 1 つ）



- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した母親のうち、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した人の割合は 23.4%となっています。
- 父親について、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した人はいませんでした。

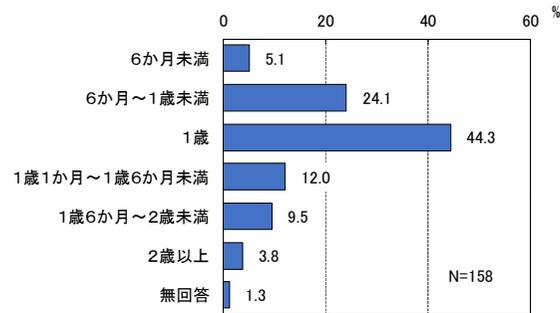
問 23-3 （問 23-2 で 1 と回答された方に）育児休業から職場へ復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。（○は 1 つ）



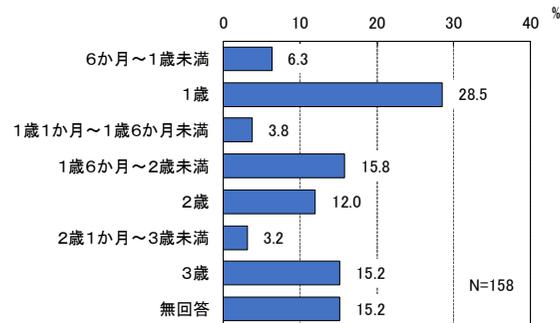
- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した母親のうち、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した人の割合は 32.9%となっています。
- 父親について、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した人はいませんでした。

問 30-4 （問 30-2 で 1 と回答された方に）育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月まで取得しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何ヶ月まで取得したかったですか。

【母親の職場復帰時期（実際）】



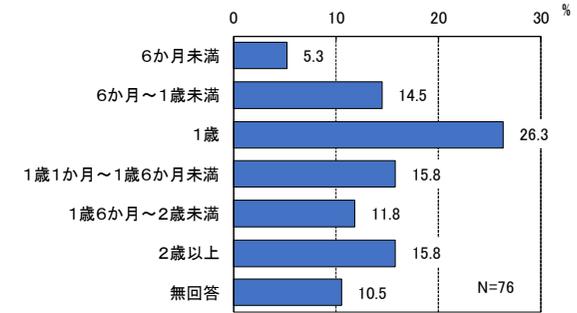
【母親の職場復帰時期（希望）】



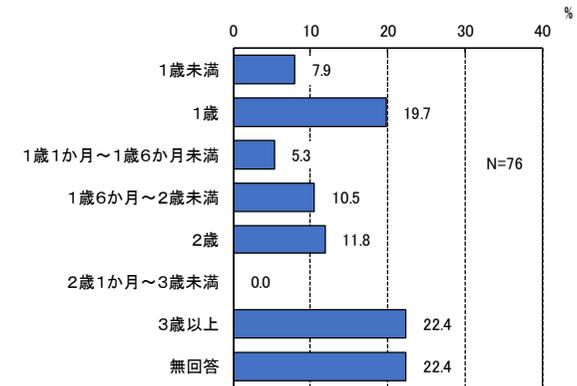
● 育児休業を取得した母親の7割が子どもが1歳までに職場復帰していますが、希望を見ると1歳までと回答した人の割合は34.8%で、50.0%の人は1歳を超え、長い人では3歳まで利用したいと回答している人（15.2%）も少なくありません。

問 23-4 （問 23-2 で 1 と回答された方に）育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月まで取得しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何ヶ月まで取得したかったですか。

【母親の職場復帰時期（実際）】



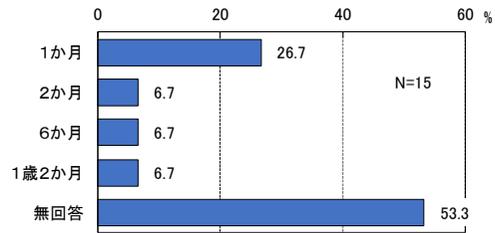
【母親の職場復帰時期（希望）】



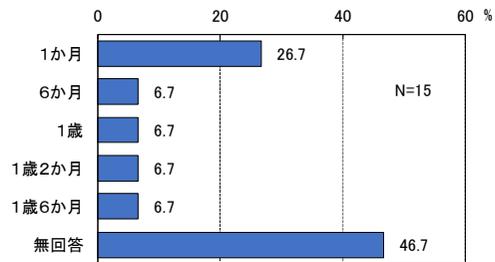
● 母親の46.1%が子どもが1歳の時までに職場復帰していますが、希望を見ると1歳までと回答した人の割合は27.6%にとどまり、3歳以上と回答している人の22.4%となっています。

● 父親の職場復帰時期については、子どもが「0か月」「1か月」が1人ずつとなっており、希望についての回答はありませんでした。

【父親の職場復帰時期（実際）】

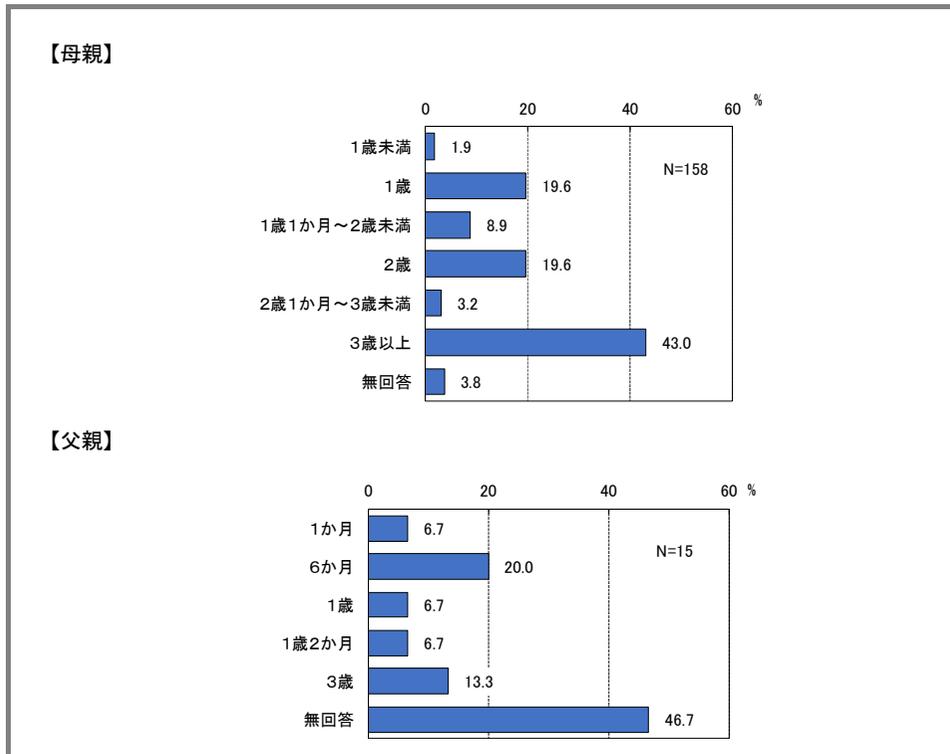


【父親の職場復帰時期（希望）】



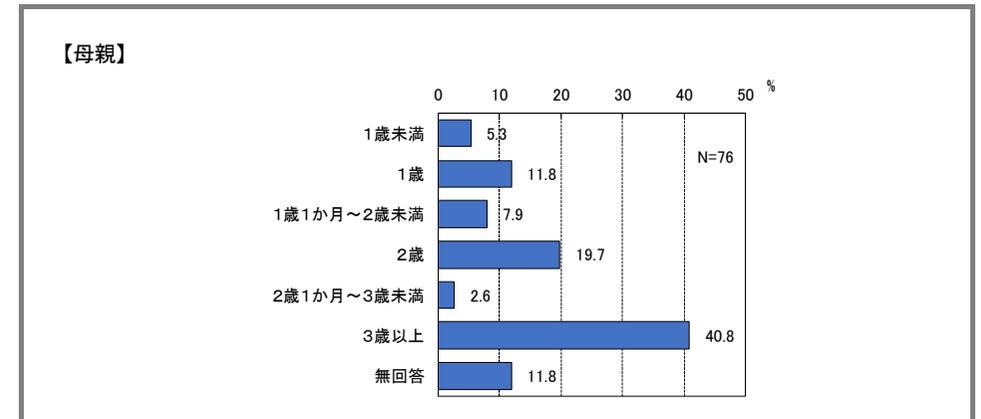
- 父親の育児休業からの職場復帰については、有効回答数が少なく精度に問題がありますが、ほとんどが短い期間の取得にとどまり、希望も母親に比べると短いことが分かります。

問 30-5 （問 30-2 で 1 と回答された方に） お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、お子さんが何歳何ヶ月まで取りたいと思われますか。



- 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、母親の育児休業取得希望は、「3歳以上」が43.0%と高い割合となっています。
- 一方、父親については、母親に比べると短い育児休業を希望する人が多くなっています。

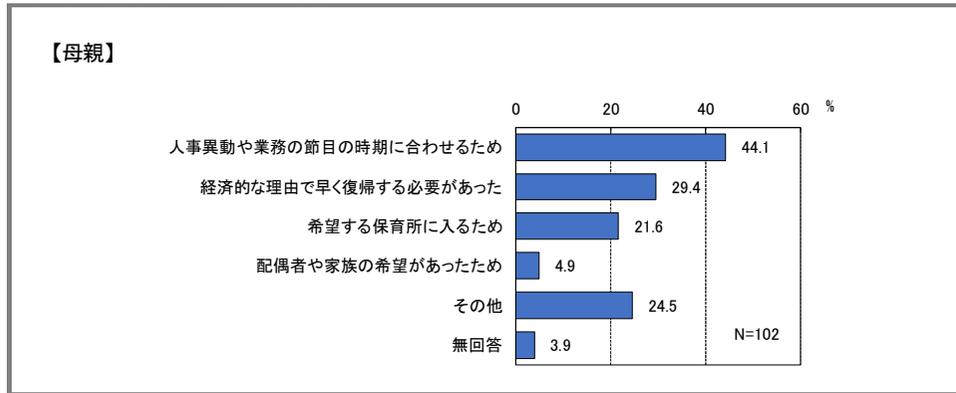
問 23-5 （問 23-2 で 1 と回答された方に） お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、お子さんが何歳何ヶ月まで取りたいと思われますか。



- 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、母親の育児休業取得希望は、「3歳以上」が40.8%と高い割合となっています。
- 父親の希望としては、「0か月」という回答が1件あったのみでした。

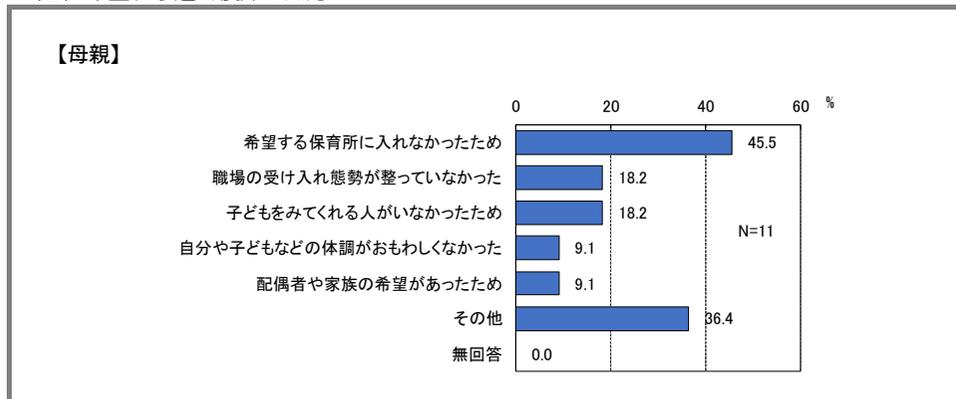
問30-6（問30-4で「実際」と「希望」が異なる方に）希望時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

（1）希望より早く復帰した方



- 育児休業から希望より早く復帰した母親にその理由を尋ねたところ、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」という回答が44.1%、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」という回答が29.4%とそれぞれ上位にあがっています。
- 父親についても回答数は2件のみで、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」がそれぞれ1件ずつとなっています。

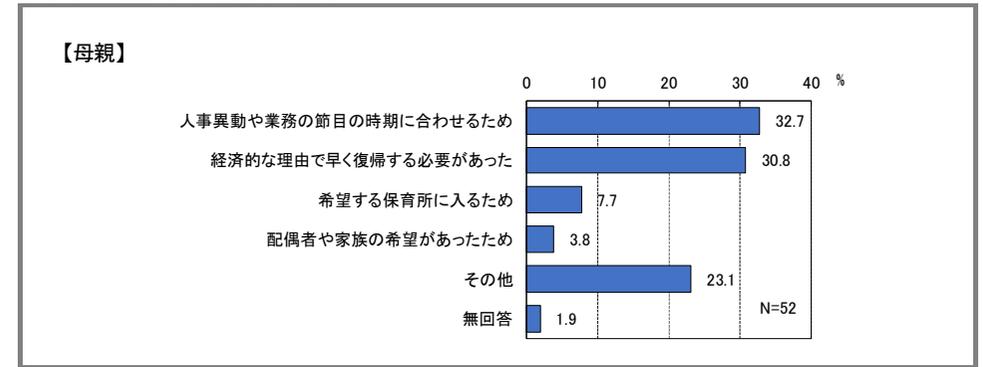
（2）希望より遅く復帰した方



- 育児休業から希望より遅く復帰した母親にその理由を尋ねたところ、「希望する保育所に入れなかったため」が45.5%と最も高い割合となっています。
- 「その他」の内容としては、「保育所の空きがなかった」「預かり可能な月齢に達していなかった」などがあがっています。

問23-6（問23-4で「実際」と「希望」が異なる方に）希望時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

（1）希望より早く復帰した方

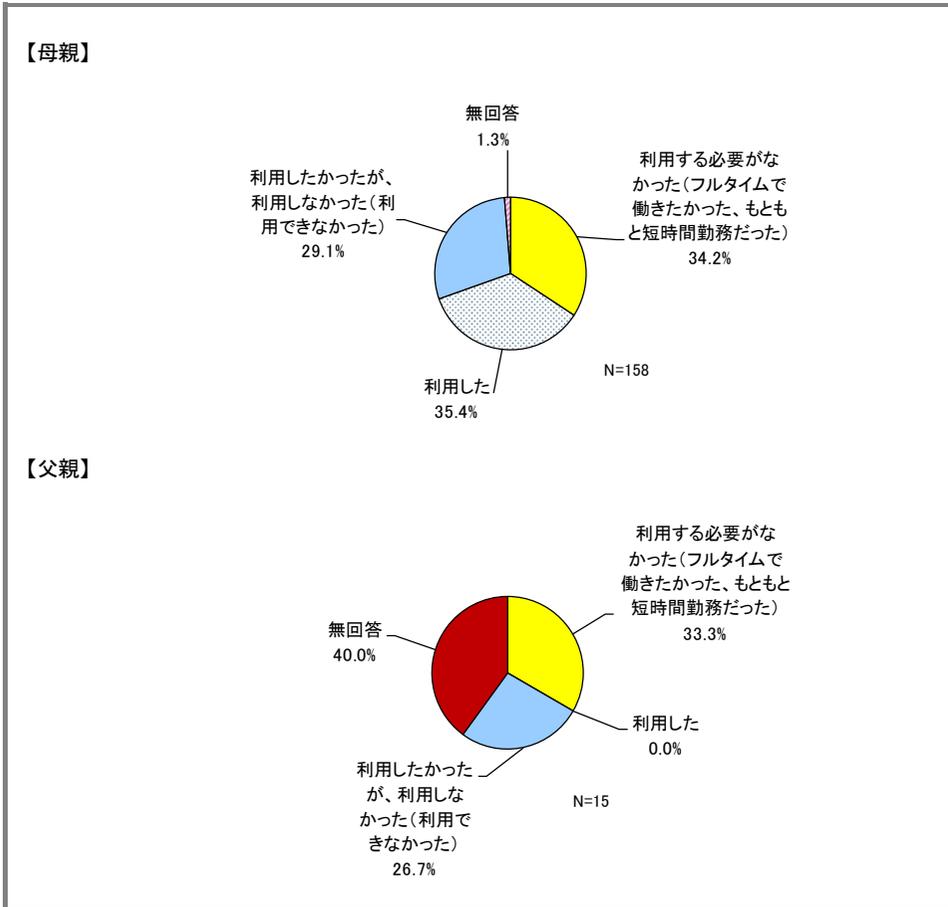


- 育児休業から希望より早く復帰した母親にその理由を尋ねたところ、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」という回答が32.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」という回答が30.8%と、それぞれ上位にあがっています。
- 「その他」の回答としては、「職場から復帰を促された」「あまり長く休むことに気がとがめた」などがあがっています。
- 父親については該当者がありませんでした。

（2）希望より遅く復帰した方

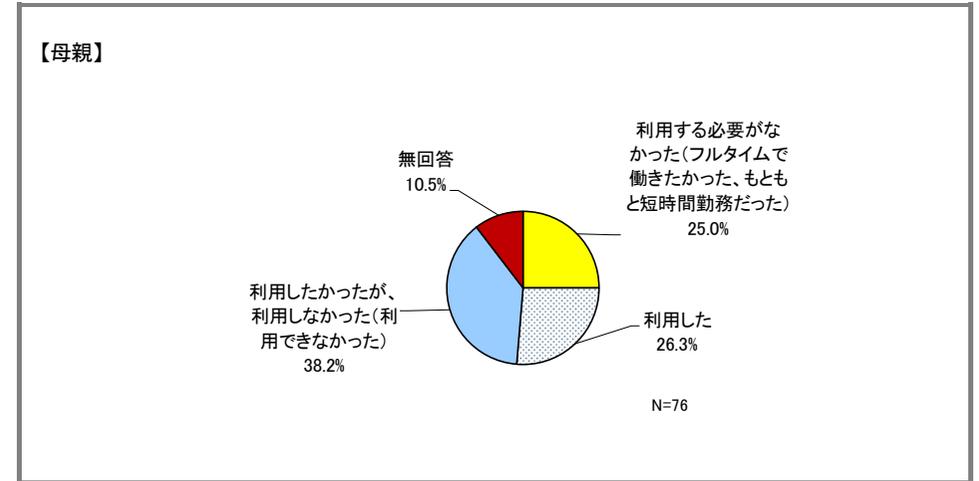
- 育児休業から希望より遅く復帰した母親は4人いましたが、理由の回答は「人事異動に関わるため」という「その他」の回答が1件あったのみでした。
- 父親については該当者がありませんでした。

問 30-7 （問 30-2 で 1 と回答された方に）育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（○は1つ）



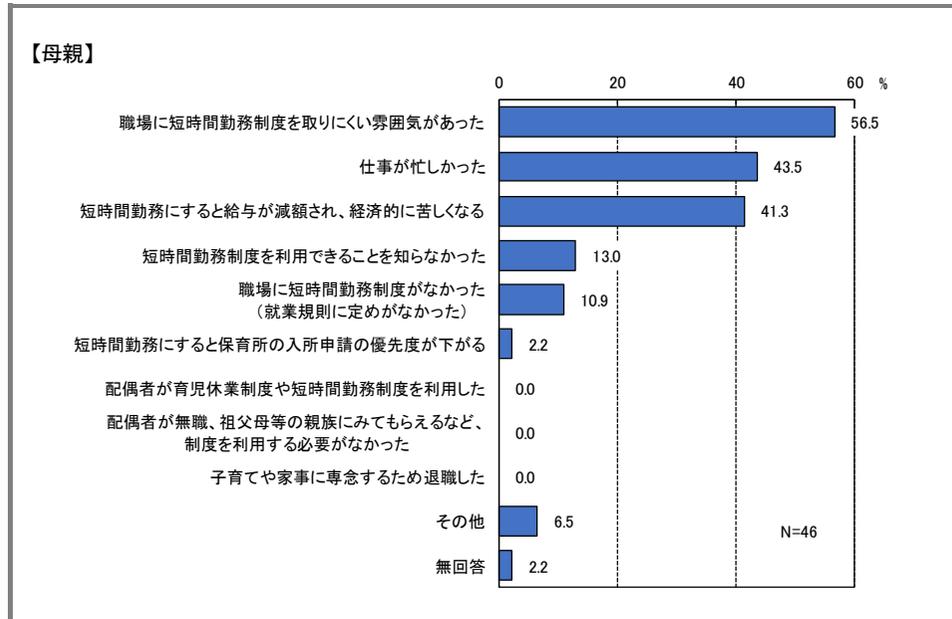
● 育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を「利用した」と回答した人の割合は、母親では35.4%、父親では0%となっています。

問 23-7 （問 23-2 で 1 と回答された方に）育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（○は1つ）



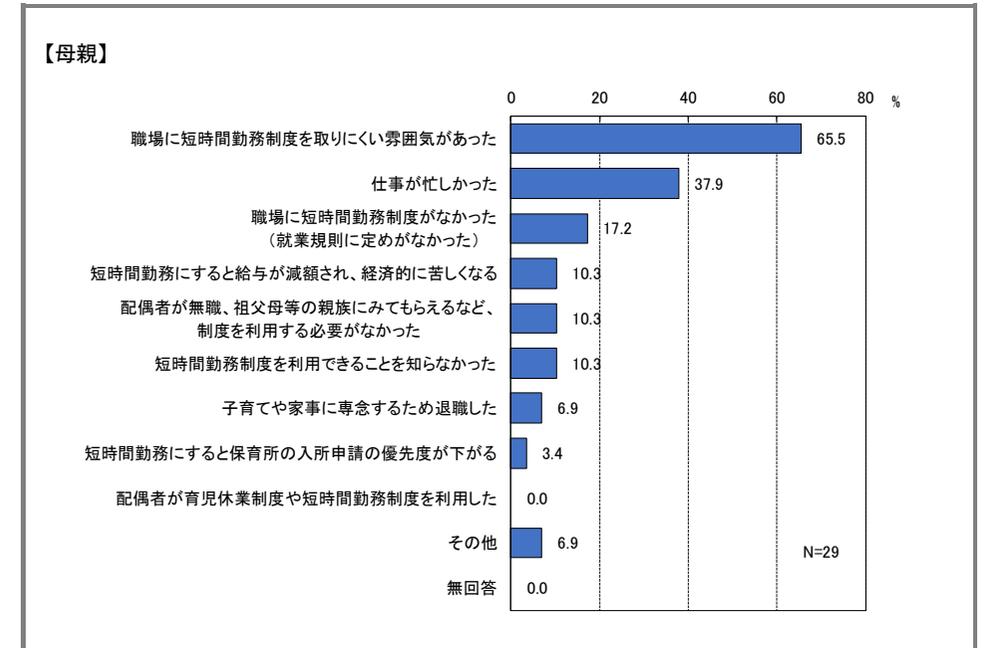
● 育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を「利用した」と回答した人の割合は、母親では26.3%、父親では2人のうち1人が「利用した」と回答しています。

問30-8（問30-7で3と回答された方に）短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由は何ですか。（〇はあてはまるものすべて）



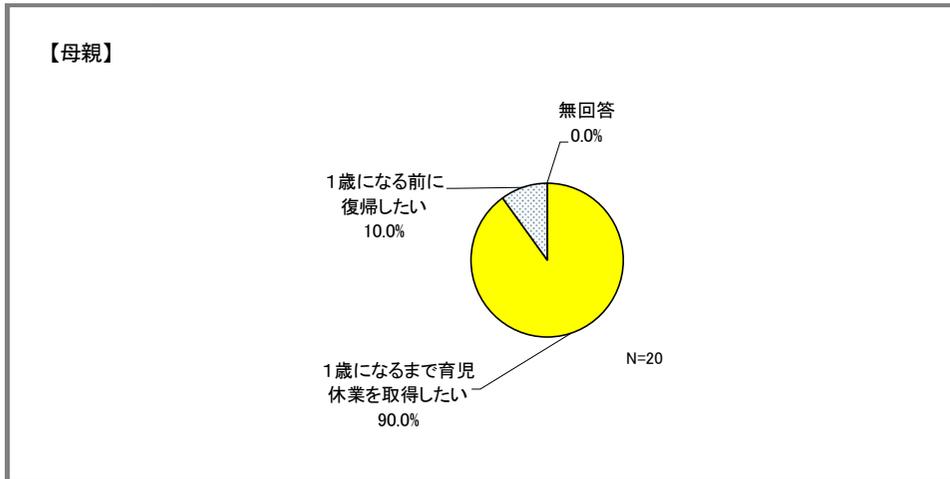
- 前問で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した人にその理由を尋ねたところ、母親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が56.5%と最も高い割合となっており、以下、「仕事が忙しかった」（43.5%）、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」（41.3%）と続いています。
- 父親については、「仕事が忙しかった」という回答が4人中2人となっています。

問23-8（問23-7で3と回答された方に）短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由は何ですか。（〇はあてはまるものすべて）



- 前問で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した人にその理由を尋ねたところ、母親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が65.5%と最も高い割合となっており、以下、「仕事が忙しかった」（37.9%）、「職場に短時間勤務制度がなかった」（17.2%）と続いています。
- 父親については、該当者がいませんでした。

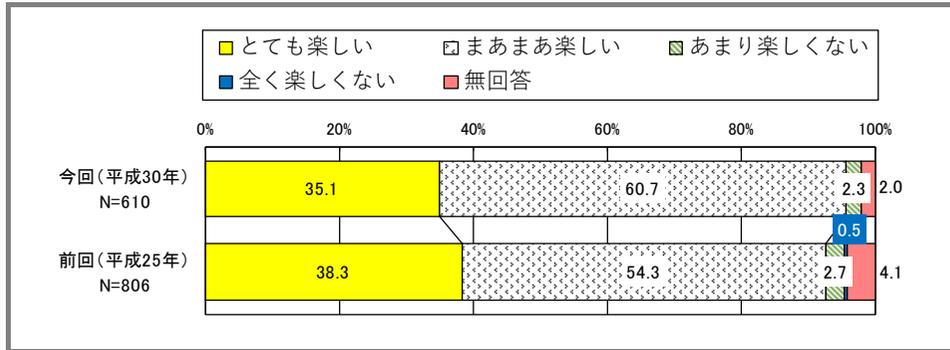
問 30-9 （問 30-2 で 2 と回答された方でお子さんが1歳未満の方に）あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（〇は1つ）



- 子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した人の割合は90.0%となっています。

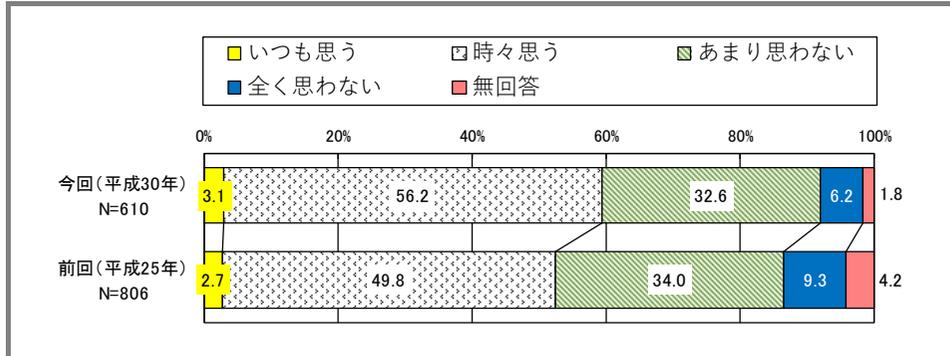
## 12. 日常の子育てなどについて

問31 子育ては楽しいですか。（〇は1つ）



- 子育ては「とても楽しい」、「まあまあ楽しい」と回答した人が95.8%と大半を占めていますが、一方で2.3%の人が「あまり楽しくない」と回答しています。
- 前回調査結果と比べると、あまり大きな差異は見られませんが、「全く楽しくない」と回答した人はいなくなっています。

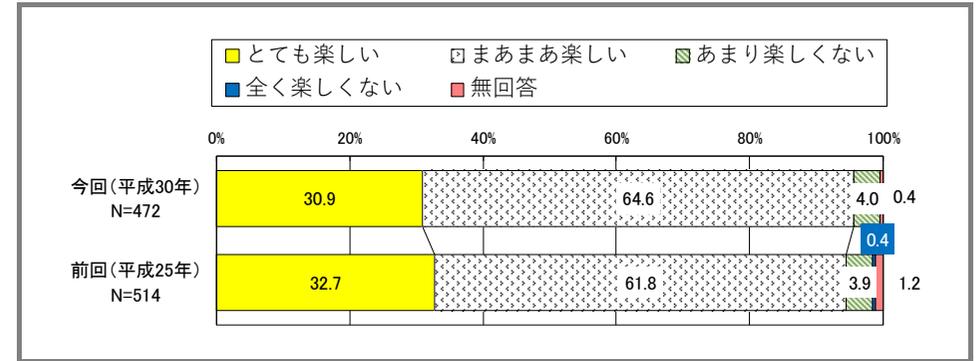
問32 子育てがづらいと思うことはありますか。（〇は1つ）



- 子育てがづらいと「いつも思う」と回答した人は3.1%、「時々思う」は56.2%となっています。
- 前回調査結果と比べると、「いつも思う」「時々思う」という回答割合が、52.5%から59.3%と、6.8ポイント高くなっています。

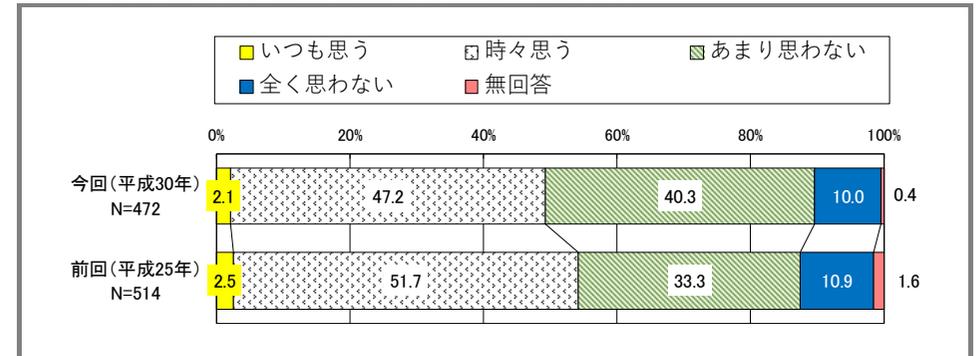
## 8. 日常の子育てなどについて

問24 子育ては楽しいですか。（〇は1つ）



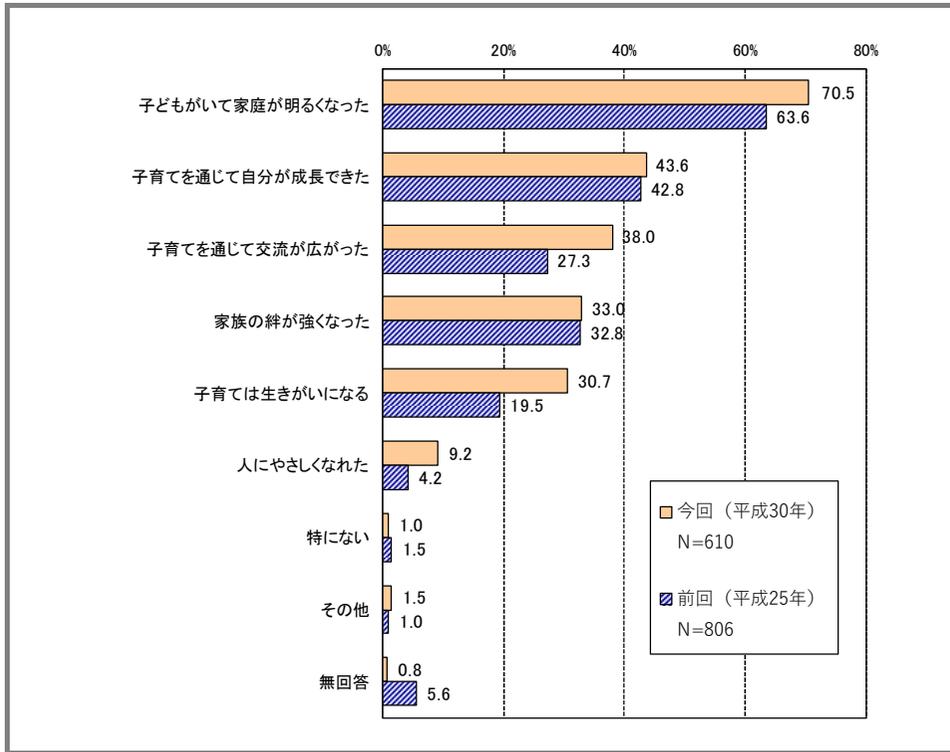
- 子育ては「とても楽しい」、「まあまあ楽しい」と回答した人が95.5%と大半を占めていますが、一方で4.0%の人が「あまり楽しくない」と回答しています。
- 前回調査結果と比べると、あまり大きな差異は見られませんが、「全く楽しくない」と回答した人はいなくなっています。

問25 子育てがづらいと思うことはありますか。（〇は1つ）



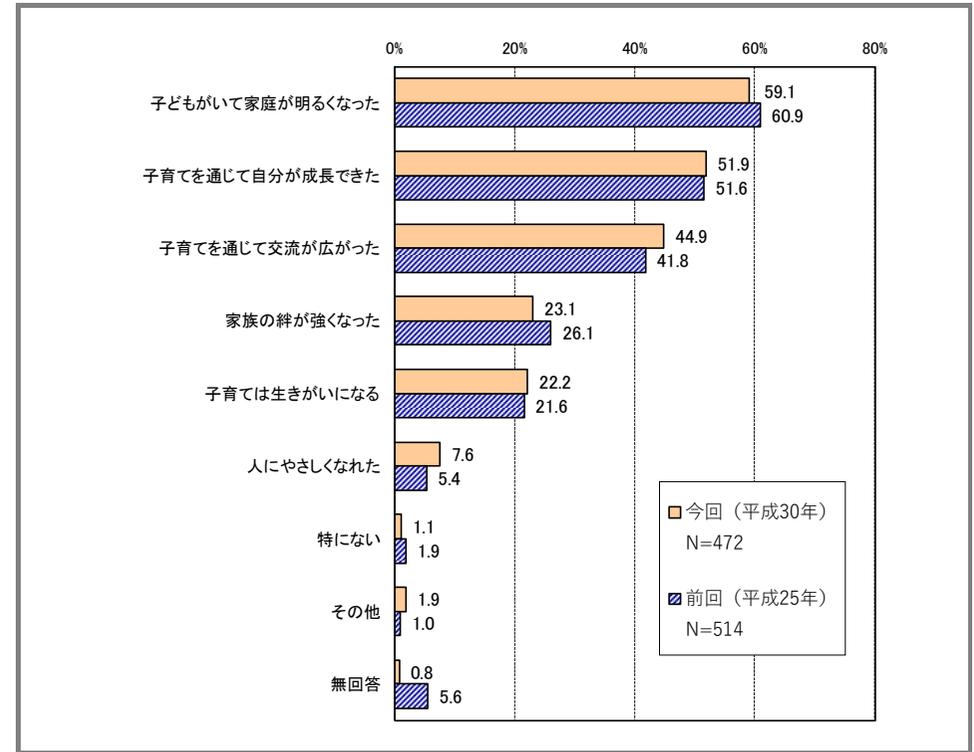
- 子育てがづらいと「いつも思う」と回答した人は2.1%、「時々思う」は47.2%となっています。
- 前回調査結果と比べると、「いつも思う」「時々思う」という回答割合が、54.2%から49.3%と、4.9ポイント減っています。

問33 子育てを通してよかったと感じていることは何ですか。（〇は2つまで）



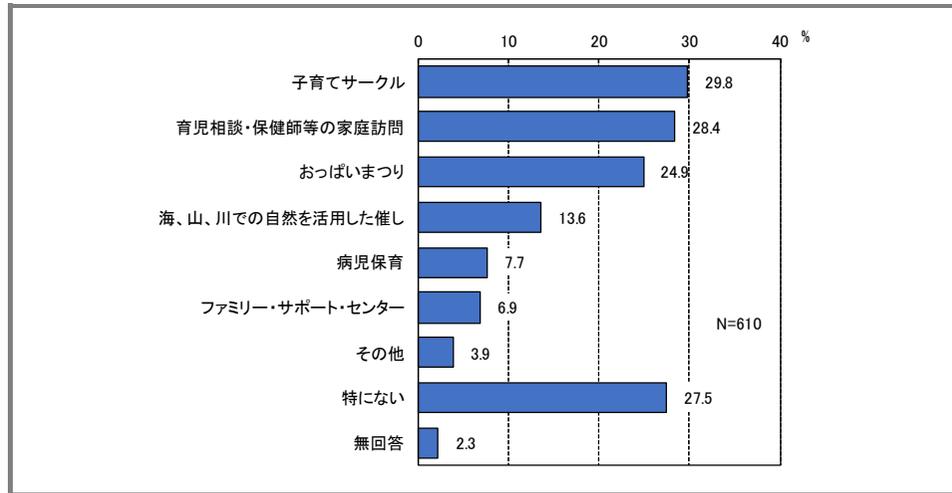
- 子育てを通してよかったと感じていることとしては、「子どもがいて家庭が明るくなった」と回答した人の割合が 70.5%と最も高く、以下、「子育てを通じて自分が成長できた」（43.6%）、「子育てを通じて交流が広がった」（38.0%）と続いています。
- 前回調査結果と比べると、「子育てを通じて交流が広がった」が 10.7 ポイント、「子育てでは生きがいがいになる」が 11.2 ポイント、それぞれ回答割合が高くなっています。

問26 子育てを通してよかったと感じていることは何ですか。（〇は2つまで）



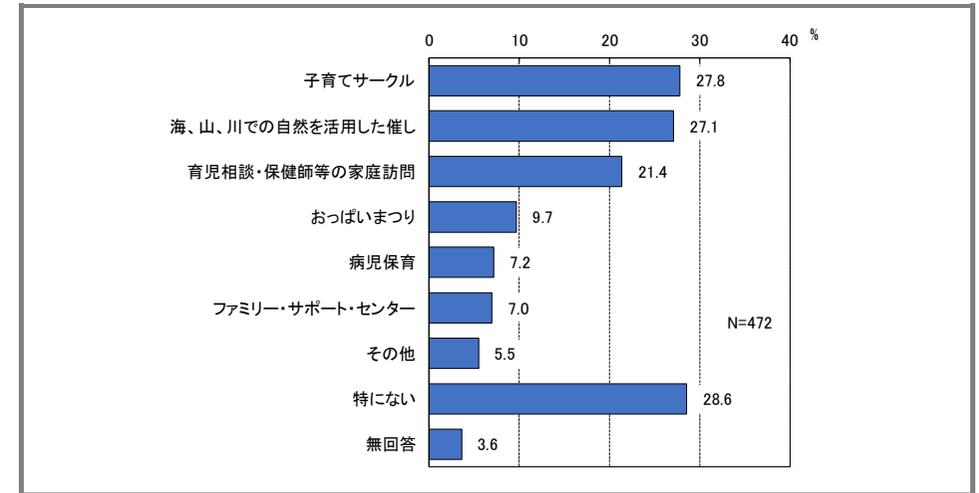
- 子育てを通してよかったと感じていることとしては、「子どもがいて家庭が明るくなった」と回答した人の割合が 59.1%と最も高く、以下、「子育てを通じて自分が成長できた」（51.9%）、「子育てを通じて交流が広がった」（44.9%）と続いています。
- 前回調査結果と比べても大きな差異はありませんでした。

問34 利用してよかった、助かったと思う制度や、参加してよかったと思う催し等がありますか。  
 (〇はあてはまるものすべて)



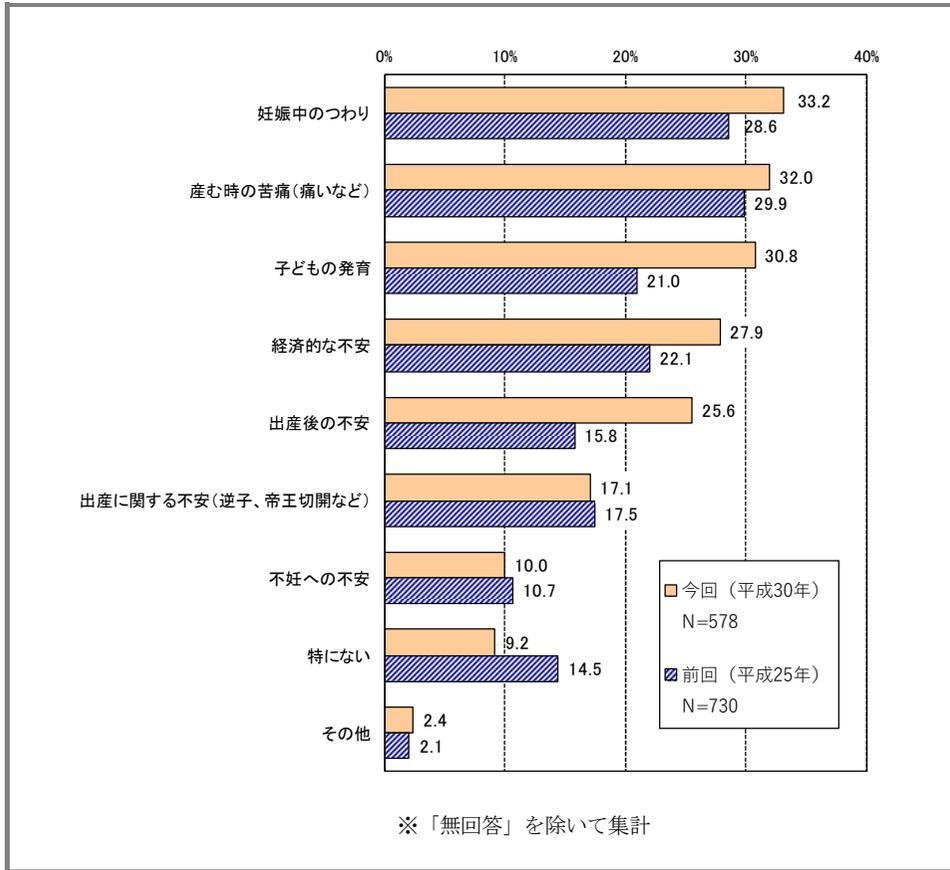
- 利用してよかった、助かったと思う制度や、参加してよかったと思う催し等としては、「子育てサークル」と回答した人の割合が29.8%と最も高くなっており、以下、「育児相談・保健師等の家庭訪問」(28.4%)、「おっぱいまつり」(24.9%)と続いています。

問27 利用してよかった、助かったと思う制度や、参加してよかったと思う催し等がありますか。  
 (〇はあてはまるものすべて)



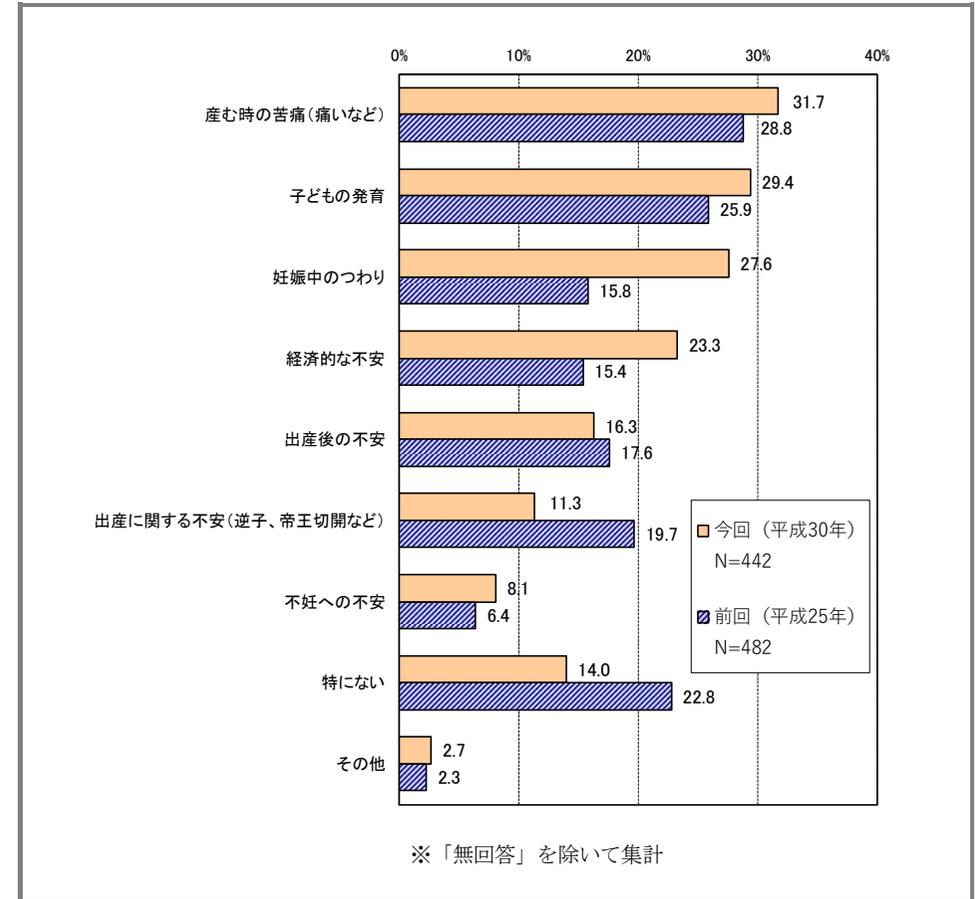
- 利用してよかった、助かったと思う制度や、参加してよかったと思う催し等としては、「子育てサークル」(27.8%)と「海、山、川での自然を活用した催し」(27.1%)が上位にあがっており、「育児相談・保健師等の家庭訪問」(21.4%)がそれに続いています。

問 35 (女性の方におうかがいします。) 妊娠・出産に不安や悩みがありましたか。  
(○は2つまで)



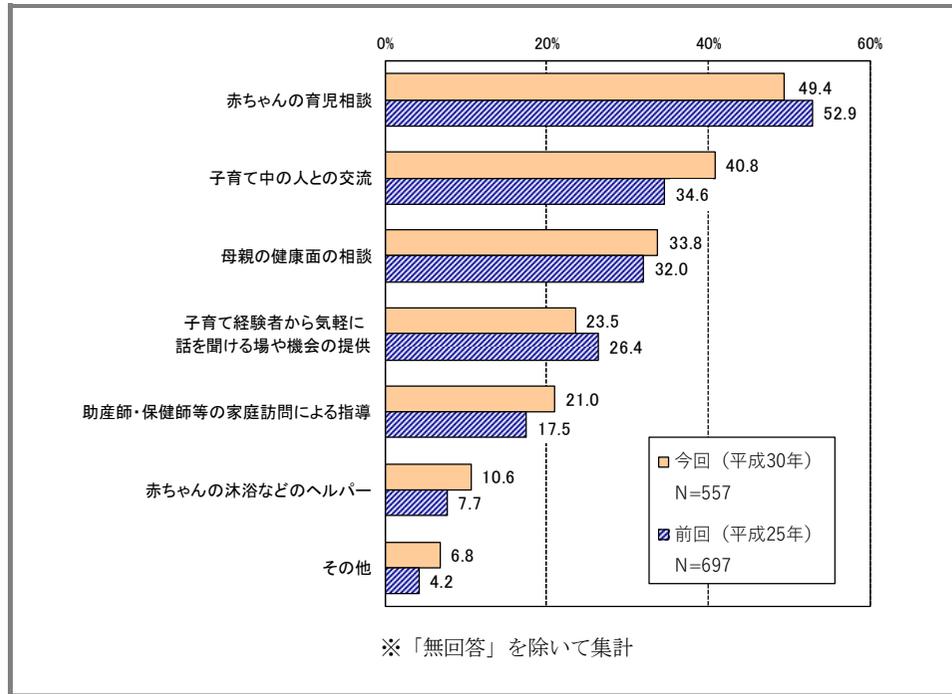
- 妊娠・出産の不安や悩みとしては、「妊娠中のつわり」と回答した人の割合が 33.2%と最も高くなっており、以下、「産む時の苦痛(痛いなど)」(32.0%)、「子どもの発育」(30.8%)、「経済的な不安」(27.9%)、「出産後の不安」(25.6%)と続いています。
- 「子どもの発育」や「出産後の不安」については、前回調査結果と比べて 10 ポイント近く回答割合が高くなっています。

問 28 (女性の方におうかがいします。) 妊娠・出産に不安や悩みがありましたか。  
(○は2つまで)



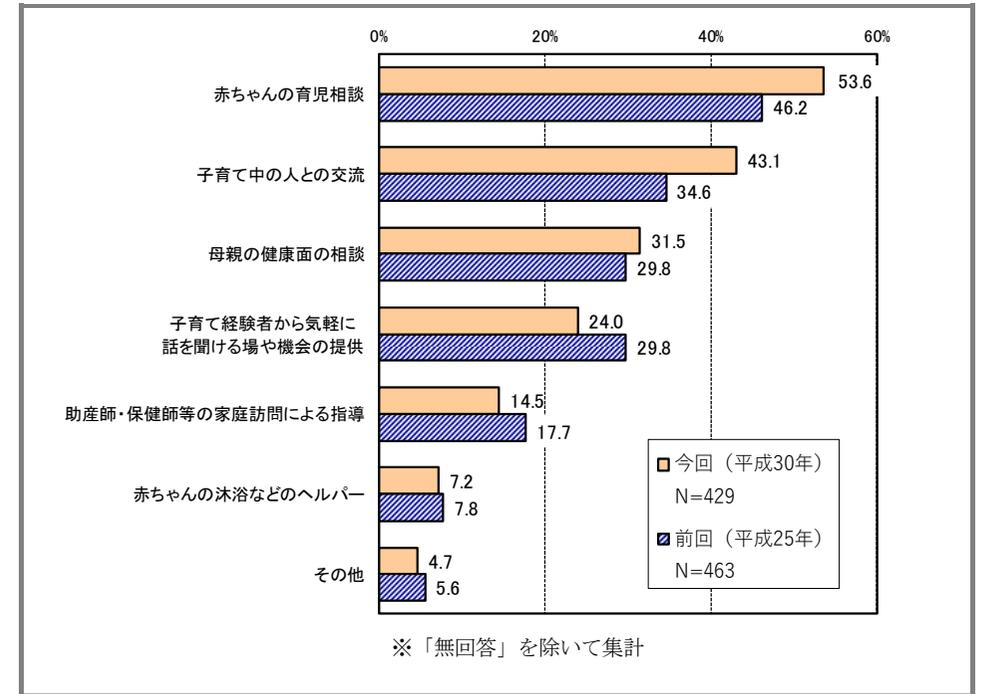
- 妊娠・出産の不安や悩みとしては、「産む時の苦痛(痛いなど)」と回答した人の割合が 31.7%と最も高くなっており、以下、「子どもの発育」(29.4%)、「妊娠中のつわり」(27.6%)、「経済的な不安」(23.3%)と続いています。
- 前回調査結果と比べ回答割合が高くなったのは、「妊娠中のつわり」や「経済的な不安」で、逆に低くなったのは「出産に関する不安」となっています。

問35-1 （女性の方におうかがいします。）妊娠中や出産後のサポートとして、どのようなサービスが重要だと思いますか。（〇は2つまで）



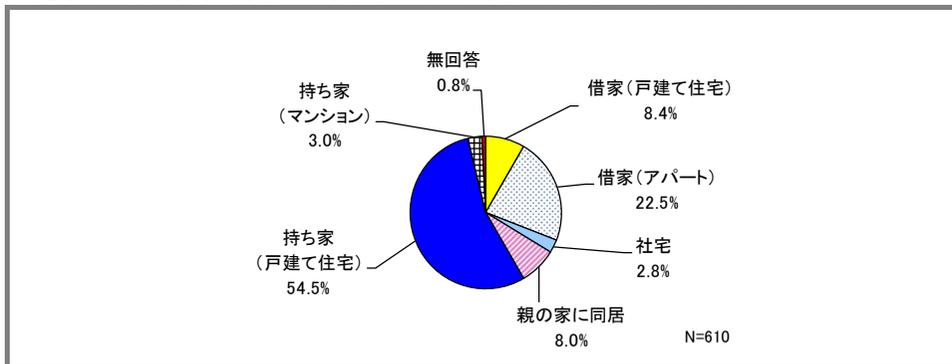
- 妊娠中や出産後のサポートとして重要だと思うサービスとしては、「赤ちゃんの育児相談」と回答した人の割合が49.4%と最も高くなっており、以下、「子育て中の人との交流」（40.8%）、「母親の健康面の相談」（33.8%）と続いています。
- 前回調査結果と比べても大きな差異はありませんが、「子育て中の人との交流」については、前回調査結果に比べ6.2ポイント回答割合が高くなっています。

問28-1 （女性の方におうかがいします。）妊娠中や出産後のサポートとして、どのようなサービスが重要だと思いますか。（〇は2つまで）



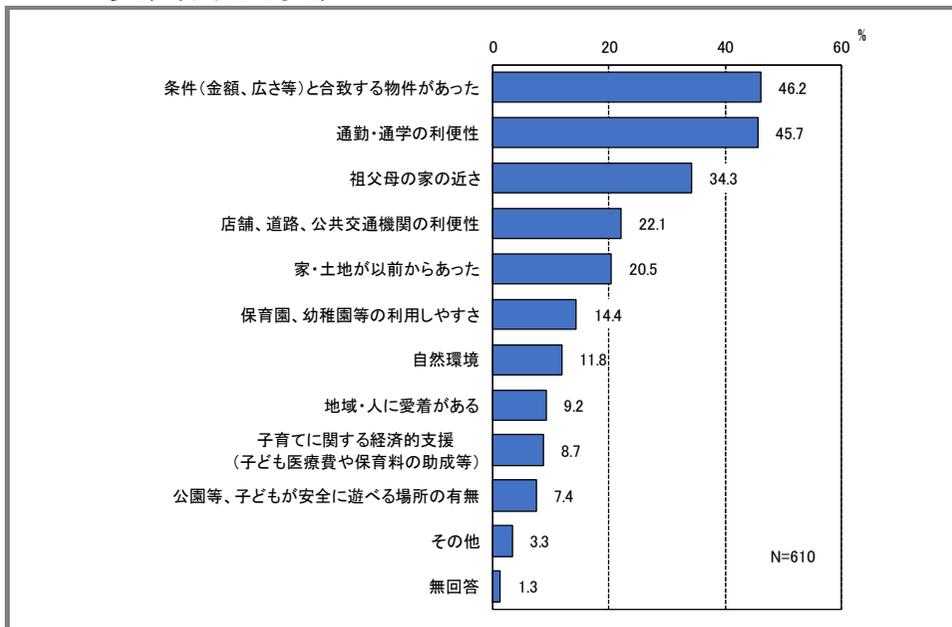
- 妊娠中や出産後のサポートとして重要だと思うサービスとしては、「赤ちゃんの育児相談」と回答した人の割合が53.6%と最も高くなっており、以下、「子育て中の人との交流」（43.1%）、「母親の健康面の相談」（31.5%）と続いています。
- 前回調査結果と比べ回答割合が高くなったのは、「赤ちゃんの育児相談」と「子育て中の人との交流」で、逆に低くなったのは「子育て経験者から気軽に話を聞ける場や機会の提供」となっています。

問 36 あなたが現在お住まいの住宅についてお答えください (〇は1つ)



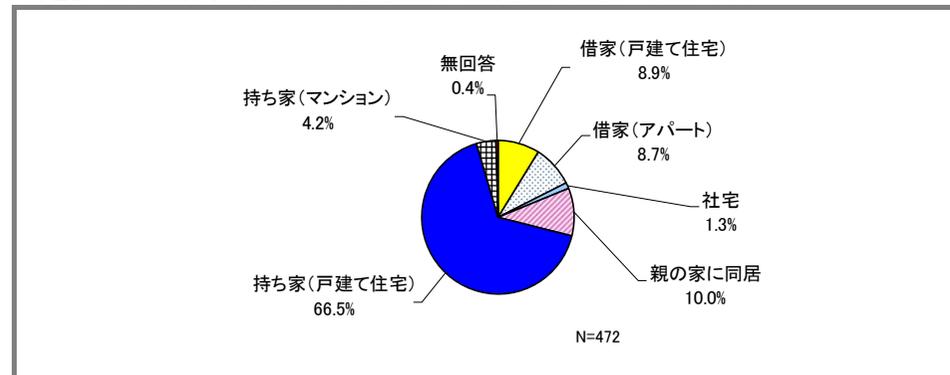
- 現在の住宅については、「持ち家 (戸建て住宅)」が 54.5%と最も多くなっており、「借家 (アパート)」が 22.5%でそれに続いています。

問 36-1 居住地を決める際には何を考慮しましたか (これから転居する場合は、何を考慮しますか) (〇は3つまで)



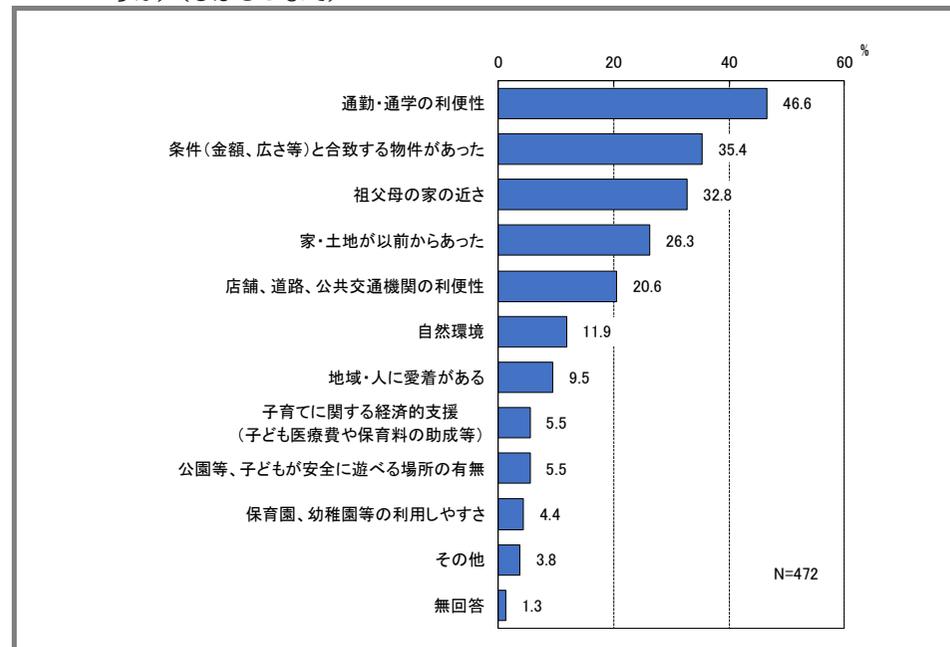
- 居住地を決める際に考慮することとしては、「条件 (金額、広さ等)と合致する物件があった」(46.2%)と「通勤・通学の利便性」(45.7%)が上位にあがっており、「祖父母の家の近さ」(34.3%)がそれに続いています。

問 29 あなたが現在お住まいの住宅についてお答えください (〇は1つ)



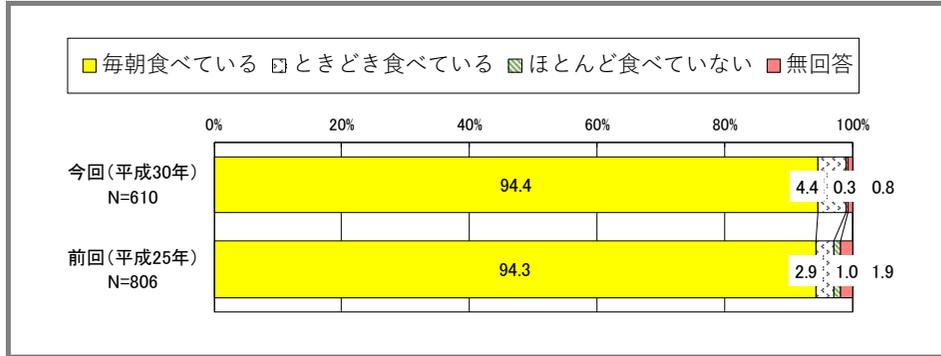
- 現在の住宅については、「持ち家 (戸建て住宅)」が 66.5%と最も多くなっており、「親の家に同居」が 10.0%でそれに続いています。

問 29-1 居住地を決める際には何を考慮しましたか (これから転居する場合は、何を考慮しますか) (〇は3つまで)



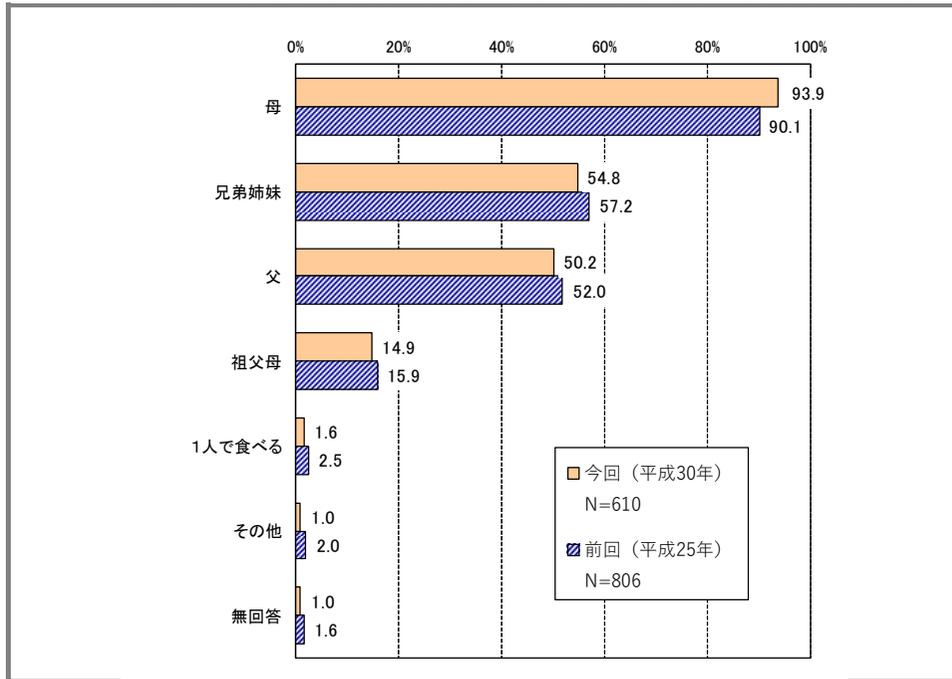
- 居住地を決める際に考慮することとしては、「通勤・通学の利便性」が 46.6%と最も高い回答割合となっており、以下、「条件 (金額、広さ等)と合致する物件があった」(35.4%)、「祖父母の家の近さ」(32.8%)と続いています。

問37 お子さんは毎日朝食を食べていますか。（〇は1つ）



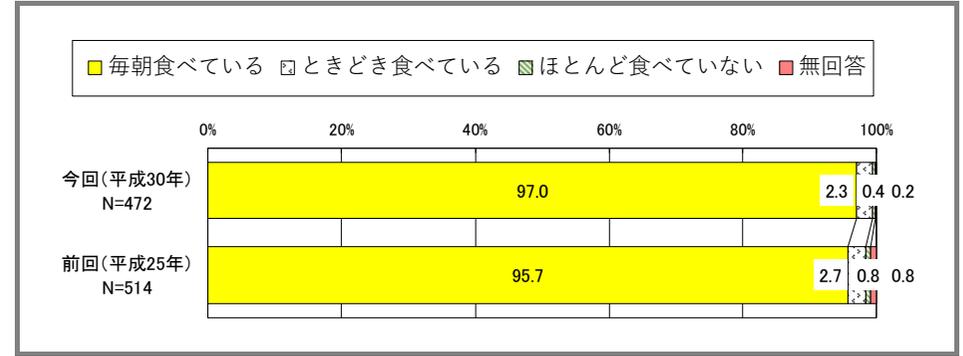
- 朝食を「毎朝食べている」子どもが94.4%と大半を占めていますが、「ときどき食べている」子ども（4.4%）や「ほとんど食べていない」子ども（0.3%）も存在しています。

問37-1 お子さんと夕食を一緒に食べる方はどなたですか。（〇はあてはまるものすべて）



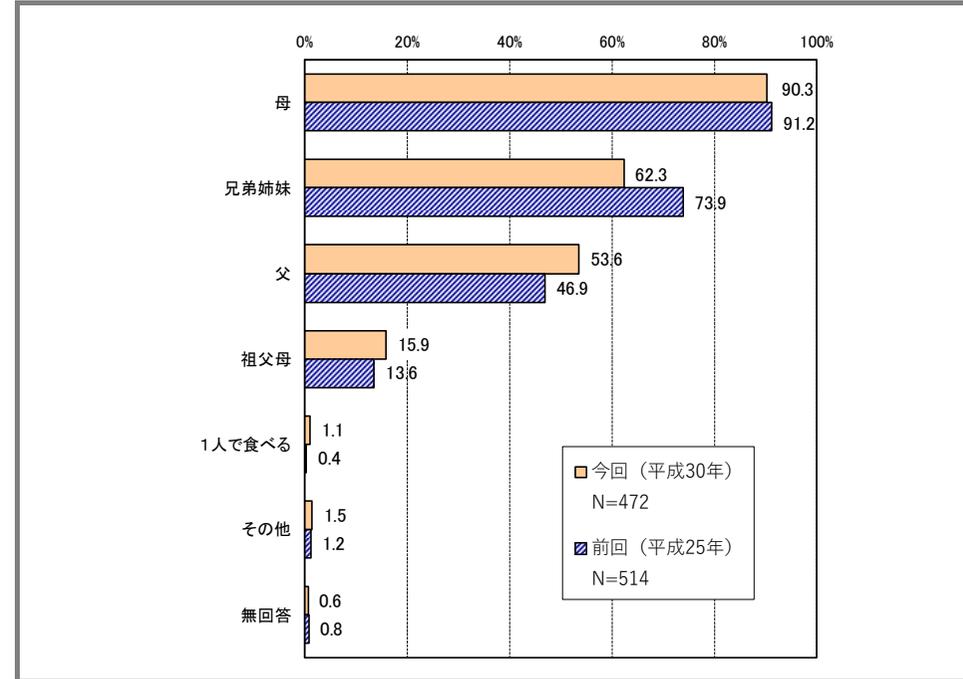
- 子どもと夕食を一緒に食べる相手としては、「母」が93.9%と最も多く、以下、「兄弟姉妹」（54.8%）、「父」（50.2%）と続いています。
- 「1人で食べる」子どもは1.6%で、前回調査結果の割合（2.5%）よりやや減少しています。

問30 お子さんは毎日朝食を食べていますか。（〇は1つ）



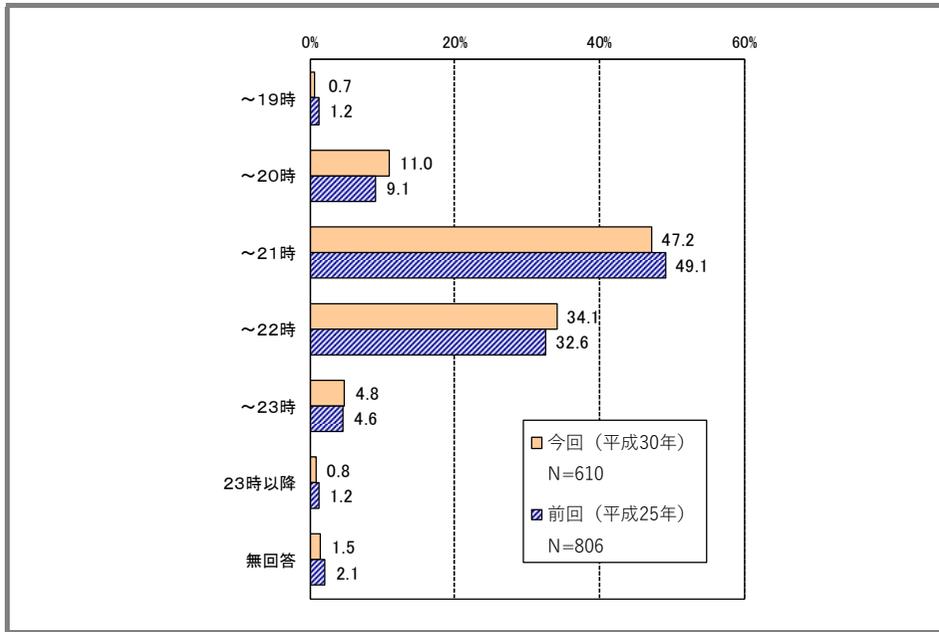
- 朝食を「毎朝食べている」子どもが97.0%と大半を占めていますが、「ときどき食べている」子ども（2.3%）や「ほとんど食べていない」子ども（0.4%）も存在しています。

問30-1 お子さんと夕食を一緒に食べる方はどなたですか。（〇はあてはまるものすべて）



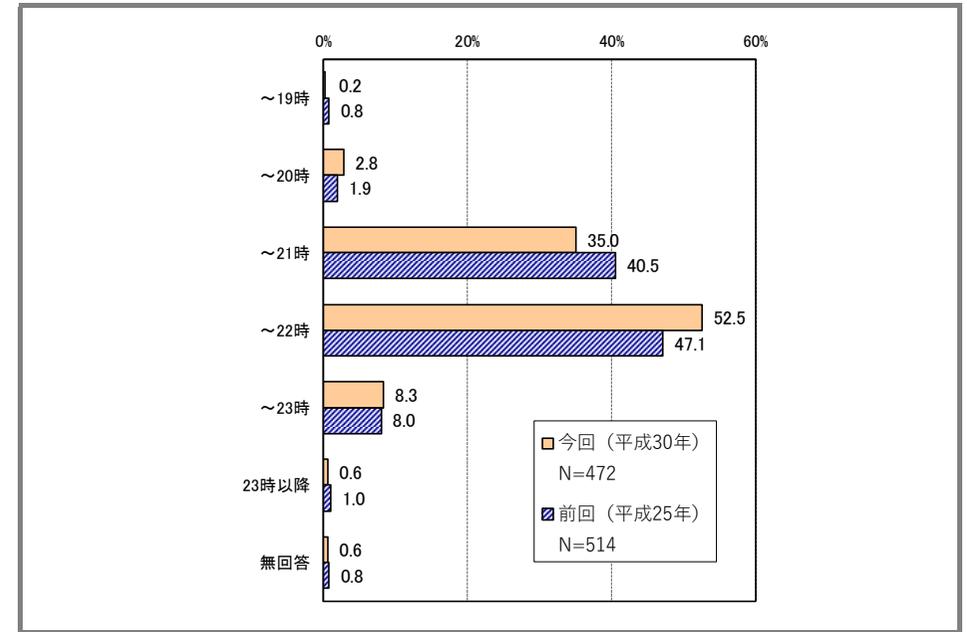
- 子どもと夕食を一緒に食べる相手としては、「母」が90.3%と最も多く、以下、「兄弟姉妹」（62.3%）、「父」（53.6%）と続いています。
- 「1人で食べる」子どもは1.1%となっています。

問38 お子さんは普段何時に寝ていますか。（〇は1つ）



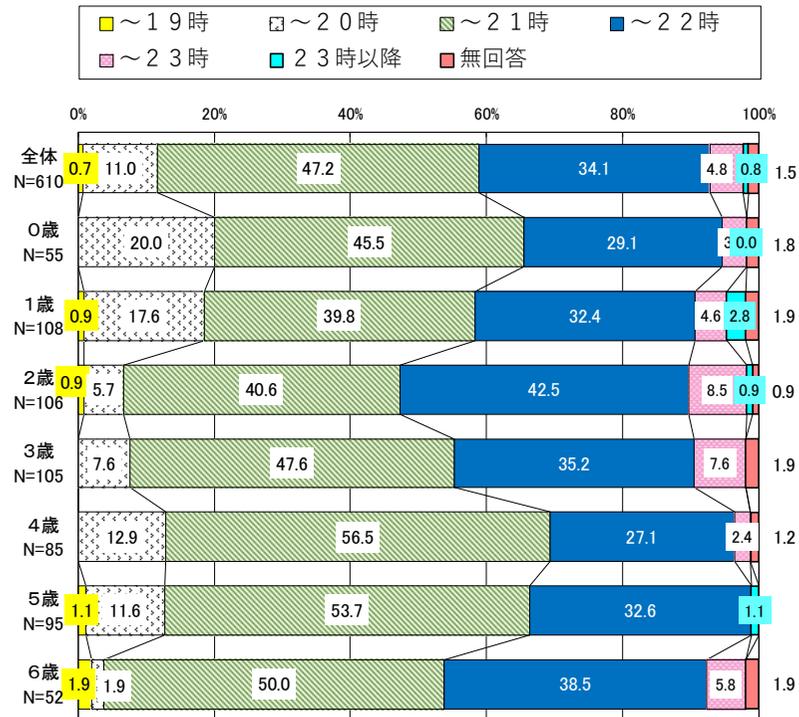
- 21時までに寝る子どもは58.9%となっており、前回調査結果とほとんど変わらない結果となっています。
- 子どもの年齢別に見ると、21時までに寝る子どもの割合が最も低かったのは2歳児（47.2%）で、逆に最も割合が高かったのは4歳児（69.4%）となっています（次ページ参照）。

問31 お子さんは普段何時に寝ていますか。（〇は1つ）

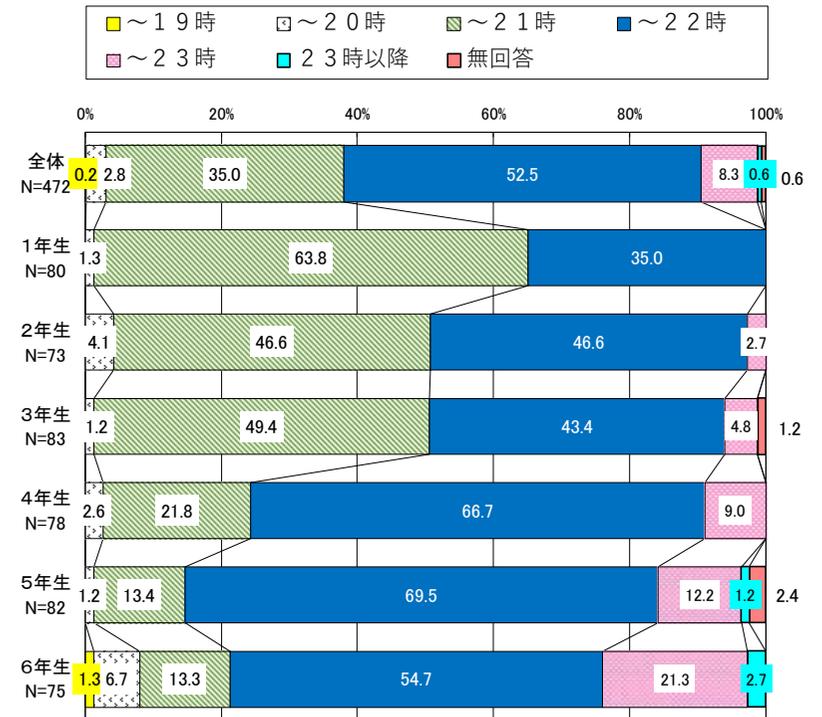


- 子どもの就寝時間は、21時～22時が52.5%と最も多くなっており、前回調査結果に比べるとやや遅い時間にシフトしている様子がうかがえます。
- 子どもの学年別に見ると、21時までに寝る子どもの割合は、3年生までは50%を超えています。4年生以降は25%未満となり、22時より遅く寝る子どもの割合は学年が上がるにつれて高くなっています（次ページ参照）。

【子どもの年齢別クロス集計結果】

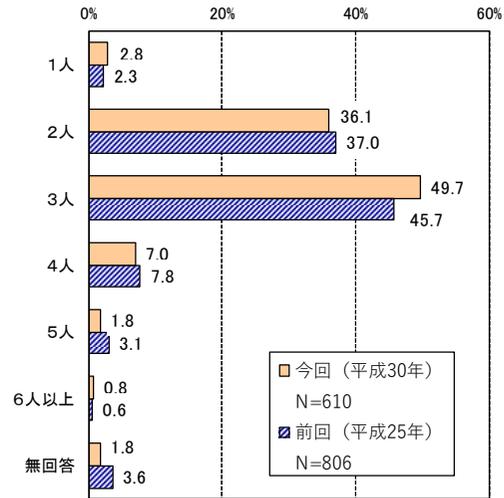


【子どもの学年別クロス集計結果】

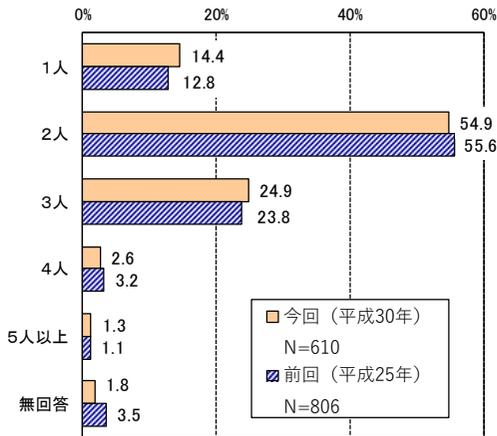


問39 お子さんの人数についておうかがいします。

1. お子さんを何人育てたいと考えますか。（理想）



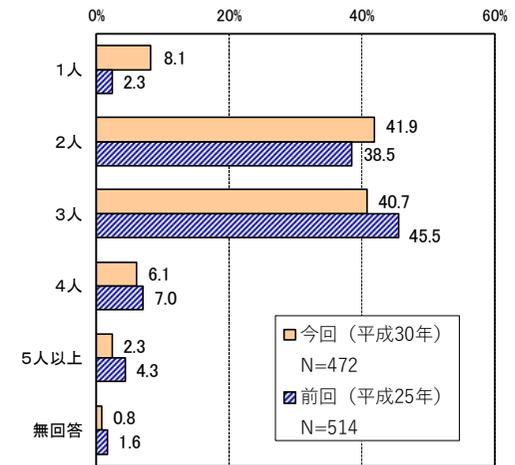
2. 現実に育てられると思うお子さんの人数は何人ですか。



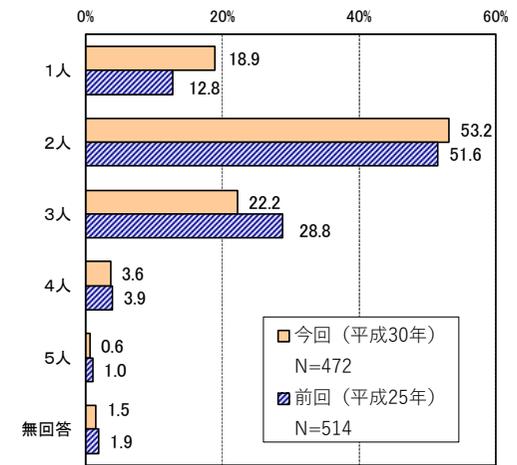
- 理想の子ども人数は「3人」（49.7%）、現実の子ども人数は「2人」（54.9%）がそれぞれ最も高い回答割合となっており、前回調査結果と同じ傾向を示しています。

問32 お子さんの人数についておうかがいします。

1. お子さんを何人育てたいと考えますか。（理想）

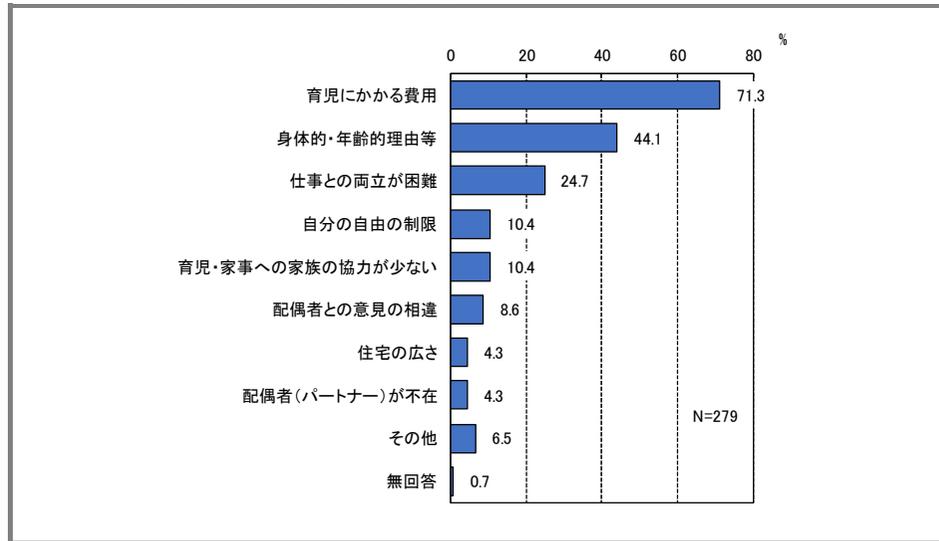


2. 現実に育てられると思うお子さんの人数は何人ですか。



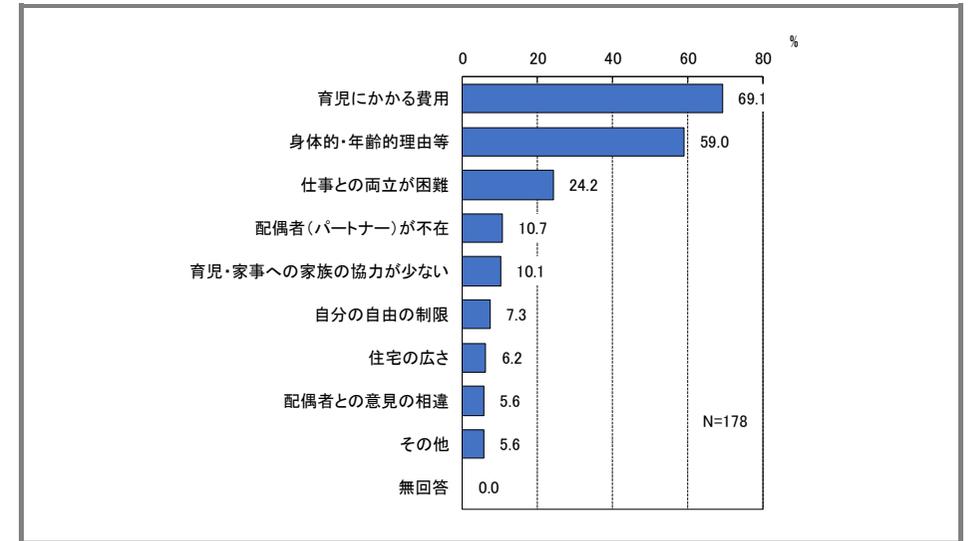
- 理想の子ども人数は、前回に比べ「3人」という回答割合が低下し、「2人」（41.9%）が「3人」（40.7%）をやや上回っています。
- 現実に育てられると子どもの数については、「2人」が53.2%と最も高い回答割合となっていますが、前回に比べると「3人」（22.2%）の割合が低下し、「1人」（18.9%）の割合が上昇しています。

問39-1（問39で理想より現実が少ない方に）理想の人数のお子さんを持つことができない理由は何ですか。（〇は2つまで）



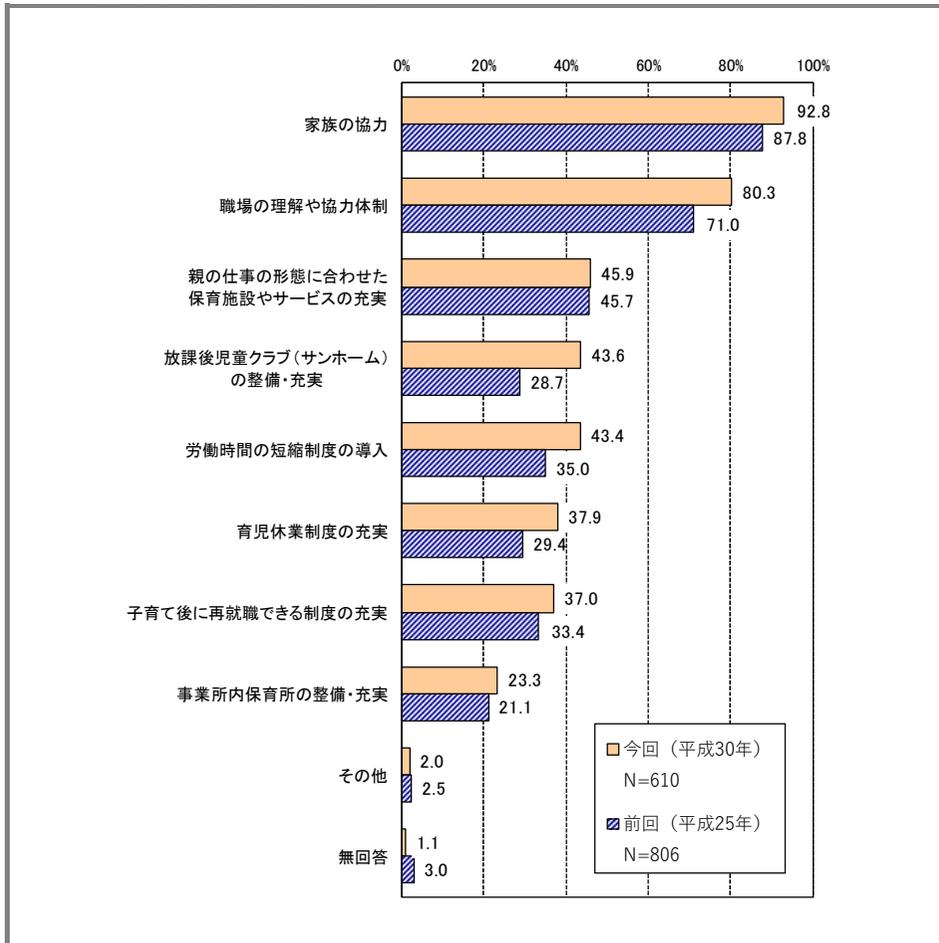
- 理想の人数のお子さんを持つことができない理由については、「育児にかかる費用」と回答した人の割合が71.3%と最も高く、以下、「身体的・年齢的理由等」(44.1%)、「仕事との両立が困難」(24.7%)と続いています。

問32-1（問32で理想より現実が少ない方に）理想の人数のお子さんを持つことができない理由は何ですか。（〇は2つまで）



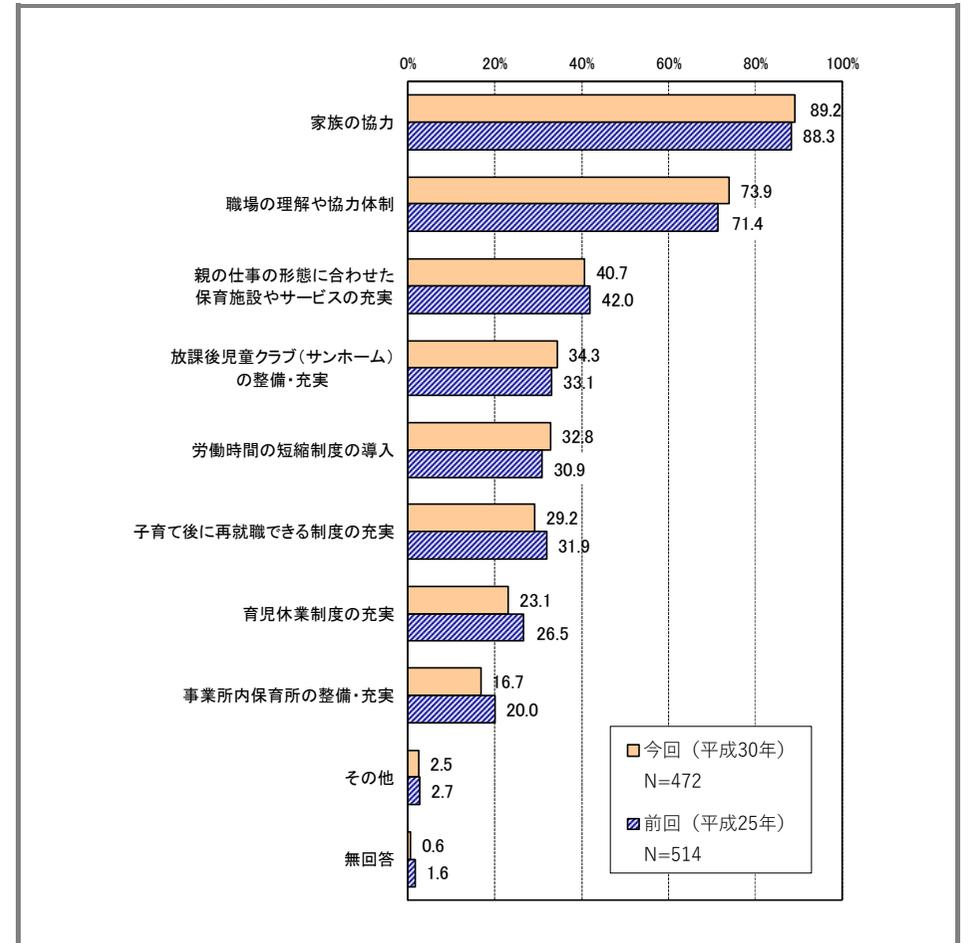
- 理想の人数のお子さんを持つことができない理由については、「育児にかかる費用」と回答した人の割合が69.1%と最も高く、以下、「身体的・年齢的理由等」(59.0%)、「仕事との両立が困難」(24.2%)と続いています。

問 40 子どもを育てるうえで、仕事と子育てを両立させるためには何が重要だと思いますか。  
（〇はあてはまるものすべて）



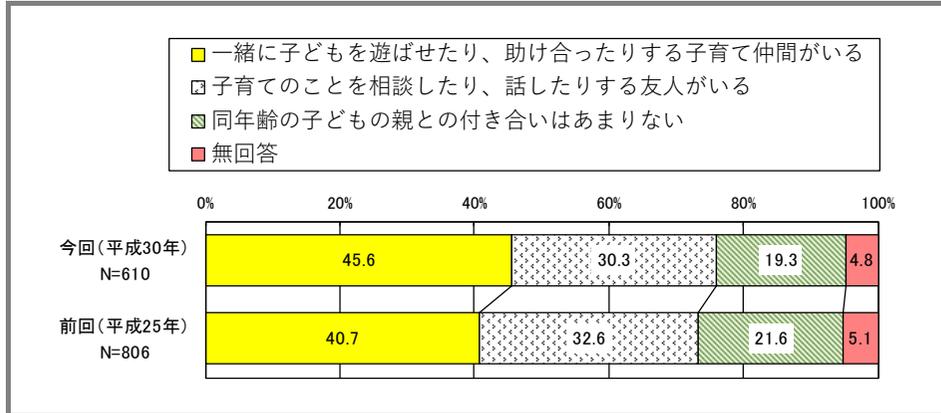
- 仕事と子育てを両立させるために必要なこととしては、「家族の協力」という回答割合が92.8%と最も高くなっており、以下、「職場の理解や協力体制」（80.3%）、「親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実」（45.9%）、「放課後児童クラブ（サンホーム）の整備・充実」（43.6%）と続いています。
- 回答傾向は前回調査とほとんど変わらない結果となっています。

問 33 子どもを育てるうえで、仕事と子育てを両立させるためには何が重要だと思いますか。  
（〇はあてはまるものすべて）



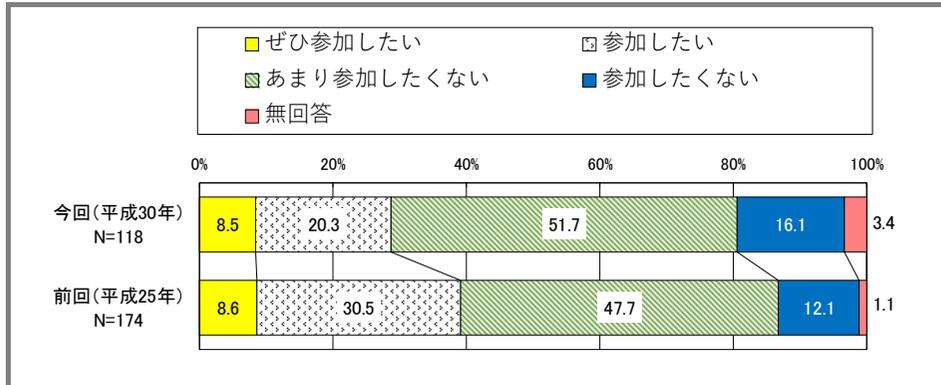
- 仕事と子育てを両立させるために必要なこととしては、「家族の協力」という回答割合が89.2%と最も高くなっており、以下、「職場の理解や協力体制」（73.9%）、「親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実」（40.7%）、「放課後児童クラブ（サンホーム）の整備・充実」（34.3%）と続いています。
- 回答傾向は前回調査とほとんど変わらない結果となっています。

問41 子をもつ親同士のつきあい、育児のグループ等の子育ての仲間はいますか。（○は1つ）



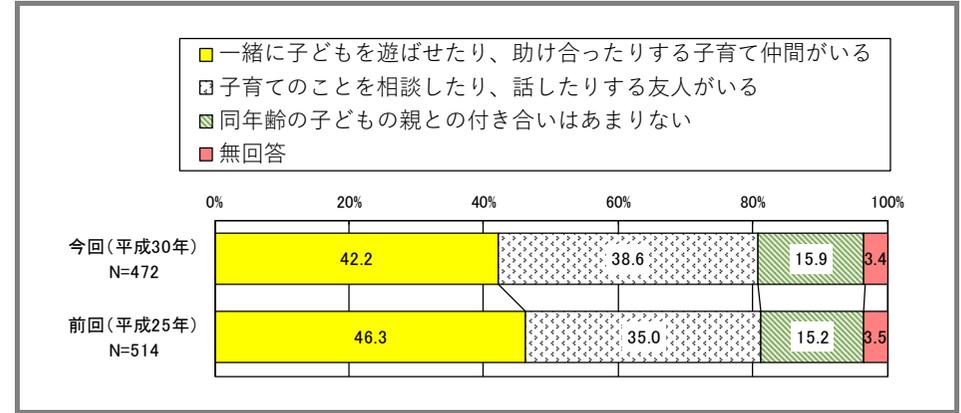
- 「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した人の割合は45.6%と、前回の調査結果を4.9ポイント上回っており、「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」と回答した人（30.3%）と合わせ、子育ての仲間、友人がいる人の割合は75.9%となっています。

問41-1（問41で3と回答された方に）子育ての仲間作りの機会があれば、参加したいと思えますか。（○は1つ）



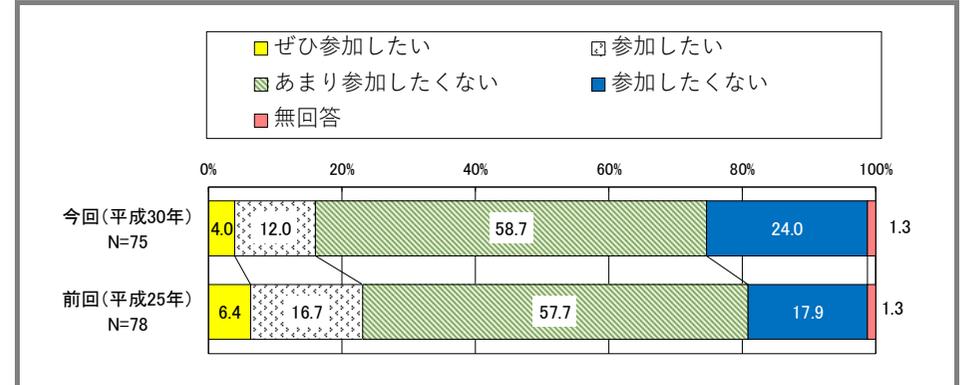
- 前問で「同年齢の子どもの親との付き合いはあまりない」と回答した人に子育ての仲間作りの機会への参加意向を尋ねたところ、「ぜひ参加したい」（8.5%）、「参加したい」（20.3%）と回答した人は28.8%となっており、前回調査結果を10.3ポイント下回っています。

問34 子をもつ親同士のつきあい、育児のグループ等の子育ての仲間はいますか。（○は1つ）



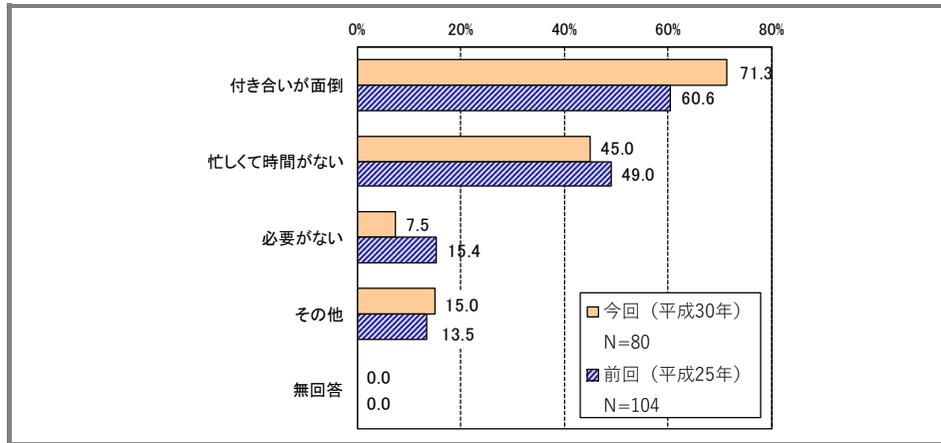
- 「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した人の割合は42.2%と、前回の調査結果を4.1ポイント下回っていますが、「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」と回答した人の割合（38.6%）を合わせると、前回とあまり変わらない結果となっています。

問34-1（問34で3と回答された方に）子育ての仲間作りの機会があれば、参加したいと思えますか。（○は1つ）



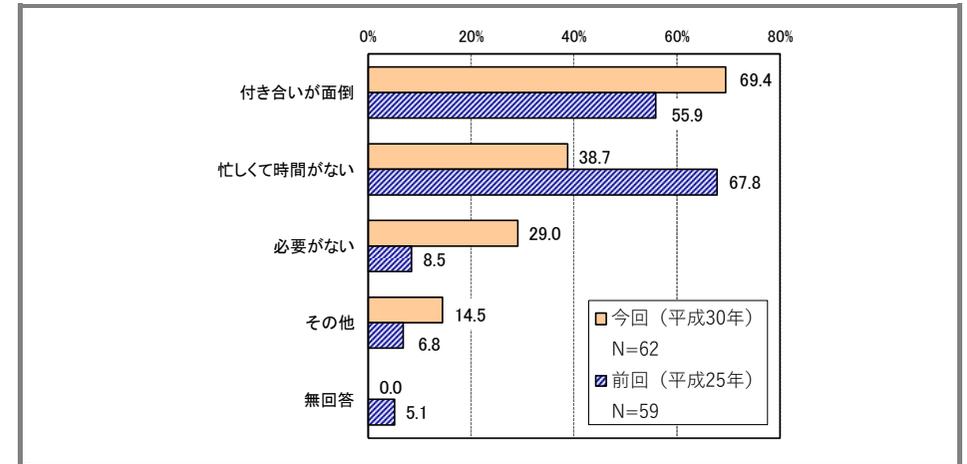
- 前問で「同年齢の子どもの親との付き合いはあまりない」と回答した人に子育ての仲間作りの機会への参加意向を尋ねたところ、「ぜひ参加したい」（4.0%）、「参加したい」（12.0%）と回答した人は16.0%となっており、前回調査結果を7.1ポイント下回っています。

問 41-2 (問 41-1 で 3~4 と回答された方に) 参加したくない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



- 前問で「あまり参加したくない」「参加したくない」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「付き合いが面倒」と回答した人の割合が 71.3%と最も高く、前回調査の回答割合を 10.7ポイント上回っています。

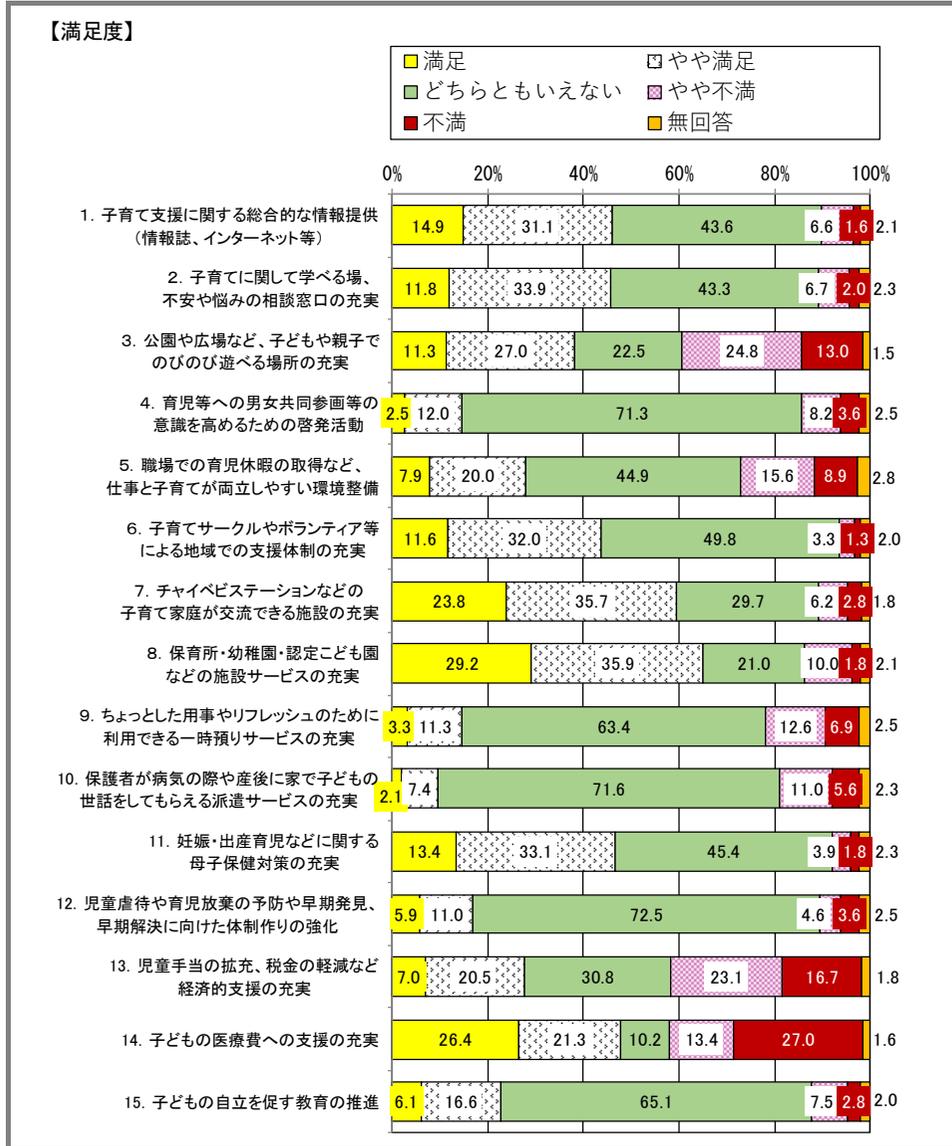
問 34-2 (問 34-1 で 3~4 と回答された方に) 参加したくない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



- 前問で「あまり参加したくない」「参加したくない」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「付き合いが面倒」と回答した人の割合が 69.4%と最も高く、前回調査で最も回答割合の高かった「忙しくて時間がない」は、前回より 29.1ポイント低下し 38.7%となっています。
- また、「必要がない」という回答割合も前回の 8.5%から 29.0%へ 20.5ポイントも上昇しています。
- 「その他」の内容としては、「知らない人と知り合うのはストレスになり、得する事、ためになる事もないと思う」「赤ちゃんだった頃は参加していたが大きくなると、いいかなと思う」「話がつまらない (話題が合わない)」などがあがっています。

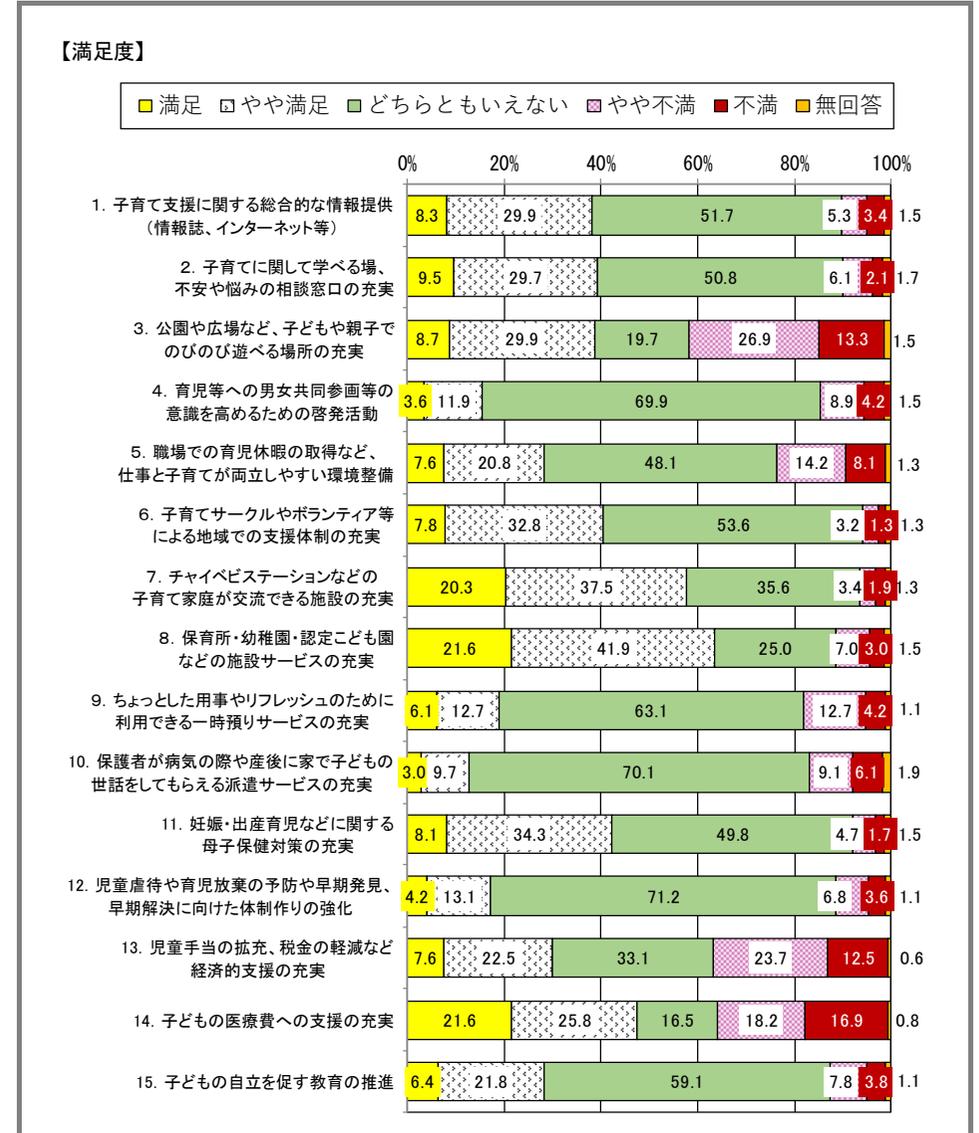
### 13. 行政や地域の子育て支援について

問 42 以下の15項目について、満足度と重要度をお答えください。回答例にならって、これまで進めてきた子育て支援についての「満足度」と、これからの取組みを進めていく上での「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んで○印をつけてください。

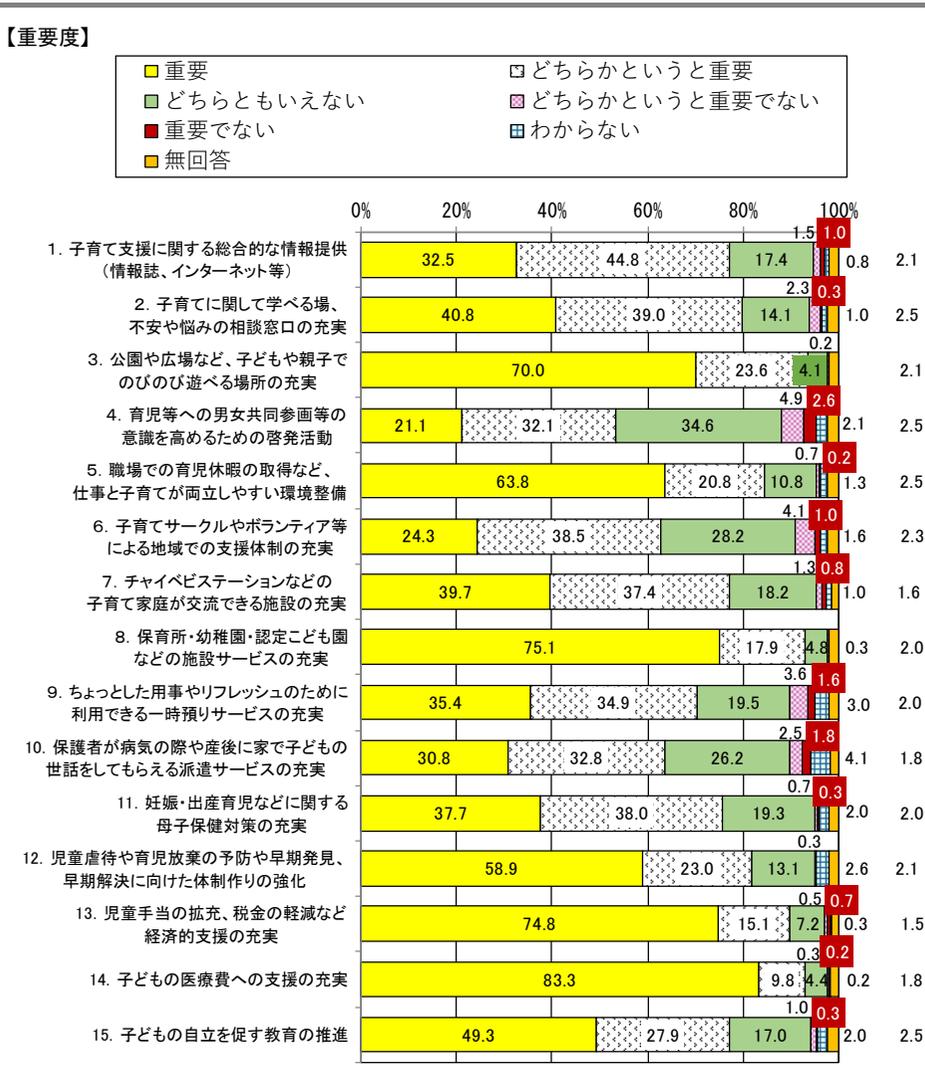


### 9. 行政や地域の子育て支援について

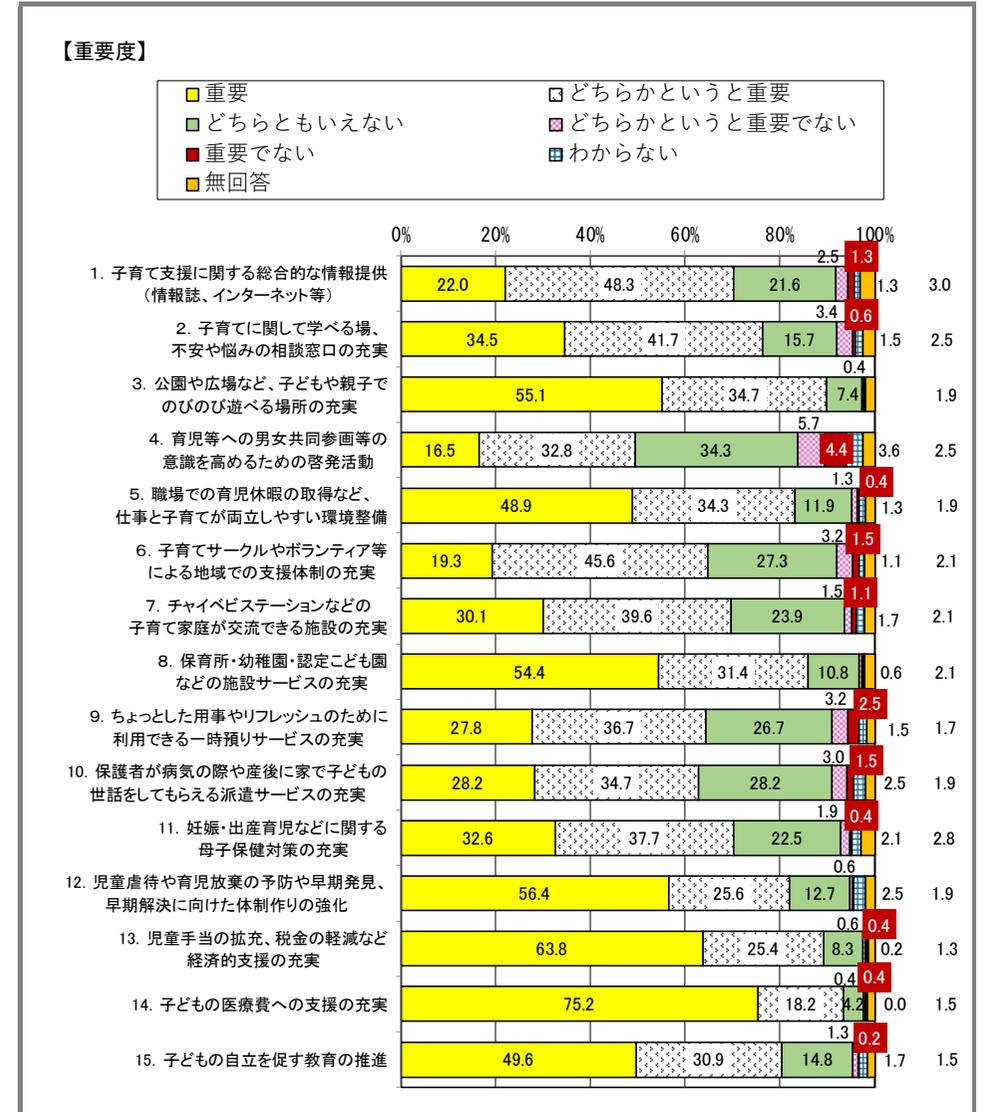
問 35 以下の15項目について、満足度と重要度をお答えください。回答例にならって、これまで進めてきた子育て支援についての「満足度」と、これからの取組みを進めていく上での「重要度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んで○印をつけてください。



- 子育て支援に関する15項目のうち、満足度が高かったのは「保育所・幼稚園・認定こども園などの施設サービスの充実」や「チャイベピステーションなどの子育て家庭が交流できる施設の充実」となっています。「子どもの医療費への支援の充実」は満足度が47.7%と高い一方で、不満度も40.4%と高いことがわかります。

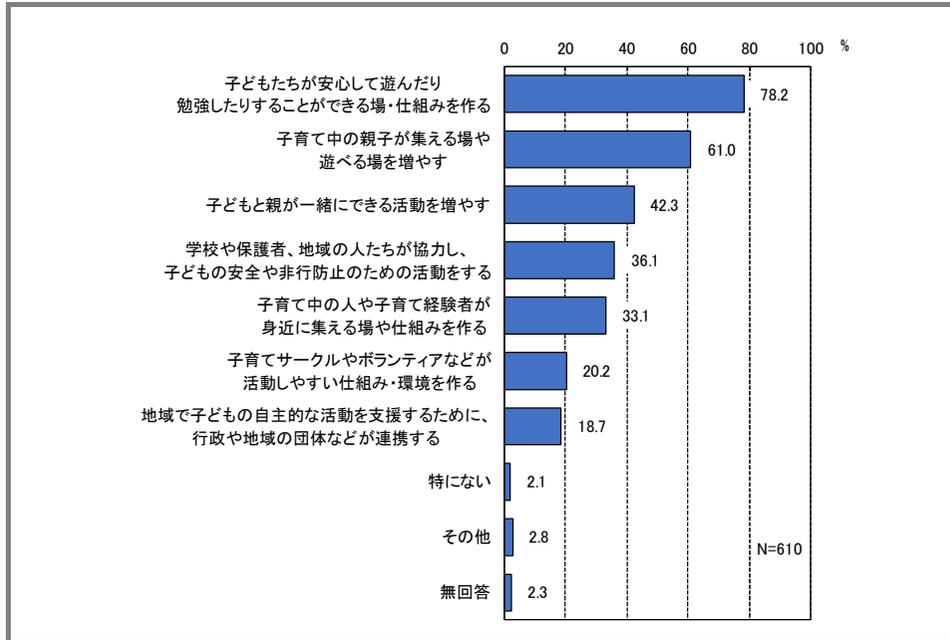


- 子育て支援に関する15項目のうち、満足度が高かったのは「保育所・幼稚園・認定こども園などの施設サービスの充実」や「チャイベピステーションなどの子育て家庭が交流できる施設の充実」となっています。「子どもの医療費への支援の充実」は満足度が47.4%と高い一方で、不満度も35.1%と高いことがわかります。



- 重要度が高かったのは、「子どもの医療費への支援の充実」や「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」「保育所・幼稚園・認定こども園などの施設サービスの充実」「公園や広場など、子どもや親子でのびのび遊べる場所の充実」「職場での育児休暇の取得など、仕事と子育てが両立しやすい環境整備」「児童虐待や育児放棄の予防や早期発見、早期解決に向けた体制の強化」などとなっています。

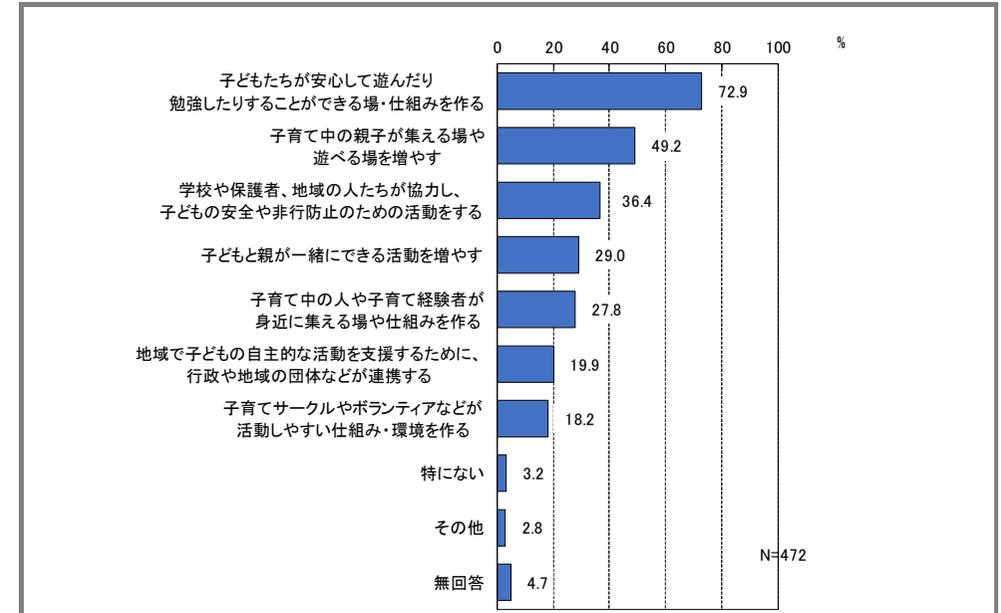
問 43 安心して子育てをするために、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。  
(○はあてはまるものすべて)



- 安心して子育てをするために、地域に必要な取り組みとしては、「子どもたちが安心して遊んだり勉強したりすることができる場・仕組みを作る」という回答割合が78.2%と最も高く、以下、「子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす」(61.0)%、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」(42.3%)と続いています。

- 重要度が高かったのは、「子どもの医療費への支援の充実」や「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」「児童虐待や育児放棄の予防や早期発見、早期解決に向けた体制の強化」「公園や広場など、子どもや親子でのびのび遊べる場所の充実」「保育所・幼稚園・認定こども園などの施設サービスの充実」「職場での育児休暇の取得など、仕事と子育てが両立しやすい環境整備」などとなっています。

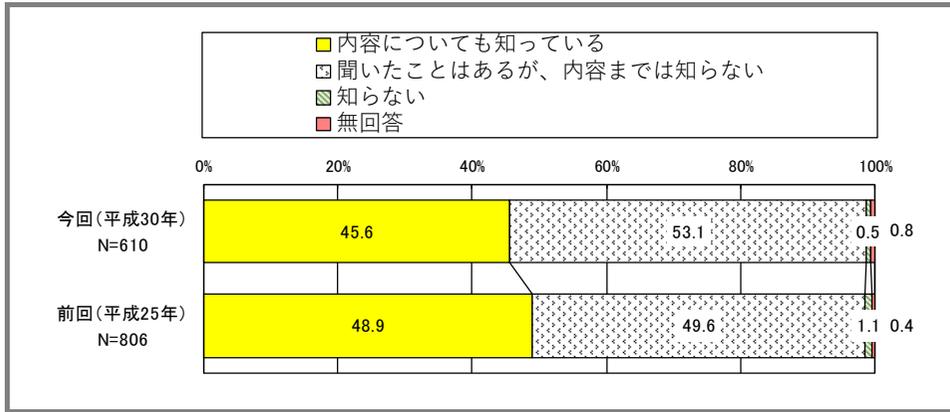
問 36 安心して子育てをするために、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。  
(○はあてはまるものすべて)



- 安心して子育てをするために、地域に必要な取り組みとしては、「子どもたちが安心して遊んだり勉強したりすることができる場・仕組みを作る」という回答割合が72.9%と最も高く、以下、「子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす」(49.2)%、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする」(36.4%)と続いています。

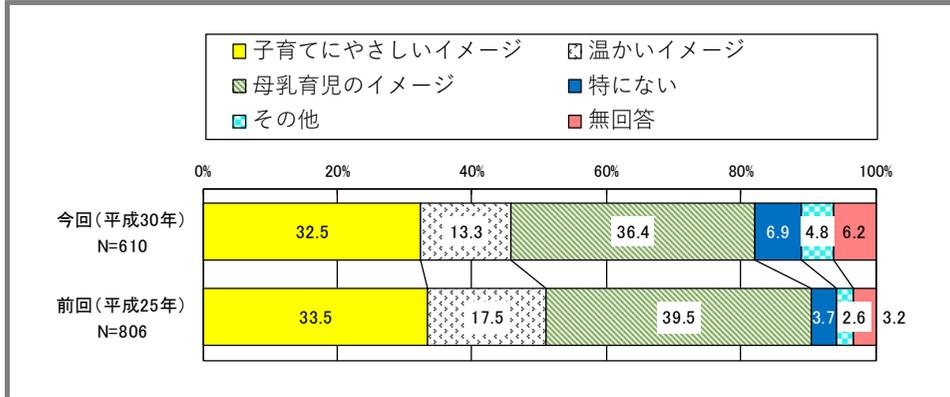
### 14. 光市の「おっばい都市宣言」について

問 44 「おっばい都市宣言」について、ご存じですか。(〇は1つ)



- 「おっばい都市宣言」の「内容についても知っている」と回答した人の割合は45.6%となり、前回調査結果よりも3.3ポイント低下しています。

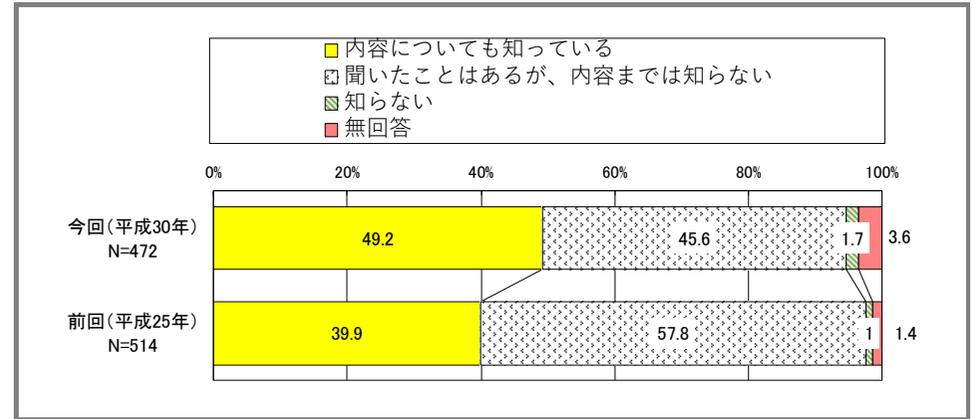
問 45 「おっばい都市宣言」について、どのようなイメージをお持ちですか。(〇は1つ)



- 「おっばい都市宣言」についてのイメージについては、「母乳育児のイメージ」が36.4%と最も高い割合となっていますが、前回調査に比べると、「特にない」や「無回答」の割合が高くなっており、選択肢として提示した3つのイメージの回答割合はいずれも前回調査結果を下回っています。

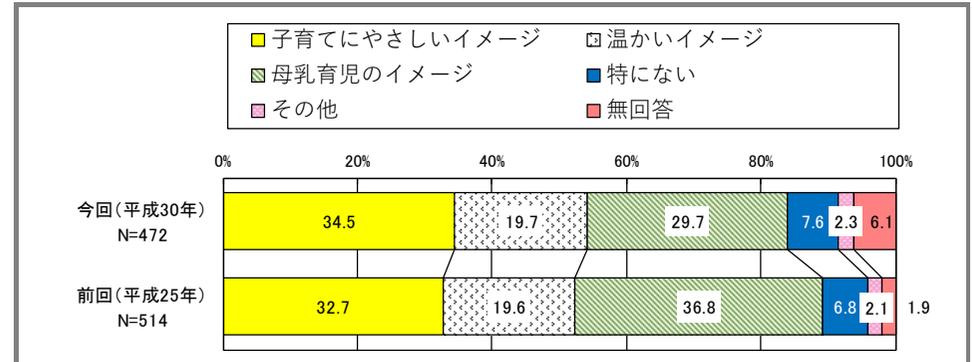
### 10. 光市の「おっばい都市宣言」について

問 37 「おっばい都市宣言」について、ご存じですか。(〇は1つ)



- 「おっばい都市宣言」の「内容についても知っている」と回答した人の割合は49.2%となり、前回調査結果よりも9.3ポイント上昇しています。

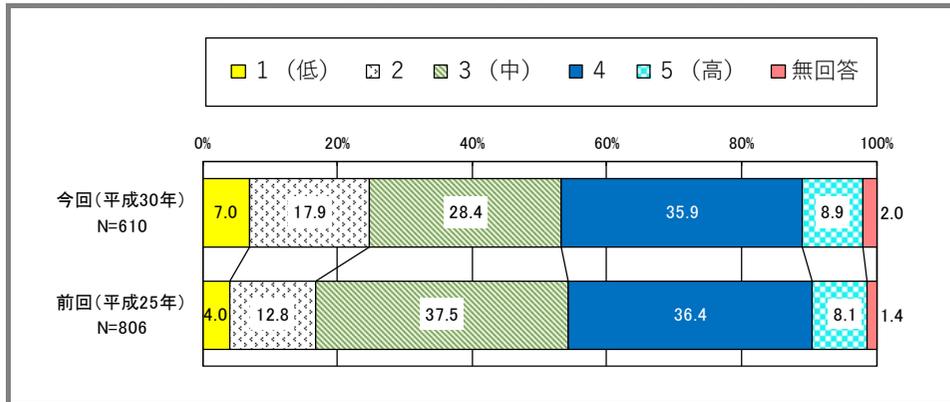
問 38 「おっばい都市宣言」について、どのようなイメージをお持ちですか。(〇は1つ)



- 「おっばい都市宣言」についてのイメージについては、「子育てにやさしいイメージ」が34.5%と最も高い回答割合となっており、前回最も高い割合であった「母乳育児のイメージ」は29.7%と、前回より7.1ポイント低くなっています。

## 15. 最後に

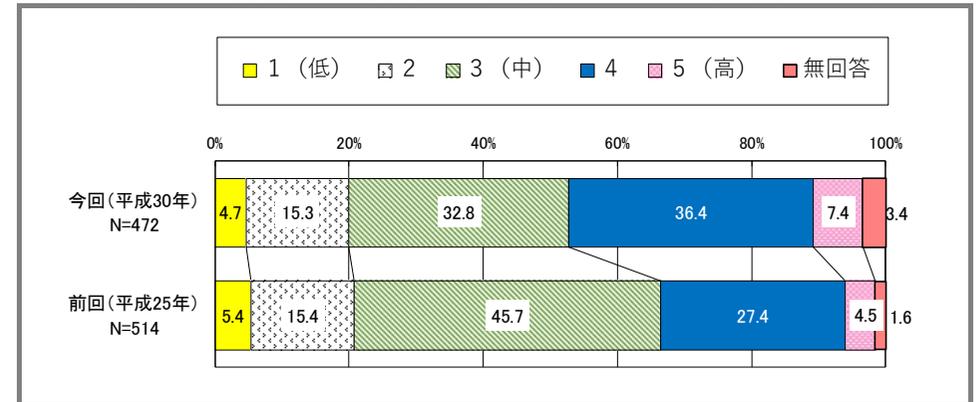
問46 光市における子育ての環境や支援への満足度はどのくらいですか。（〇は1つ）



- 光市における子育ての環境や支援への満足度については、前回調査結果に比べ、「1」「2」の割合が高くなっており、低下傾向にあることがうかがわれます。

## 11. 最後に

問39 光市における子育ての環境や支援への満足度はどのくらいですか。（〇は1つ）



- 光市における子育ての環境や支援への満足度については、前回調査結果に比べ、「4」「5」の割合が11.9ポイント高くなっており、小学生の保護者世代では上昇傾向にあることがうかがわれます。

問 47 光市の教育・保育環境や子育ての環境や支援に関するご意見ご要望がございましたら  
ご自由にご記入ください。

【医療費等の助成に関すること：106件】

- ・乳幼児の医療費助成の所得制限を撤廃してもらえると助かる
- ・子ども医療費助成を中学生まで親の収入に関係なく助成してほしい
- ・予防接種の助成をしてほしい
- ・生まれながらに病気と闘う子ども達の支援 など

【公園・遊び場に関すること：93件】

- ・安心して子どもを遊ばせられ、親も子どもも満足できるような公園があればよい
- ・子どもを遊ばせることのできる商業施設などが光市にできたら嬉しい
- ・3歳くらいまでの小さい子向けの遊具があるとよい
- ・チャイベビ以外で土日に子どもを遊ばせられる室内の場がほしい
- ・夏に水遊びができるような公園があるとよい
- ・市内にある小さな公園のマップがほしい
- ・小さい公園などは草が生い茂っていたり、暗かったりするためあまり遊ばせようと思わない
- ・冠山総合公園は遊具が斜面にあるので危ない など

【教育に関すること：8件】

- ・小中学校の建物が老朽化しており、早急に改善を望む
- ・市内全ての小中学校の教室にエアコンを設置すべき
- ・中学校で不登校の児童が増えているのは問題だと思う
- ・夏休みなどの長期休みに幼児や小学生向けのイベント、勉強会などを多く開催してほしい など

【放課後児童クラブ（サンホーム）に関すること：11件】

- ・サンホームの時間延長の見直しを（長期休みの開始時間を早めるなど）
- ・サンホームの内容を充実させてほしい
- ・月額ではなく日額で利用できるようになればよい など

【保育所等に関すること：52件】

- ・保育料はかなり負担が大きいので、保育の無償化が実現できるとよい
- ・幼稚園が少なく、専業主婦だと子どもを預ける選択肢が少ない
- ・園開放、支援センターをもっと充実させてほしい
- ・一時預かりのサービスをもっと受けやすくしてほしい
- ・一時預かりが利用しやすい体制が子育てのしやすさにつながると思う
- ・保育士が不足している
- ・保育園に入っている保護者同士の交流があればよい など

【その他：138件】

- ・経済的な支援があれば産みたいと思っている人は多い
- ・子連れで気軽に食事ができる場所が少ないと思う
- ・祖父母向けの子育てについての冊子があればよい
- ・出産して1年間でもよいので、オムツの支給があれば助かる
- ・光市は他市にはない取組みが多く、子どもを育てるなら安心

問 40 光市の教育・保育環境や子育ての環境や支援に関するご意見ご要望がございましたら  
ご自由にご記入ください。

【医療費助成に関すること：41件】

- ・子ども医療費は全てを無料にするのではなく、歯科分は対象外にするなど親に意識してもらうことも必要
- ・医療費無料の所得制限を高所得の人だけにしてほしい
- ・医療費は収入に関係なく小学生までの間だけでも無料になると助かる
- ・医療費への支援を増やしてほしい
- ・子ども医療費の補助が所得制限なしになると助かる など

【公園・遊び場に関すること：37件】

- ・子どもがのびのびと遊べる昔ながらの遊具、鉄棒などがある広い公園がほしい
- ・公園などに小さな子どもでも自分で理解しやすいようなマナーの看板等があればよい
- ・光市に引越してきた時に公園の少なさに驚いた
- ・小さい子が安心して遊べる場所が少ない
- ・冠山総合公園の遊具は山の斜面にあり、小さい子向きではないと感じる
- ・図書館の子どもコーナーの充実を
- ・雨天、土日に利用できる施設が少ない
- ・光市にアスレチックがあれば他市からも人が来て賑やかになるのでは
- ・育児仲間が集まる場所やイベントの開催
- ・整備された安全な公園があるとうれしい など

【教育に関すること：27件】

- ・光市は英語教育に力を入れているのでとてもよい
- ・小学校は老朽化、衛生面から建て替える
- ・幼保小中と連携を進めていてとてもよい
- ・未来ある子どもの教育にお金をかけてほしい
- ・公教育の環境整備（トイレ、冷房設備）
- ・中学校の部活の縮小により、選択肢が狭まったように思う
- ・通学路の安全対策（車や自転車が危ない所がある）
- ・不登校の子どもが行ける場所を作ってもらいたい
- ・コミュニティスクールの取組みにより地域、学校、家庭で子ども達の成長にいい影響が与えられていると思う
- ・コミュニティスクールは、一部の方々の負担にならず、多くの地域の方に参画頂けることを願う
- ・小中学校の全教室にエアコンを付けるべき
- ・教育、福祉が連携して子ども達の育成に関われるシステム作りを望む
- ・就学支援制度をもっと拡充してほしい など

【放課後児童クラブ（サンホーム）に関すること：21件】

- ・小学校のサンホームのお迎え条件を広げてほしい
- ・同じ市内、学区であるにも関わらず、それぞれに独立したルールがあるので統一を
- ・サンホームの始業時間をもう少し早めてほしい
- ・長期休暇時（夏休みなど）、サンホームの開始時間を早めてほしい
- ・サンホームが日曜日や祝日も利用できるようにしてほしい
- ・サンホームの教育の質を上げてほしい など

- ・平日仕事の親が集まり、同じ月齢の親と情報交換できる場所や機会が少ない
- ・情報発信の観点から、HPでイベントを集めたものを作ってくれとわかりやすい
- ・イベントなどのお知らせについて、広報だけではなく色々な方法で知りたい
- ・光市は出産時のママサポートタクシーの利用がエリア外だった
- ・市役所とあいぱーくが離れているので、移動も手続きも手間がかかる
- ・親が安心して子育てできるよう、子ども相談センターきゅっとの充実が更に図られるとよい
- ・産後うつアンケートの期間をもう少し長くしたらよい
- ・チャイベジをもっと柔軟に、行くとほっとできる場にしてほしい
- ・子どもを連れていくと温かく声をかけてくれる光市民の皆さんに感謝
- ・市で産後の家事やヘルパーなどを格安で利用できるような仕組みを充実させてほしい
- ・サークルやイベントに行きやすい環境になればうれしい
- ・相談すると曖昧で濁すような説明をする職員がいてがっかりした
- ・2人目、3人目を出産した人に対する金銭的な援助、サービスが充実してくれると助かる
- ・フルタイムで働く人の子育て環境が整っていないと感じる
- ・光駅は階段が多くベビーカーも苦勞するため、なんとかしてほしい
- ・発達検査を気軽に受けられるチャンスがあるとよい
- ・2～5才以下が楽しめるイベントが沢山ほしい
- ・光市はよい意味で田舎なので、子どもがのびのびと生活できていると思う など

#### 【保育所等に関すること：10件】

- ・幼保小連携の活動は続けてほしい
- ・第二子以降の保育料について、同時入所のみ免除というのは不公平さを感じる
- ・保育士への待遇を改善し、保育枠を増やしてほしい
- ・周辺の市町村に比べ保育園が利用しやすい点は非常に評価出来る など

#### 【その他：80件】

- ・色々なサービス体制が整っているが、それらが知られているのか疑問なので、もっとアピールしては
- ・乳幼児の子育て期にもヘルパーさんがいたらよいと思う
- ・アンケート結果をもとにどう変わったのか具体的にわかるように広報などで知らせてほしい
- ・夏休みサンホームに行っていない子ども達などが参加出来るイベント（コミュニティセンター等で勉強会、料理教室、将棋、囲碁他）を企画してほしい
- ・移動図書館車が地域の公園や施設に来てくれると嬉しい
- ・保育園やサンホーム、保育料や医療費など子育ての環境はよい
- ・子育てに関しての意識は高いが、発達障がいや不登校児への支援が遅れている印象がある
- ・子育ての経済的支援などもっと他市町へアピールしてもよい
- ・子育てサークルやイベント等関係なくグループで使用できるフリースペースが増えてほしい
- ・中学生の乳児とのふれあい授業について、子育ての本当の苦勞や喜び、親自身の成長などについても教えてあげてほしい
- ・他の市町村の良い所は取り入れていけばよい
- ・育児相談へ何度か行ったが、対応してくれる人の個人差が大きいと感じた
- ・病気の時に預かってくれる場所や家庭でみてくれるサービスがあるとよい
- ・年取ではなく子どもの状況に応じて様々な支援があるとよい
- ・近年、母子（父子）家庭が増加している気がするので、実質的な援助がもう少し充実するとよい
- ・病児をかかえる親のフォローを希望する
- ・病児保育施設が増えたらよい
- ・給食献立の充実、パン食や麺食など洋食の頻度が多いので、和食を中心とした献立にしてほしい
- ・地域の方がよく面倒を見てくれる など